

## (5) 人間関係学部

### 共通（教養教育）

- ・氏名（フリガナ） Peter Anton Constant O' Connor (ピーター・アントン・コンストン・オコーノ)
- ・所属／職名 人間関係学部（教養教育）／教授
- ・学位（分野）／研究分野 哲学（歴史学）博士／メディア史、英語の教育
- ・キーワード English-language press of East Asia、Japanese propaganda、東アジア英字新聞史、日本のプロパガンダ、CALL

| 職 歴   |   |   |
|---|---|---|
| 年 月   | 事 項   |   |
| 平成11年4月   | 早稲田大学法学部非常勤講師 東京（平成20年3月迄）  |   |
| 平成18年4月   | 早稲田大学国際教養学部非常勤講師 東京（現在に至る）  |   |
| 学会及び社会における活動等   |   |   |
| 現在所属している学会  | 日本英文学会、全国語学教育学会   |   |
| 年 月   | 事 項   |   |
| 平成2年9月  | British Association of Japanese Studies 会員（BAJS）（現在に至る）                                     |   |
| 平成7年4月  | 日本英文学会会員（現在に至る）   |   |
| 平成7年4月  | 全国語学教育学会会員（JALT）（現在に至る）   |   |
| 平成8年4月  | Asiatic Society of Japan 会員（現在に至る）  |   |
| 平成13年4月   | IASIL JAPAN (International Association for the Study of Irish Literatures, Japan) 東京（現在に至る） |   |
| 平成14年4月   | メディア史研究会 東京（現在に至る）  |   |
| 賞 罰   |   |   |
| 年 月   | 事 項   |   |
|   | なし  |   |
| 教 育 研 究 業 績 書   |   |   |
| 教 育 上 の 能 力 に 関 す る 事 項   |   |   |
| 事 項   | 年 月 日   | 概 要   |
| 1 教育方法の実践例<br>(1)WEB上で授業用のサイトを公開 国際理解科目「Japan's Modern Image」、英米マスコミ論 | 平成17年10月～現在   | “The English-language Press:Another View of Asia.” 英字新聞：もう1つのアジアの見解 ビューポイント Viewpoints (アジア研究アソシエーション Association of Asian Studies)、Ann Arbor、米国. オンライン. オンライン: ( <a href="http://www.aasianst.org/Viewpoints/oconnor.htm">http://www.aasianst.org/Viewpoints/oconnor.htm</a> ) |
| (2)インターネットを使ったCALL Reading/Listening 課題                               | 平成11年9月～現在  | Action Research: Implementation Multimedia in a Japanese University ( <a href="http://www.musashino-u.ac.jp/gensha/oconnor/CALLOConnor_Gatton.htm">http://www.musashino-u.ac.jp/gensha/oconnor/CALLOConnor_Gatton.htm</a> )   |
| 2 作成した教科書、教材  |   |   |

| 事 項   | 年 月 日                  | 概 要                |  |
|---|------------------------|--------------------|--|
| 3 教育上の能力に関する大学等の評価  |                        |                    |  |
| 4 実務の経験を有する者についての特記事項   |                        |                    |  |
| 5 その他<br>(1)現代社会学部海外研修合同委員会委員<br>(2)現代社会学部英語委員会委員   | 平成17年～19年<br>平成10年～19年 |                    |  |
| 職 務 上 の 能 力 に 関 す る 事 項   |                        |                    |  |
| 事 項   | 年 月 日                  | 概 要                |  |
| 1 資格、免許   |                        |                    |  |
| 2 特許等   |                        |                    |  |
| 3 実務の経験を有する者についての特記事項   |                        |                    |  |
| 4 その他   |                        |                    |  |
| 研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項   |                        |                    |  |
| 著書、学術論文等の名称   | 単著<br>共著<br>の別         | 発行又は発表<br>の年月      | 発行所、発表雑誌等又は<br>発表学会等の名称                      |
| (著書)<br>1. Critical Readings on Japan, 1906-48:<br>Countering Japan's Agenda in East Asia.<br>Series 1, Books. In 10 volumes. Series<br>Editor: General Introduction  | 単                      | 平成20年11月           | フォークストン、英国Global<br>Oriental出版               |
| (学術論文)<br>1. "Hugh Fulton Byas (1875-1945): 'The<br>fairest and most temperate of foreign<br>writers on Japan's political<br>development' between the wars. " In<br>Biographical Portraits: Britain and Japan,<br>Vol VI ed. Hugh Cortazzi, Global Oriental,<br>Folkestone, UK. | 単                      | 平成19年6月            | フォークストン、英国Global<br>Oriental出版               |
| 2. 語られなかった歴史(1)ある英字紙の111周年  | 単                      | 平成20年8月            | 『一冊の本』2008年8月号、東<br>京 朝日新聞出版 (P5～P8)         |
| 3. 語られなかった歴史 2 二つの社説、大きな影響  | 単                      | 平成20年11月           | 『一冊の本』2008年11月号、東<br>京 朝日新聞出版 (P23～29)       |
| (その他)<br>1. "Irish journalists in East Asia, c.<br>1890s-1941. "<br>2. "The Irish in the East: Irish publicists<br>in East Asia, c. 1890s - 1945"   | 単<br>単                 | 平成19年4月<br>平成19年4月 | 日本アジア研究会<br>日本アジア研究会 アイルラン<br>ドの大使館 レジデンス、東京 |

| 著書、学術論文等の名称  | 単著<br>共著<br>の別 | 発行又は発表<br>の年月 | 発行所、発表雑誌等又は<br>発表学会等の名称   |
|--|----------------|---------------|---|
| 3. "The Menace of Japan: Prescience and<br>paranoia in prewar Tokyo" | 単              | 平成20年 6月      | No. 1 Shimbun, Foreign<br>Correspondents Club of<br>Japan, 東京Vol. 40, issue<br>8, p. 4-6    |
| 4. "Whatever happened to Japan-bashing?"                             | 単              | 平成21年 1月      | No.1 Shimbun, Foreign<br>Correspondents Club of<br>Japan, 東京, Vol. 41, Issue<br>1, p. 14-15 |
| 5. The Thought War: Japanese Imperial<br>Propaganda by Barak Kushner | 単              | 平成21年 4月      | Japan Forum, Vol.21 No.1<br>(UK: BAJS: British<br>Association of Japanese<br>Studies)       |

- ・氏名（フリガナ） 佐藤 佳弘(サトウ ヨシヒロ)
- ・所属／職名 人間関係学部（教養教育）／教授
- ・学位（分野）／研究分野 学術博士／社会情報学、生活情報学、生活情報化論
- ・キーワード 生活情報化、情報、情報化、生活、情報技術

| 職 歴           |   |
|---------------|---|
| 年 月           | 事 項                                       |
| 平成20年4月       | 電気通信大学人間コミュニケーション学科非常勤講師（生活情報化論担当）（現在に至る） |
| 学会及び社会における活動等 |   |
| 現在所属している学会    | 日本社会情報学会、日本生活学会                           |
| 年 月           | 事 項                                       |
|               | (学会活動)                                    |
| 平成9年4月        | 日本社会情報学会会員（現在に至る）                         |
| 平成9年6月        | 日本生活学会会員（現在に至る）                           |
| 平成12年4月       | 日本社会情報学会 学術委員会委員（平成20年3月迄）                |
| 平成20年4月       | 日本社会情報学会 理事（現在に至る）                        |
| 平成20年4月       | 日本社会情報学会 企画委員会委員（現在に至る）                   |
|               | (社会における活動等)                               |
| 平成16年1月       | 西東京市 自治体職員向け（地域情報化推進研修）講師（現在に至る）          |
| 平成17年1月       | 雇用・能力開発機構（デュアル講座）講師（平成20年3月迄）             |
| 平成18年6月       | 東京都市町村職員研修所 特別研修（情報倫理）講師（平成22年3月迄）        |
| 平成19年5、6月     | 平成19年 兵庫県人権学習指導者研修会 講師                    |
| 平成19年8月       | 丹波市（人権文化をすすめる市民運動）人権講演会 講師                |
| 平成19年11月      | 武蔵野大学大学院公開講座 講師（現在に至る）                    |
| 平成19年11、12月   | 武蔵野大学 生涯学習講座（個人情報よ、どこへ行く）講師（現在に至る）        |
| 平成20年6月       | 江東区人権学習講座（もし自分がそうになったら・・・）講師              |
| 平成20年7月       | 平成20年度 佐久地区社会人権教育研修会 講師                   |
| 平成20年8月       | 東京都市町村職員研修所 特別研修（情報活用力養成）講師（平成22年3月迄）     |
| 平成21年10月      | 大阪経済法科大学 市民アカデミア（情報化社会の歩き方）講師             |
| 平成21年11月      | 大阪経済法科大学 市民アカデミア（生活の情報化－ITと幸せとの接点）講師      |
| 平成22年1月       | 横浜市教育委員会 人権啓発講演会（人権侵害～インターネット社会を生きる）講師    |
| 平成22年1月       | 山梨県社会教育関係団体指導者養成研修会 講師                    |
| 平成16年4月       | 西東京市 情報政策専門委員（現在に至る）                      |
| 平成19年4月       | (財)日本高等教育評価機構 評価員（平成22年3月迄）               |
| 平成19年10月      | 西東京市 地域情報化基本計画策定審議会 事務局（平成21年2月迄）         |
| 平成22年3月       | 東村山市 情報公開運営審議会 委員（現在に至る）                  |
| 賞 罰           |   |
| 年 月           | 事 項                                       |
|               | なし  |

教育研究業績書

教育上の能力に関する事項

| 事 項   | 年 月 日   | 概 要  |
|---|---|--|
| <p>1 教育方法の実践例</p> <p>(1)すべての担当科目について講義内容をWeb上に公開</p> <p>(2)授業での配布資料、プリントをWeb上に掲載</p> <p>(3)講義に関するすべての事前連絡、事後連絡のメール化（携帯メールにも対応）</p>                                | <p>平成10年4月～現在</p> <p>平成10年4月～現在</p> <p>平成10年4月～現在</p>                                     | <p>学内、自宅だけでなく全国どこからでも24時間アクセスが可能なWebサーバーに講義内容を公開している。学生は予習・復習に使用できるほか、風邪等でやむを得ず授業を欠席した場合でも、授業内容の自習が可能である。</p> <p>授業で配布する参考資料、プリントを、すべてWeb上に掲載している。教師は人数分のコピーに時間を割くことなく、授業の準備ができる。学生にとっては、やむを得ず授業を欠席した場合でも、配布物を手に入れることができる。また、例え授業に出席していた学生でも、紛失時にも入手することができる。</p> <p>講義に関する連絡は、事前・事後を含めすべてをメールにて行っている。携帯メール利用者数はパソコンメールのそれを上回っているという社会状況を踏まえて、同報メールは携帯メールアドレスに対しても同時に発信している。</p> |
| <p>2 作成した教科書、教材</p> <p>(1)『情報化社会の歩き方』（再掲）</p> <p>(2)『IT社会の護身術』（再掲）</p>  | <p>平成22年2月</p> <p>平成22年3月</p>   | <p>自著、ミネルヴァ書房、ISBN978-4-623-05424-4、総頁数：229ページ</p> <p>自著、春風社、ISBN978-4-86110-204-2、総頁数：237ページ</p>  |
| <p>3 教育上の能力に関する大学等の評価</p> <p>(1) 学生による授業評価</p>  | <p>平成19年12月</p>   | <p>総合点による教員順位は、大学の全専任教員の中で第4位であり、所属学部においては第1位である。授業品質の高さは、学生の評価結果が示している。</p>   |
| <p>4 実務の経験を有する者についての特記事項</p> <p>(1)大学公開講座講師</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・武蔵野大学大学院公開講座</li> <li>・武蔵野大学 生涯学習講座</li> <li>・大阪経済法科大学 市民アカデミア</li> </ul> | <p>平成19年11月24日</p> <p>平成19年11月21日、12月5日、12月19日、平成21年10月26日・11月2日・9日</p> <p>平成21年10月6日</p> | <p>講座：「情報社会と人権侵害」</p> <p>講座：「個人情報よ、どこへ行く」</p> <p>講座：「情報化社会の歩き方—人権侵害の危険」</p>  |

| 事 項                         | 年 月 日                 | 概 要   |
|-----------------------------|-----------------------|---|
| ・大阪経済法科大学 市民アカデミア           | 平成21年10月13日           | 講座：「情報化社会の歩き方ー肖像権、プライバシー侵害の危険」  |
| ・大阪経済法科大学 市民アカデミア           | 平成21年10月20日           | 講座：「情報化社会の歩き方ー著作権侵害の危険」   |
| ・大阪経済法科大学 市民アカデミア           | 平成21年11月24日           | 講座：「生活の情報化ーITと幸せとの接点」   |
| ・武蔵野大学 生涯学習講座               | 平成21年11月30日           | 講座：「よくわかる！情報化社会の歩き方ー危険だらけの権利侵害」   |
| ・武蔵野大学 生涯学習講座               | 平成21年1月25日、2月1日・8日    | 講座：「よくわかる！情報化社会の歩き方ー危険だらけのインターネット」  |
| ・武蔵野大学 生涯学習講座               | 平成22年3月2日・9日・16日      | 講座：「よくわかる！情報化社会の歩き方ー危険だらけの携帯電話」   |
| (2)社会教育講座 講師                |                       |   |
| ・「デュアルシステム訓練」事業             | 平成17年7月28日～平成20年3月    | 講座：「現代社会の基礎知識」「福祉ビジネスの動向と展望社会」「IT社会における障害者支援」「個人情報と人権侵害」「ユニバーサルデザインが築く福祉社会」 |
| ・東京都市町村職員研修所 特別研修           | 平成18年6月23日～現在         | 講座：「情報倫理」「情報活用力養成」  |
| ・平成19年 兵庫県人権学習指導者研修会        | 平成19年5月22日、5月29日、6月5日 | 講座：「情報社会と人権」  |
| ・丹波市「人権文化をすすめる市民運動」人権講演会    | 平成19年8月22日            | 講座：「インターネットと人権」   |
| ・江東区人権学習講座「もし自分がそうになったら・・・」 | 平成20年6月5日             | 講座：「マスメディアと人権～犯罪報道の現状」  |
| ・平成20年度 佐久地区社会人権教育研修会       | 平成20年7月11日            | 講座：「インターネットと人権」   |
| ・横浜市教育委員会 人権啓発講演会           | 平成22年1月14日            | 「人権侵害～インターネット社会を生きる」  |
| ・山梨県社会教育関係団体指導者養成研修会        | 平成22年1月30日            | 「生活者の視点から振り返る情報化の現在」  |
| (3)各種審議会・行政委員会、各種ADR等の委員    |                       |   |
| ・西東京市地域情報化計画策定審議会           | 平成19年10月～平成21年2月      | 事務局として、西東京市の第2期地域情報化基本計画書（5ヵ年計画）を策定した。                                      |
| ・東村山市 情報公開運営審議会             | 平成22年3月～平成24年2月       | 委員として情報公開の運営状況を審議する。  |

| 事 項                     | 年 月 日          | 概 要           |  |
|-------------------------|----------------|---------------|--|
| 5 その他                   |                |               |  |
| 職 務 上 の 能 力 に 関 す る 事 項 |                |               |  |
| 事 項                     | 年 月 日          | 概 要           |  |
| 1 資格、免許                 |                |               |  |
| 2 特許等                   |                |               |  |
| 3 実務の経験を有する者についての特記事項   |                |               |  |
| 4 その他                   |                |               |  |
| 研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項   |                |               |  |
| 著書、学術論文等の名称             | 単著<br>共著<br>の別 | 発行又は発表<br>の年月 | 発行所、発表雑誌等又は<br>発表学会等の名称  |
| (著書)                    |                |               |  |
| 1. 情報福祉論                | 共              | 平成19年12月      | ミネルヴァ書房<br>(総頁数172頁中、P40～P43、<br>P71～P88、P114～P119を担当)           |
| 2. 情報化社会の歩き方            | 単              | 平成22年2月       | ミネルヴァ書房<br>(総頁数229頁)   |
| 3. IT社会の護身術             | 単              | 平成22年3月       | 春風社<br>(総頁数237頁)   |
| (学術論文)                  |                |               |  |
| 1. 情報支出から見た生活情報化のメディア特性 | 単              | 平成20年3月       | 日本社会情報学会学会誌第19巻<br>3号 (13頁)                                      |
| (その他)                   |                |               |  |
| 1. 社会情報学のための論文文章表現      | 単              | 平成19年9月       | 日本社会情報学会、日本社会情<br>報学会学会誌第19巻2号<br>(P55～P69) 2007年9月              |
| 2. 生活情報化の歩む道～デモネ技術の行方   | 単              | 平成20年1月       | 独立行政法人 科学技術振興機<br>構、「情報管理」Vol. 50 No. 10<br>2008年1月号 (P645～P648) |
| 3. トリプルWinの図書館          | 単              | 平成20年1月       | 日本薬学図書館協議会、「薬学<br>図書館」Vol. 53, no. 1 2008 (P2<br>～P3)            |

| 著書、学術論文等の名称            | 単著<br>共著<br>の別 | 発行又は発表<br>の年月 | 発行所、発表雑誌等又は<br>発表学会等の名称                               |
|------------------------|----------------|---------------|---|
| 4. 生活情報化の歩む道～デモネ技術の行方～ | 単              | 平成20年1月       | 独立行政法人科学技術振興機構<br>『情報管理』Vol. 50 No. 10<br>(P644～P647) |
| 5. 岐路に立つ匿名ネットワーク       | 単              | 平成20年3月       | (財) 滋賀県人権センター「じんけん」No. 323 2008年3月号<br>(P11～P15)      |

- ・氏名（フリガナ）                    高森 秀蔵 (タカモリ ヒデゾウ)
- ・所属／職名                         人間関係学部（教養教育）／教授
- ・学位（分野）／研究分野         体育学士／運動学
- ・キーワード                         ラグビー方法論

| 職 歴                     |  |     |
|-------------------------|--|-----|
| 年 月                     | 事 項  |     |
| 平成13年 5月                | 武蔵野女子大学（現 武蔵野大学）人間関係学部教授（平成22年3月迄）             |     |
| 学会及び社会における活動等           |  |     |
| 現在所属している学会              | 日本体育学会、日本スポーツ教育学会、日本スポーツ方法学会、日本スポーツ産業学会、大学教育学会 |     |
| 年 月                     | 事 項  |     |
| 昭和42年 5月                | (学会活動)<br>日本体育学会会員                             |     |
| 昭和56年 5月                | 日本スポーツ教育学会会員                                   |     |
| 平成2年 3月                 | 日本スポーツ方法学会会員                                   |     |
| 平成2年10月                 | 日本スポーツ産業学会会員                                   |     |
| 平成13年 5月                | 大学教育学会会員                                       |     |
| 賞 罰                     |  |     |
| 年 月                     | 事 項  |     |
|                         | なし   |     |
| 教 育 研 究 業 績 書           |  |     |
| 教 育 上 の 能 力 に 関 す る 事 項 |  |     |
| 事 項                     | 年 月 日  | 概 要 |
| 1 教育方法の実践例              |  |     |
| 2 作成した教科書, 教材           |  |     |
| 3 教育上の能力に関する大学等の評価      |  |     |
| 4 実務の経験を有する者についての特記事項   |  |     |
| 5 その他                   |  |     |
| 職 務 上 の 能 力 に 関 す る 事 項 |  |     |
| 事 項                     | 年 月 日  | 概 要 |
| 1 資格、免許                 |  |     |
| 2 特許等                   |  |     |
| 3 実務の経験を有する者についての特記事項   |  |     |

| 事 項                                       | 年 月 日          | 概 要                |                                  |
|---|----------------|--------------------|----------------------------------|
| 4 その他                                     |                |                    |                                  |
| 研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項                     |                |                    |                                  |
| 著書、学術論文等の名称                               | 単著<br>共著<br>の別 | 発行又は発表<br>の年月      | 発行所、発表雑誌等又は<br>発表学会等の名称          |
| (著書)                                      |                |                    |                                  |
| (学術論文)                                    |                |                    |                                  |
| (その他)<br>1. DVDの制作 (編集)<br>2. DVDの制作 (編集) | 共<br>共         | 平成20年1月<br>平成21年1月 | 日本ラグビーフットボール協会<br>日本ラグビーフットボール協会 |

- ・氏名（フリガナ）                    古家 聡(フルヤ サトル)
- ・所属／職名                        人間関係学部（教養教育）／教授
- ・学位（分野）／研究分野        文学士、異文化コミュニケーション学修士、異文化コミュニケーション学博士／英語教育、異文化コミュニケーション
- ・キーワード                        英語教育、個人主義と集団主義

| 職 歴                     |  |     |
|-------------------------|--|-----|
| 年 月                     | 事 項  |     |
| 平成11年4月                 | 大正大学非常勤講師（英語上級等担当）（現在に至る）  |     |
| 平成12年4月                 | 共立女子短期大学非常勤講師（国際事情、時事英語担当）（現在に至る）  |     |
| 学会及び社会における活動等           |  |     |
| 現在所属している学会              | 日本時事英語学会、大学英語教育学会、異文化コミュニケーション学会、日本国際文化学会、立教・異文化コミュニケーション学会、日本グループダイナミクス学会、社会言語科学会、日本コミュニケーション学会   |     |
| 年 月                     | 事 項  |     |
| 平成3年11月                 | (学会活動)<br>大塚英語教育研究会会員（現在に至る）<br>日本時事英語学会会員（現在に至る）<br>大学英語教育学会（JACET）会員（現在に至る）<br>異文化コミュニケーション学会会員（現在に至る）<br>日本国際文化学会会員（現在に至る）<br>立教・異文化コミュニケーション学会会員（現在に至る）<br>日本グループダイナミクス学会会員（現在に至る）<br>社会言語科学会会員（現在に至る）<br>日本コミュニケーション学会会員（現在に至る） |     |
| 平成10年7月                 |  |     |
| 平成11年6月                 |  |     |
| 平成13年5月                 |  |     |
| 平成14年12月                |  |     |
| 平成16年6月                 |  |     |
| 平成17年8月                 |  |     |
| 平成17年11月                |  |     |
| 平成19年6月                 |  |     |
| 平成21年4月～                | NHK（ニュースで英会話）の原稿執筆（日本語訳と解説担当）継続中   |     |
| 賞 罰                     |  |     |
| 年 月                     | 事 項  |     |
|                         | なし   |     |
| 教 育 研 究 業 績 書           |  |     |
| 教 育 上 の 能 力 に 関 す る 事 項 |  |     |
| 事 項                     | 年 月 日  | 概 要 |
| 1 教育方法の実践例              |  |     |
| 2 作成した教科書，教材            |  |     |
| 3 教育上の能力に関する大学等の評価      |  |     |
| 4 実務の経験を有する者についての特記事項   |  |     |

| 事 項   | 年 月 日          | 概 要  |  |
|---|----------------|--|--|
| 5 その他   |                |  |  |
| (1) 日本私立学校振興・共済事業団学術研究振興資金                      | 平成19・20・21年度   | 日本語母語話者に対する外国語教授法の研究——外国語学習における母語干渉の分析を通して（代表：西蔭浩子、大正大学）平成19年度824,000円、平成20年度1,500,000円、平成21年度1,200,000円 |  |
| (2) 武蔵野女子学院 学院特別研究費 採択研究代表者                     | 平成20年度         | 日本的コミュニケーションの特性分析：個人主義と集団主義の再検討 600,000円   |  |
| (3) 武蔵野女子学院 学院特別研究費 採択研究代表者                     | 平成21年度         | 同上   |  |
| 職 務 上 の 能 力 に 関 す る 事 項                         |                |  |  |
| 事 項   | 年 月 日          | 概 要  |  |
| 1 資格、免許   |                |  |  |
| 2 特許等   |                |  |  |
| 3 実務の経験を有する者についての特記事項                           |                |  |  |
| 4 その他   |                |  |  |
| 研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項                           |                |  |  |
| 著書、学術論文等の名称                                     | 単著<br>共著<br>の別 | 発行又は発表<br>の年月  | 発行所、発表雑誌等又は<br>発表学会等の名称                                  |
| (著書)  |                |  |  |
| (学術論文)  |                |  |  |
| 1. 個人主義と集団主義を再考する：学際的アプローチ試論                    | 単              | 平成20年3月  | 『異文化コミュニケーション論集第6号』（立教大学大学院異文化コミュニケーション研究科）<br>（P87～P99） |
| 2. リーディングとリスニングにおける大学生の英語語彙力の比較                 | 共              | 平成20年3月  | 武蔵野大学人間関係学部紀要第5号<br>（P13～P27）                            |
| 3. 個人主義と集団主義に関する価値観比較研究——日本、アメリカ、中国、韓国の大学生を例に   | 単              | 平成20年5月  | 『異文化コミュニケーション第11号』（異文化コミュニケーション学会）<br>（P73～P92）          |
| 4. 個人主義と集団主義に関する批判的考察：ナショナリズムと文化本質主義との関連から      | 単              | 平成20年6月  | 『インターカルチュラル第6号』（日本国際文化学会）<br>（P131～P143）                 |
| 5. 日本的コミュニケーション・スタイルの特性分析——個人主義と集団主義に関する批判的考察から | 単              | 平成21年3月  | 立教大学大学院異文化コミュニケーション研究科 博士論文<br>（147頁）                    |

| 著書、学術論文等の名称  | 単著<br>共著<br>の別  | 発行又は発表<br>の年月   | 発行所、発表雑誌等又は<br>発表学会等の名称  |
|--|---|---|--|
| 6. 日本語母語話者と英語母語話者の英文作成に<br>用いている基準に関する一考察  | 単   | 平成22年2月   | 大正大学S L A研究会「日本語<br>母語話者の第二言語習得におけ<br>る問題点——英語・中国語・韓<br>国語の場合」予稿集<br>(P 12～P19)  |
| <p>(その他)</p> <p>1. 個人主義と集団主義に関する批判的考察：ナ<br/>ショナリズムと文化本質主義の視点から</p> <p>2. 個人主義と集団主義に関する批判的考察：学<br/>際的アプローチ試論</p> <p>3. 『通訳者と戦後日米外交』の書評</p> <p>4. 大学教員から見た英語教育</p> <p>5. 「ニュースで英会話」<br/>(日本語訳・センテンス解説)</p> <p>6. 日本人集団主義説のマクロ的再解釈</p> <p>7. 日本的コミュニケーション・スタイルのマク<br/>ロ的再解釈——日本人集団主義説をもとに</p> <p>8. 大学における外国語教育とは何か——その理<br/>念と実践</p> | <p>単</p> <p>単</p> <p>単</p> <p>単</p> <p>共</p> <p>単</p> <p>単</p> <p>単</p> | <p>平成19年9月</p> <p>平成19年9月</p> <p>平成19年12月</p> <p>平成21年3月</p> <p>平成21年4月～</p> <p>平成21年6月</p> <p>平成21年6月</p> <p>平成22年3月</p> | <p>於：早稲田大学 日本国際文化<br/>学会2007年度臨時秋季研究大会</p> <p>於：カリタス女子短期大学 異<br/>文化コミュニケーション学会年<br/>次大会</p> <p>『通訳研究』（日本通訳学会発<br/>行、2007年第7号）<br/>(P269～P272)</p> <p>財団法人中央教育研究所「研究<br/>報告」No. 70<br/>(P45～P49)</p> <p>NHK</p> <p>於：立教大学 第6回立教・異<br/>文化コミュニケーション学会</p> <p>於：新潟清陵短大 日本コミュ<br/>ニケーション学会第39回年次大<br/>会</p> <p>武蔵野大学平成21年度FD研修<br/>報告書<br/>(P5～P19)</p> |

- ・氏名（フリガナ）            李 昌圭（イ チャンキュ）
- ・所属／職名                人間関係学部（教養教育）／准教授
- ・学位（分野）／研究分野    文学修士／外国語教育（韓国語学、韓国語教育）
- ・キーワード                韓国語の文法教育

| 職 歴                           |  |   |
|-------------------------------|--|---|
| 年 月                           | 事 項  |   |
| 平成10年4月<br>平成16年4月            | 法政大学第二教養学部（現、市ヶ谷地区教養センター）非常勤講師（現在に至る）<br>大妻女子大学文学部非常勤講師（現在に至る）         |   |
| 学会及び社会における活動等                 |  |   |
| 現在所属している学会                    | 韓国日本語日本文学学会、国際韓国語教育学会、朝鮮学会   |   |
| 年 月                           | 事 項  |   |
| 昭和55年6月<br>平成8年6月<br>平成11年11月 | 韓国日本語日本文学学会会員（韓国）（現在に至る）<br>国際韓国語教育学会会員（韓国）（現在に至る）<br>朝鮮学会会員（日）（現在に至る） |   |
| 賞 罰                           |  |   |
| 年 月                           | 事 項  |   |
|                               | なし   |   |
| 教 育 研 究 業 績 書                 |  |   |
| 教 育 上 の 能 力 に 関 す る 事 項       |  |   |
| 事 項                           | 年 月 日  | 概 要   |
| 1 教育方法の実践例                    |  |   |
| 2 作成した教科書、教材                  |  |   |
| (1) 『文型中心CD付テキスト韓国語上級』（再掲）白帝社 | 平成20年3月  | 上級課程で必要とされる文法と文型、表現を最新の研究結果を踏まえて頻度順で選別し、それに沿って各課で段階的に提示し、解説したテキスト       |
| (2) 『韓国語をはじめよう』初級（再掲）朝日出版社    | 平成21年1月  | 韓国語教育に関する最新の研究成果を取り入れて基本学習項目を展開し、日韓両語の類似性と日本の教育環境に適した指導と学習できるように構成している。 |
| (3) 『韓国語を学ぼう』中級別冊練習帳（再掲）朝日出版社 | 平成21年1月  | 『韓国語を学ぼう』中級の練習帳として不規則活用など学習上の難所が効率的に理解ように文法項目別に関連ドリルを提示している。            |
| 3 教育上の能力に関する大学等の評価            |  |   |
| 4 実務の経験を有する者についての特記事項         |  |   |
| (1) 2007年度夏期韓国語研修旅行引率（単独）     | 平成19年8月20～30日  | 韓国  |
| 5 その他                         |  |   |

| 職務上の能力に関する事項          |                |               |                         |
|-----------------------|----------------|---------------|-------------------------|
| 事項                    | 年月日            | 概要            |                         |
| 1 資格、免許               |                |               |                         |
| 2 特許等                 |                |               |                         |
| 3 実務の経験を有する者についての特記事項 |                |               |                         |
| 4 その他                 |                |               |                         |
| 研究業績等に関する事項           |                |               |                         |
| 著書、学術論文等の名称           | 単著<br>共著<br>の別 | 発行又は発表<br>の年月 | 発行所、発表雑誌等又は<br>発表学会等の名称 |
| (著書)                  |                |               |                         |
| 1. 文法から学べる韓国語ドリル      | 単              | 平成19年7月       | ナツメ社 (143頁)             |
| 2. ハングル能力検定試験5級実戦問題集  | 共              | 平成19年10月      | 朝日出版社 総頁数202頁           |
| 3. ハングル能力検定試験4級実戦問題集  | 共              | 平成19年10月      | 朝日出版社 総頁数220頁           |
| 4. 文型中心CD付きテキスト韓国語上級  | 単              | 平成20年3月       | 白帝社 (137頁)              |
| 5. ハングル能力試験3級実戦問題集    | 共              | 平成20年5月       | 朝日出版社 総頁数267頁           |
| 6. 絵でわかる旅行会話集 韓国      | 単              | 平成20年6月       | ナツメ社 (160頁)             |
| 7. 韓国語をはじめよう 初級       | 単              | 平成21年1月       | 朝日出版社 (167頁)            |
| 8. 韓国語を学ぼう 中級別冊練習帳    | 単              | 平成21年1月       | 朝日出版社(100頁)             |
| 9. 韓国語基本単語集           | 単              | 平成21年2月       | ナツメ社 (400頁)             |
| 10. 仕組みがわかる韓国語文法レッスン  | 単              | 平成22年3月       | 白帝社 (408頁)              |
| (学術論文)                |                |               |                         |
| (その他)                 |                |               |                         |

- ・氏名（フリガナ）                    陳 継東(チン ケイトウ)
- ・所属／職名                        人間関係学部（教養教育）／准教授
- ・学位（分野）／研究分野        哲学学士、哲学修士、博士（文学）／中国哲学、仏教学、東洋史
- ・キーワード                        中国哲学、思想、中国仏教、仏教学、仏教史全般、中国近現代史、比較、交流史

| 職 歴                           |                                     |  |
|-------------------------------|-------------------------------------|--|
| 年 月                           | 事 項                                 |  |
| 平成12年4月                       | 東京外国語大学非常勤講師（現在に至る）                 |  |
| 生成14年4月                       | 明治大学非常勤講師（現在に至る）                    |  |
| 平成17年4月                       | 学習院大学非常勤講師（現在に至る）                   |  |
| 学会及び社会における活動等                 |                                     |  |
| 現在所属している学会                    | 日本印度学仏教学会、日本近代仏教研究学会、中国社会文化学会、仏教史学会 |  |
| 年 月                           | 事 項                                 |  |
|                               | (学会活動)                              |  |
| 平成7年5月                        | 日本印度学仏教学会（現在に至る）                    |  |
| 平成10年5月                       | 日本近代仏教研究学会（現在に至る）                   |  |
| 平成16年4月                       | 中国社会文化学会（現在に至る）                     |  |
| 平成16年5月                       | 仏教史学会（現在に至る）                        |  |
| 賞 罰                           |                                     |  |
| 年 月                           | 事 項                                 |  |
|                               | なし                                  |  |
| 教 育 研 究 業 績 書                 |                                     |  |
| 教 育 上 の 能 力 に 関 す る 事 項       |                                     |  |
| 事 項                           | 年 月 日                               | 概 要  |
| 1 教育方法の実践例                    |                                     |  |
| (1) 学生の学習意欲を高めるための対策          | 平成14年～現在                            | 学生の学習意欲を高めるために、時事問題を授業で積極的に取り上げている。例えば、ワールドカップの時には、サッカーに関する日中術語を一覧表に纏めて発音・会話・作文の練習を行なった。また、音響教材を活用して、中国での流行（歌、音楽）を随時に紹介している。 |
| (2) 外校の（東京外国語大学）の中国語学科の学生との交流 | 平成15年10月～平成19年10月                   | 中国語を専門とする学生との交流で中国語学習方法、中国認識によって学習欲を高める実践。   |
| (3) 中国文化研修                    | 平成15年4月～平成19年                       | 北京、天津、西安、洛陽、南京、揚州、上海、大連などを見学し、そのの大学生との交流や日本企業の見学を行なった。   |
| 2 作成した教科書、教材                  |                                     |  |
| (1) 『中国仏教文化』（武蔵野大学）           | 平成20年5月                             | 本書は、思想、政治、経済、文学、芸術、中国人の生活など諸方面にわたって、仏教が中国文化に及ぼした影響を概観するものである。また、本書は本学通信教育ために編まれた教科書である。                                      |

| 事 項   | 年 月 日                       | 概 要  |  |
|---|-----------------------------|--|--|
| 3 教育上の能力に関する大学等の評価                                      |                             |  |  |
| 4 実務の経験を有する者についての特記事項                                   |                             |  |  |
| 5 その他<br>(1)武蔵野女子学院 学院特別研究費 採択<br>(2)(財)三菱財団助成金 獲得      | 平成17、18、19年度<br><br>平成19年7月 | 明治期における『歎異抄』の再発見及び思想的意義 17年度300,000円、18年度200,000円<br><br>対象案件:明治初期における日本仏教者の中国滞在日記の調査研究 助成金 1,500,000円 |  |
| 職 務 上 の 能 力 に 関 す る 事 項                                 |                             |  |  |
| 事 項   | 年 月 日                       | 概 要  |  |
| 1 資格、免許   |                             |  |  |
| 2 特許等   |                             |  |  |
| 3 実務の経験を有する者についての特記事項                                   |                             |  |  |
| 4 その他   |                             |  |  |
| 研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項                                   |                             |  |  |
| 著書、学術論文等の名称   | 単著<br>共著<br>の別              | 発行又は発表<br>の年月  | 発行所、発表雑誌等又は<br>発表学会等の名称                          |
| (著書)  |                             |  |  |
| 1. 中国仏教文化   | 共                           | 平成20年5月  | 角川学芸出版 (P113～P212)                               |
| 2. 北京紀事・北京紀遊  | 共                           | 平成20年5月  | 中華書局 (北京)  |
| 3. 中国禅学研究入門   | 共                           | 平成21年10月   | 復旦大学出版社 (P105-191)                               |
| (学術論文)  |                             |  |  |
| 1. 近代中日仏教徒の対話—楊文会と南條文雄の交流 (菅野博史訳)                       | 単                           | 平成19年5月  | 『東洋学術研究』第46巻第1号 (P104～P117)                      |
| 2. 哲学と宗教の狭間—近代中国思想における仏教の位置づけ—                          | 単                           | 平成19年9月  | 『思想』No. 1001 2007年9月号 (P105～P117)                |
| 3. 隋唐時代の東アジア仏教における宗派意識の問題点—凝然撰『八宗綱要』と楊文会撰『十宗略説』の視座を通して— | 単                           | 平成20年3月  | 『東洋文化研究』第10号、学習院大学東洋文化研究所 (P507～P516)            |
| 4. 「章炳麟の初期仏教認識—『愼書』初刻本(一九〇〇)を中心として」                     | 単                           | 平成21年3月  | 『言語・文化・社会』第7号、学習院大学外国語教育センター (P1～P27)            |
| 5. 「日本仏教の再発見—小栗栖香頂の中国体験(一八七三—一八七四)」                     | 単                           | 平成21年3月  | 『近代日本の仏教者における中国体験・インド体験』(小川原正道編)、DPT出版 (P17～P29) |

| 著書、学術論文等の名称   | 単著<br>共著<br>の別 | 発行又は発表<br>の年月 | 発行所、発表雑誌等又は<br>発表学会等の名称   |
|---|----------------|---------------|---|
| 6. The Transmission of the Jodo Shinshu<br>Doctrine To China: The Discovery of<br>"Nanjingyu Shuojiao" and its Significance | 単              | 平成21年         | The Eastern Buddhist,<br>Vol. 40, No. 1&2, 2009,<br>pp. 139-150 |
| (その他)   |                |               |   |

- ・氏名（フリガナ）                    洞口 光由 (ホラグチ ミツヨシ)
- ・所属／職名                        人間関係学部（教養教育）／准教授
- ・学位（分野）／研究分野        法学士／キャリア教育全般に関する研究
- ・キーワード                        「産学連携」実践プログラム＝①中国富裕層の誘致策、②チャイナサロン開設、③  
学生がコンシェルジュ

| 職 歴                     |       |     |
|-------------------------|-------|-----|
| 年 月                     | 事 項   |     |
|                         |       |     |
| 学会及び社会における活動等           |       |     |
| 年 月                     | 事 項   |     |
|                         |       |     |
| 賞 罰                     |       |     |
| 年 月                     | 事 項   |     |
|                         | なし    |     |
| 教 育 研 究 業 績 書           |       |     |
| 教 育 上 の 能 力 に 関 す る 事 項 |       |     |
| 事 項                     | 年 月 日 | 概 要 |
| 1 教育方法の実践例              |       |     |
| 2 作成した教科書, 教材           |       |     |
| 3 教育上の能力に関する大学等の評価      |       |     |
| 4 実務の経験を有する者についての特記事項   |       |     |
| 5 その他                   |       |     |
| 職 務 上 の 能 力 に 関 す る 事 項 |       |     |
| 事 項                     | 年 月 日 | 概 要 |
| 1 資格、免許                 |       |     |
| 2 特許等                   |       |     |

| 事 項  | 年 月 日          | 概 要   |                                 |
|--|----------------|---|---------------------------------|
| 3 実務の経験を有する者についての特記事項                        |                |   |                                 |
| (1)『沖縄ホテル&スパリゾート喜瀬別邸』プロジェクト研究                | 平成18年～平成19年4月  | 平成19年5月開業予定の『喜瀬別邸』はキャリア開発科目の「ホスピタリティマインド」を実践したモデルホテル。(電通との共同研究)<br>実際に今年4月、4名の学生が入社(内定)、授業での理論を実践する試み。<br><br>国内最高級リゾートホテルの事例研究 |                                 |
| (2)「成田LOHAS TOWN」プロジェクト                      | 平成19年9月        | 成田空港のそばに、露天風呂付スイートの和風ホテルの研究   |                                 |
| (3)「ホテル ラ・スイート神戸ハーバーランド」セールス&マーケティングプログラム    | 平成20年11月       | 神戸初のスモールラグジュアリーホテルのマーケティング活動プランを立案及び実践指導  |                                 |
| (4)三越・顧客サービスプログラム                            | 平成20年12月       | 三越百貨店の顧客サービスプログラムを考案し、顧客サービスの質的向上を図る  |                                 |
| (5)グランドプリンスホテル赤城28                           | 平成21年1月        | グランドプリンスホテル赤城顧客登録制の立案   |                                 |
| (6)大垣共立銀行新カードシステム                            | 平成21年4月        | 大垣共立銀行の顧客システム設計   |                                 |
| (7)サービスのグローバルスタンダードに関する一考察(ホスピタリティマインドの視点から) | 平成21年4月        | 米国発 経済悪化の中で外資系高級ホテルが有するサービスは如何に変化したのか   |                                 |
| (8)「中国富裕層」の日本への誘致に関する施策を立案                   | 平成21年12月       | 産学連携：西武トラベル(株)とロイヤルパーク汐留タワーとの連携により「チャイナサロン」の開設(7月開業予定)  |                                 |
| 4 その他  |                |   |                                 |
| 研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項                        |                |   |                                 |
| 著書、学術論文等の名称                                  | 単著<br>共著<br>の別 | 発行又は発表<br>の年月   | 発行所、発表雑誌等又は<br>発表学会等の名称         |
| (著書)   |                |   |                                 |
| (学術論文)                                       |                |   |                                 |
| 1. サービスのグローバルスタンダードに関する一考察(ホスピタリティマインドの視点から) | 単              | 平成21年3月   | 武蔵野大学人間関係学部紀要第6号<br>(P273～P294) |
| (その他)  |                |   |                                 |
| 1. サービス産業がホスピタリティ産業へ進化する時代                   | 単              | 平成19年7月   | 週刊ホテルレストラン                      |
| 2. スモールラグジュアリーホテルのサービス                       | 単              | 平成19年7月   | 週刊ホテルレストラン                      |

| 著書、学術論文等の名称                                 | 単著<br>共著<br>の別 | 発行又は発表<br>の年月 | 発行所、発表雑誌等又は<br>発表学会等の名称                |
|---|----------------|---------------|--|
| 3. ホテルがマーケットに選別される時代の到来                     | 単              | 平成20年2月       | 週刊ホテルレストラン                             |
| 4. 最高級ホテルの現場最前線の実態調査                        | 単              | 平成20年3月       | 東洋経済新報社へのレポート                          |
| 5. ホテル&レストランショー：講演セミナー＝<br>「インバウンドは中国市場を狙え」 | 単              | 平成21年2月       | 「国際ホテル・レストラン<br>ショー」での講演とプレゼン<br>テーション |
| 6. 三越百貨店・新顧客サービス事業の提案                       | 単              | 平成21年4月       | 三越百貨店顧客開発部への提案<br>書作成                  |
| 7. 「ホテル西洋銀座・セールス&マーケティング<br>プログラム」          | 単              | 平成21年6月       | ホテル西洋銀座への提案書提出                         |
| 8. 「武蔵野大学キャリア開発交流会」での講演<br>会                | 単              | 平成21年9月       | 京王プラザホテルでの講演会                          |
| 9. 「ロイヤルパーク汐留タワー」新規事業提案<br>書                | 単              | 平成21年10月      | ホテル役員向けセミナー                            |
| 10. 「5つ星のサービスマインド」事業継承セミ<br>ナー              | 単              | 平成21年11月      | 社団法人日本冠婚葬祭互助会」<br>セミナーテキスト             |
| 11. 「近鉄ホテル・システムズグループ売上増収<br>プラン             | 単              | 平成22年1月       | 近畿日本鉄道(株)ホテル事業部向<br>けテキスト              |
| 12. 「キャリア開発フォーラム」での講演                       | 単              | 平成22年2月       | 「武蔵野大学キャリア開発<br>フォーラム」                 |

- ・氏名（フリガナ）                    Michel Anthony Edwards(マイケル アンソニー エドワーズ) 平成21年3月  
退職
- ・所属／職名                         人間関係学部（教養教育）／講師
- ・学位（分野）／研究分野         M. A.（英語教授法）／英語教授法
- ・キーワード

| 職 歴                     |       |     |
|-------------------------|-------|-----|
| 年 月                     | 事 項   |     |
|                         |       |     |
| 学会及び社会における活動等           |       |     |
| 年 月                     | 事 項   |     |
|                         |       |     |
| 賞 罰                     |       |     |
| 年 月                     | 事 項   |     |
|                         | なし    |     |
| 教 育 研 究 業 績 書           |       |     |
| 教 育 上 の 能 力 に 関 す る 事 項 |       |     |
| 事 項                     | 年 月 日 | 概 要 |
| 1 教育方法の実践例              |       |     |
| 2 作成した教科書, 教材           |       |     |
| 3 教育上の能力に関する大学等の評価      |       |     |
| 4 実務の経験を有する者についての特記事項   |       |     |
| 5 その他                   |       |     |
| 職 務 上 の 能 力 に 関 す る 事 項 |       |     |
| 事 項                     | 年 月 日 | 概 要 |
| 1 資格、免許                 |       |     |
| 2 特許等                   |       |     |
| 3 実務の経験を有する者についての特記事項   |       |     |
| 4 その他                   |       |     |

| 研究業績等に関する事項 |                |               |                         |
|-------------|----------------|---------------|-------------------------|
| 著書、学術論文等の名称 | 単著<br>共著<br>の別 | 発行又は発表<br>の年月 | 発行所、発表雑誌等又は<br>発表学会等の名称 |
| (著書)        |                |               |                         |
| (学術論文)      |                |               |                         |
| (その他)       |                |               |                         |

## 人間関係学科

- ・氏名（フリガナ）                    **大山 みち子** (オオヤマ ミチコ)
- ・所属／職名                         人間関係学部（人間関係学科）／教授
- ・学位（分野）／研究分野         教育学士、教育学修士／臨床心理学（心理療法および心理検査）
- ・キーワード                         精神分析、ブリーフサイコセラピー、犯罪、非行、被害

| 職 歴             |  |
|-----------------|--|
| 年 月             | 事 項  |
| 平成1年<br>平成20年4月 | 広尾心理臨床相談室臨床心理士（現在に至る）<br>武蔵野大学人間関係学部教授（昇任）（人間論演習等担当）、<br>同大学院人間社会・文化研究科教授（昇任）（臨床心理基礎実習等担当）（現在に至る）  |
| 学会及び社会における活動等   |  |
| 現在所属している学会      | 日本催眠医学心理学会、日本自律訓練学会、日本心理臨床学会、日本心理学会、日本犯罪心理学会、日本精神分析学会、日本家族研究・家族療法学会、日本ブリーフサイコセラピー学会、包括システムによる日本ロールシャッハ学会、日本思春期青年期精神医学会、日本トラウマティック・ストレス学会 |
| 年 月             | 事 項  |
|                 | (学会活動)   |
| 昭和52年9月         | 日本催眠医学心理学会会員（現在に至る）  |
| 昭和56年10月        | 日本自律訓練学会会員（現在に至る）  |
| 昭和57年6月         | 日本心理臨床学会会員（現在に至る）  |
| 昭和58年12月        | 日本心理学会会員（現在に至る）  |
| 昭和60年6月         | 日本犯罪心理学会会員（現在に至る）  |
| 昭和62年2月         | 日本精神分析学会会員（現在に至る）  |
| 平成6年4月          | 日本家族研究・家族療法学会会員（現在に至る）   |
| 平成7年7月          | 日本ブリーフサイコセラピー学会会員・監事（平成14年から理事）  |
| 平成11年2月         | 包括システムによる日本ロールシャッハ学会会員（現在に至る）  |
| 平成11年3月         | 日本思春期青年期精神医学会会員（現在に至る）   |
| 平成12年3月         | （東洋思想と心理療法）研究会世話人（現在に至る）   |
| 平成14年2月         | 日本トラウマティック・ストレス学会会員、理事（現在に至る）  |
| 平成14年4月         | 日本ブリーフサイコセラピー学会理事（現在に至る）   |
| 平成16年12月        | 日本催眠医学心理学会倫理委員（現在に至る）  |
| 平成17年7月         | 日本心理学会資格認定委員（平成21年10月まで）   |
| 平成17年7月         | 日本心理学会カリキュラム担当委員（現在に至る）  |
| 平成20年8月         | 日本ブリーフサイコセラピー学会第19回大会準備委員  |
|                 | (社会活動)   |
| 平成14年12月        | 厚生労働省健康局脳死下での臓器提供事例に係る検証会議（ドナー家族の心情把握作業班）<br>参画者（平成20年4月迄）   |
| 平成16年           | 警視庁犯罪被害者支援活動委嘱（現在に至る）  |
| 平成17年4月         | 平成17年度厚生労働科学研究（犯罪被害者の精神健康の状況とその回復に関する研究）分担<br>研究者（公募課題番号17230901、平成20年3月迄）   |
| 平成17年4月         | 神奈川県警察本部被害者カウンセリングアドバイザー（平成20年3月迄）   |

| 賞                            |   | 罰        |                                 |
|------------------------------|---|----------|---------------------------------|
| 年                            | 月 | 事 項      |                                 |
|                              |   | なし       |                                 |
| 教 育 研 究 業 績 書                |   |          |                                 |
| 教 育 上 の 能 力 に 関 す る 事 項      |   |          |                                 |
| 事 項                          |   | 年 月 日    | 概 要                             |
| 1 教育方法の実践例                   |   |          |                                 |
| 2 作成した教科書, 教材                |   |          |                                 |
| 3 教育上の能力に関する大学等の評価           |   |          |                                 |
| 4 実務の経験を有する者についての特記事項        |   |          |                                 |
| (1) 東京ウィメンズプラザ事例検討会助言者       |   | 平成19年4月  | 「ケーススタディ」                       |
| (2) 新潟県健康福祉部精神保健福祉相談         |   | 平成19年4月  |                                 |
| (3) 神奈川医療少年院矯正教育講師           |   | 平成19年4月  | 性非行矯正プログラム・グループワーク              |
| (4) 東京ウィメンズプラザ事例検討会助言者       |   | 平成19年5月  | 「ケーススタディ」                       |
| (5) 東京ウィメンズプラザ事例検討会助言者       |   | 平成19年6月  | 「ケーススタディ」                       |
| (6) 神奈川医療少年院矯正教育講師           |   | 平成19年6月  | 性非行矯正プログラム・グループワーク              |
| (7) 東京ウィメンズプラザ事例検討会助言者       |   | 平成19年7月  | 「ケーススタディ」                       |
| (8) 新潟県健康福祉部精神保健福祉相談         |   | 平成19年7月  |                                 |
| (9) 東京ウィメンズプラザ事例検討会助言者       |   | 平成19年8月  | 「ケーススタディ」                       |
| (10) 東京ウィメンズプラザ事例検討会助言者      |   | 平成19年9月  | 「ケーススタディ」                       |
| (11) 新潟県健康福祉部精神保健福祉相談        |   | 平成19年10月 |                                 |
| (12) 東京ウィメンズプラザ事例検討会助言者      |   | 平成19年10月 | 「ケーススタディ」                       |
| (13) 熊本県防災・メンタルケアトップセミナー講師   |   | 平成19年11月 | 「被災者に対する心理面での支援」                |
| (14) 兵庫県男女共同参画センター           |   | 平成19年11月 | DV防止事例検討会                       |
| (15) 東京ウィメンズプラザ事例検討会助言者      |   | 平成19年11月 | 「ケーススタディ」                       |
| (16) 横浜市性暴力加害者ケアプログラム講師      |   | 平成19年11月 | 「性暴力についての理解と対応」                 |
| (17) 新潟県健康福祉部精神保健福祉相談        |   | 平成19年12月 |                                 |
| (18) 東京ウィメンズプラザ事例検討会助言者      |   | 平成19年12月 | 「ケーススタディ」                       |
| (19) 東京ウィメンズプラザ事例検討会助言者      |   | 平成20年1月  | 「ケーススタディ」                       |
| (20) 東京ウィメンズプラザ事例検討会助言者      |   | 平成20年2月  | 「ケーススタディ」                       |
| (21) 新潟県健康福祉部精神保健福祉相談        |   | 平成20年2月  |                                 |
| (22) 警察庁カウンセリング技術専科教養講師      |   | 平成20年2月  | 「犯罪被害者の心理とそのケア」                 |
| (23) 大阪被害者支援アドボカシーセンターセミナー講師 |   | 平成20年3月  | 「犯罪被害者の心理とケア支援者としての基本的な心構えと留意点」 |
| (24) 大阪被害者支援アドボカシーセンターセミナー講師 |   | 平成20年3月  | 事例検討会                           |
| (25) 東京ウィメンズプラザ事例検討会助言者      |   | 平成20年3月  | 「ケーススタディ」                       |
| (26) 東京少年鑑別所職員研修講師           |   | 平成20年3月  | 「被害者・家族の心理を理解する」                |

| 事 項                                      | 年 月 日     | 概 要  |
|--|-----------|--|
| (27) 神奈川医療少年院矯正教育講師                      | 平成20年3月   | 粗暴非行矯正プログラム・グループワーク  |
| (28) 神奈川医療少年院矯正教育講師                      | 平成20年3月   | 性非行矯正プログラム・グループワーク   |
| (29) 新潟県健康福祉部精神保健福祉相談                    | 平成20年5月   |  |
| (30) 新潟県健康福祉部精神保健福祉相談                    | 平成20年8月   |  |
| (31) 神奈川医療少年院矯正教育講師                      | 平成20年8月   | 性非行矯正プログラム・グループワーク   |
| (32) 警察庁カウンセリング技術専科実務教養                  | 平成20年10月  | 「犯罪被害者の心理とケア」講師  |
| (33) 裁判所職員総合研修所調査実務研修                    | 平成20年10月  | 調査実務研修講師   |
| (34) 新潟県健康福祉部精神保健福祉相談                    | 平成20年10月  |  |
| (35) 神奈川医療少年院矯正教育講師                      | 平成21年2月   | 性非行矯正プログラム・グループワーク   |
| (36) 新潟県健康福祉部精神保健福祉相談                    | 平成21年2月   |  |
| (37) 神奈川医療少年院矯正教育講師                      | 平成21年2月   | 性非行矯正プログラム・グループワーク   |
| (38) 千葉県臨床心理士会平成20年度冬のセミナー講師             | 平成21年2月   | 司法分科会「被害者への心理的援助」講師  |
| (39) 世田谷区教育委員会教育相談事業（世田谷区立教育センター）内部研修会講師 | 平成21年3月   | 「ケーススタディ」  |
| (40) 神奈川医療少年院矯正教育師                       | 平成21年3月   | 性非行矯正プログラム・グループワーク   |
| (41) 新潟県健康福祉部精神保健福祉相談                    | 平成21年5月   |  |
| (42) 神奈川医療少年院矯正教育講師                      | 平成21年5月   | 粗暴非行矯正プログラム・グループワーク  |
| (43) 新潟県健康福祉部精神保健福祉相談                    | 平成21年9月   |  |
| (44) 警察庁被害者カウンセリング技術専科                   | 平成21年9月   | 上級専科「犯罪被害者の心理とケア」講師  |
| (45) 裁判所職員総合研修所調査実務研修                    | 平成21年9月   | 調査官専門研修講師  |
| (46) 神奈川医療少年院矯正教育講師                      | 平成21年9月   | 粗暴非行矯正プログラム・グループワーク  |
| (47) 北九州市精神保健福祉専門研修                      | 平成21年10月  | トラウマケア～被害者への急性期対応を中心に～   |
| (48) 神奈川医療少年院矯正教育講師                      | 平成21年11月  | 粗暴非行矯正プログラム・グループ   |
| (49) 警察庁被害者カウンセリング技術専科                   | 平成21年11月  | ワークワークショップ講師   |
| (50) 新潟県健康福祉部精神保健福祉相談                    | 平成21年12月  |  |
| (51) 新潟県健康福祉部精神保健福祉相談                    | 平成22年3月   |  |
| (52) 神奈川医療少年院矯正教育講師                      | 平成22年3月   | 性非行矯正プログラム・グループワーク   |
| 5 その他                                    |           |  |
| (1) 厚生労働省厚生労働科学研究 分担研究                   | 平成17～19年度 | 「犯罪被害者の精神健康の状況とその回復に関する研究」 分担研究「犯罪被害者支援の現状とその回復～臨床心理士による犯罪被害者への心理相談活動の実態に関する研究～」 主任研究者:小西聖子、分担研究者:大山みち子・堀越勝、研究協力者:吉川麻衣子、中島聡美、道家木綿子、磯辺花映、木下留美子、星崎裕子、福森崇貴、櫻村正美、丹羽まどか、片岡玲子、富永良喜 助成金1,500,000円 |

| 職務上の能力に関する事項   |                |               |   |
|--|----------------|---------------|---|
| 事項   | 年月日            | 概要            |   |
| 1 資格、免許  |                |               |   |
| 2 特許等  |                |               |   |
| 3 実務の経験を有する者についての特記事項                                    |                |               |   |
| 4 その他  |                |               |   |
| 研究業績等に関する事項  |                |               |   |
| 著書、学術論文等の名称  | 単著<br>共著<br>の別 | 発行又は発表<br>の年月 | 発行所、発表雑誌等又は<br>発表学会等の名称   |
| (著書)   |                |               |   |
| 1. 犯罪心理臨床  | 共              | 平成19年9月       | 金剛出版(総頁数255頁中、<br>P236～P250を担当)   |
| 2. 犯罪被害者のメンタルヘルス   | 共              | 平成20年11月      | 誠信書房(P82～P101)  |
| (学術論文)   |                |               |   |
| 1. 心理相談室における犯罪被害者への心理的支援の方法・技法について－相談員に対するインタビュー調査－      | 共              | 平成19年4月       | 厚生労働科学研究研究費補助金<br>(こころの健康科学研究事業)<br>犯罪被害者の精神健康の状況と<br>その回復に関する研究(総頁数<br>192頁中、P135～P142を担当) |
| 2. 大学・大学院在学時の臨床教育・訓練－1970年代から80年代と現代との比較－                | 単              | 平成19年12月      | 武蔵野大学心理臨床センター紀<br>要第7号(総頁数87頁中、P79～<br>P82を担当)  |
| 3. 症例検討会(「救命救急センターに搬送された夫に面会する妻と看護師のかかわりの一事例」田中晶子発表に関して) | 共              | 平成20年2月       | 日本トラウマティック・ストレ<br>ス学会『トラウマティック・<br>ストレス』(総頁数124頁中、<br>P79～P83を担当)                           |
| 4. 事例報告の意味   | 共              | 平成20年2月       | 日本トラウマティック・ストレ<br>ス学会『トラウマティック・<br>ストレス』(総頁数124頁中、<br>P85～P88を担当)                           |
| 5. 大学院実習における臨床場面への陪席の活用について                              | 単              | 平成20年12月      | 武蔵野大学心理臨床センター紀<br>要第8号  |
| 6. 心理臨床の場を整える行為とその意義                                     | 単              | 平成21年12月      | 武蔵野大学心理臨床センター紀<br>要第9号  |
| (その他)  |                |               |   |
| 1. Crime and Trauma (シンポジスト)                             | 単              | 平成19年4月       | JSTP+WPATPS+WAC<br>P J joint Meeting in<br>Kamamkura (神奈川)<br>Symposium Trauma and Culture  |

| 著書、学術論文等の名称   | 単著<br>共著<br>の別 | 発行又は発表<br>の年月 | 発行所、発表雑誌等又は<br>発表学会等の名称                           |
|---|----------------|---------------|---|
| 2. アクティングアウトと「選択」と「決断」と<br>ーある復職からー                                 | 共              | 平成19年 8月      | 日本ブリーフサイコセラピー学<br>会第17回大会 (長野)                    |
| 3. 性被害体験を語る意味ー想起することと語る<br>こと                                       | 共              | 平成19年 9月      | 日本心理臨床学会第26回大会<br>(東京)                            |
| 4. 救命救急センターに搬送された夫に面会する<br>妻と看護師のかかわりの一事例 症例検討会                     | 共              | 平成20年 2月      | 日本トラウマティック・ストレ<br>ス学会 『トラウマティック・<br>ストレス』         |
| 5. 子どもの世界・絵本の世界   | 共              | 平成20年 3月      | 「東洋思想と心理療法」研究会<br>第10回大会 (東京)                     |
| 6. シンポジウム「犯罪被害者の精神健康とその<br>回復」担当演題「臨床心理士の犯罪被害者相談<br>の実態」            | 単              | 平成20年 4月      | 日本トラウマティック・ストレ<br>ス学会第 7回大会 福岡市                   |
| 7. 領域別ワークショップ「成人ハラスメント」<br>演題「ハラスメント対応で心がけていること、<br>気づいたこと」         | 単              | 平成20年 7月      | 日本ブリーフサイコセラピー学<br>会第18回大会 岡山市                     |
| 8. 「高校を原級留置となった母親との卒業まで<br>の面接過程ー初心者セラピストの変化とともに<br>ー」              | 共              | 平成20年 7月      | 日本ブリーフサイコセラピー学<br>会第18回大会 岡山市                     |
| 9. シンポジウム「様々な技法によるPTSDの<br>心理療法」 担当演題「様々な技法によるPT<br>SDの心理療法ー事例を通して」 | 単              | 平成20年 9月      | 日本心理臨床学会第27回大会<br>つくば市                            |
| 10. 「陪席」形態による臨床指導の意味について<br>ー催眠イメージによるパニック障害ケースを通<br>してー            | 共              | 平成20年 9月      | 日本心理臨床学会第27回大会<br>つくば市                            |
| 11. 臨床心理士における犯罪被害者相談受理の実<br>態                                       | 共              | 平成20年 9月      | 日本心理臨床学会第27回大会つ<br>くば市ポスター発表                      |
| 12. 催眠面接によるトラウマ・ワークの臨床実践<br>ーEmotional abloon Techniqueの応用ー         | 共              | 平成20年11月      | 日本催眠医学心理学会第54回大<br>会 岡山市                          |
| 13. シンポジウム「老荘思想とひきこもり」  | 共              | 平成21年 3月      | 東洋思想と心理療法研究会第11<br>回研究会 東京都                       |
| 14. 矯正・司法の分野における心理専門職ー私が<br>働いてみて感じた・感じることー                         | 単              | 平成21年 8月      | 日本ブリーフサイコセラピー学<br>会第19回大会 ラウンドテーブ<br>ルディスカッション 東京 |
| 15. 公開症例検討会   | 共              | 平成22年 3月      | 日本トラウマティック・ストレ<br>ス学会第 9回大会プレコングレ<br>ス 神戸市        |
| 16. 「集団と個、東洋文化そして心理療法」  | 共              | 平成22年 3月      | 東洋思想と心理療法研究会第12<br>回研究会 東京都                       |

- ・氏名（フリガナ）                    **北岡 和彦** (キタオカ カズヒコ)
- ・所属／職名                         人間関係学部（人間関係学科）／教授
- ・学位（分野）／研究分野         体育学士、体育学修士／総合領域 健康、スポーツ科学、身体教育学
- ・キーワード                         体育科教育、身体運動文化、体育心理学

| 職 歴                     |                                   |           |
|-------------------------|-----------------------------------|-----------|
| 年 月                     | 事 項                               |           |
| 平成18年4月                 | 武蔵野大学学生部長（平成22年3月迄）               |           |
| 学会及び社会における活動等           |                                   |           |
| 現在所属している学会              | 日本体育学会、大学教育学会                     |           |
| 年 月                     | 事 項                               |           |
| 昭和52年4月                 | (学会活動)<br>日本体育学会会員（現在に至る）         |           |
| 平成1年4月                  | 大学教育（旧一般教育）学会会員（現在に至る）            |           |
| 平成7年4月                  | 日本スポーツ心理学会会員（平成21年3月迄）            |           |
|                         | (社会活動)                            |           |
| 平成17年7月                 | 西東京市スポーツ振興審議会委員（現在に至る）            |           |
| 平成18年4月                 | 社団法人日本グランド・ゴルフ協会広報委員会委員（平成22年3月迄） |           |
| 平成19年7月                 | 西東京市スポーツ振興審議会委員長（現在に至る）           |           |
| 賞 罰                     |                                   |           |
| 年 月                     | 事 項                               |           |
|                         | なし                                |           |
| 教 育 研 究 業 績 書           |                                   |           |
| 教 育 上 の 能 力 に 関 す る 事 項 |                                   |           |
| 事 項                     | 年 月 日                             | 概 要       |
| 1 教育方法の実践例              |                                   |           |
| 2 作成した教科書、教材            |                                   |           |
| 3 教育上の能力に関する大学等の評価      |                                   |           |
| 4 実務の経験を有する者についての特記事項   |                                   |           |
| 5 その他                   |                                   |           |
| 職 務 上 の 能 力 に 関 す る 事 項 |                                   |           |
| 事 項                     | 年 月 日                             | 概 要       |
| 1 資格、免許                 |                                   |           |
| (1)全日本スキー連盟スキー指導員       | 平成20年12月                          | 資格更新研修会出席 |
| 2 特許等                   |                                   |           |

| 事 項                   | 年 月 日          | 概 要           |                         |
|-----------------------|----------------|---------------|-------------------------|
| 3 実務の経験を有する者についての特記事項 |                |               |                         |
| 4 その他                 |                |               |                         |
| 研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項 |                |               |                         |
| 著書、学術論文等の名称           | 単著<br>共著<br>の別 | 発行又は発表<br>の年月 | 発行所、発表雑誌等又は<br>発表学会等の名称 |
| (著書)                  |                |               |                         |
| (学術論文)                |                |               |                         |
| (その他)                 |                |               |                         |

- ・氏名（フリガナ） **小西 聖子** (コニシ タカコ)
- ・所属／職名 人間関係学部（人間関係学科）／教授
- ・学位（分野）／研究分野 教育学士、医学士、博士（医学）／精神保健
- ・キーワード トラウマケア

| 職 歴           |   |
|---------------|---|
| 年 月           | 事 項   |
| 平成19年4月       | 医療法人社団薫風会田無メンタルクリニック精神科診療（週1日）（現在に至る）   |
| 学会及び社会における活動等 |   |
| 現在所属している学会    | 日本精神神経学会、日本社会精神医学会、日本公衆衛生学会、日本犯罪学会、日本心理臨床学会、日本被害者学会、日本トラウマティック・ストレス学会、The International Society for Traumatic Stress Studies、日本司法精神医学会、日本総合病院精神医学会、日本外来精神医療学会 |
| 年 月           | 事 項   |
|               | (学会活動)  |
| 平成1年3月        | 日本精神神経学会会員（現在に至る）   |
| 平成1年3月        | 日本社会精神医学会会員（現在に至る）  |
| 平成1年4月        | 日本公衆衛生学会会員（現在に至る）   |
| 平成1年10月       | 日本犯罪学会会員（現在に至る）   |
| 平成2年4月        | 日本病跡学会会員（平成22年3月迄）  |
| 平成4年7月        | 日本心理臨床学会会員（現在に至る）   |
| 平成5年6月        | 日本被害者学会会員（現在に至る）  |
| 平成6年10月       | The International Society for Traumatic Stress Studies会員（現在に至る）   |
| 平成8年12月       | 日本犯罪学会評議員（現在に至る）  |
| 平成10年6月       | 日本被害者学会理事（現在に至る）  |
| 平成14年2月       | フェミニストカウンセリング協会（現・日本フェミニストカウンセリング学会）資格認定委員（現在に至る）   |
| 平成14年3月       | 日本トラウマティック・ストレス学会・理事（現在に至る）   |
| 平成17年4月       | 日本司法精神医学会理事（現在に至る）  |
| 平成18年4月       | 日本トラウマティック・ストレス学会・会長（平成20年3月迄）  |
| 平成19年10月      | 日本総合病院精神医学会会員（現在に至る）  |
|               | (社会活動)  |
| 平成15年9月       | 国立武蔵野学院（精神医学的・心理的ケアに関する専門委員会）委員（現在に至る）  |
| 平成16年7月       | 内閣府男女共同参画会議専門委員（現在に至る）  |
| 平成17年4月       | 内閣府犯罪被害者等施策推進会議委員（現在に至る）  |
| 平成17年7月       | 内閣府（近年の風水害対策に関する検討会）委員（現在に至る）   |
| 平成20年1月       | 国家公安委員会犯罪被害給付専門委員（現在に至る）  |
| 平成20年4月       | 兵庫県こころのケアセンター外部評価会員（現在に至る）  |
| 賞 罰           |   |
| 年 月           | 事 項   |
| 平成22年1月       | 第8回毎日書評賞受賞（「ココロ医者、ホンを診る——本のカルテ10年分から」武蔵野大学出版会）  |

| 教育研究業績書  |   |   |
|--|---|---|
| 教育上の能力に関する事項   |   |   |
| 事項   | 年月日   | 概要  |
| 1 教育方法の実践例   |   |   |
| 2 作成した教科書, 教材<br>(1) 武蔵野大学通信教育課程「グリーンケア・トラウマケア」  | 平成19年4月   | 悲嘆とトラウマのケアを初歩から学ぶための教科書。「悲しみの後遺症」に苦しむ人々の快復を適切にアシストするための理論と実践を系統的に紹介した。担当部分タイトル:「第7章トラウマとは何か」、「第8章トラウマ反応からPTSDへ」、「第9章トラウマへの反応」、「第10章トラウマ反応と解離」、「第11章子どものトラウマ」、「第12章トラウマのケア」、「第13章PTSDの治療」(単著103-180頁) 白井明美、小西聖子(総頁数183頁)   |
| 3 教育上の能力に関する大学等の評価   |   |   |
| 4 実務の経験を有する者についての特記事項<br>(1) 女性の安全と健康のための支援教育センター公開講座「理論と経験のまじわるところ—暴力社会に終止符を！」パネリスト<br>(2) 司法研修所・平成19年度採用(第 期)司法修習生前期修習「犯罪被害者の心理と援助」講師<br>(3) ミラベルの会・研究会「PTSDの治療」講師<br>(4) 大阪教育大学学校危機メンタルサポートセンター・PE講習会継続ワークショップ講師<br>(5) 福島大学総合教育研究センター学術講演会「トラウマと心のケア」講師<br>(6) 女性の安全と健康のための支援教育センター2007年7月研修講座・基礎・性暴力被害者支援専門看護職コース「支援の初めに知っておきたいこと」、専門コース「スーパービジョンの実際」講師<br>(7) 日本臨床心理士会・第9回被害者支援研修会全体講演「犯罪被害者等基本法と被害者支援のこれから」講師 | 平成19年5月<br>平成19年5月<br>平成19年5月<br>平成19年6月<br>平成19年6月<br>平成19年7月<br>平成19年7月 | DV被害者の臨床に関わる立場から、現在PTSD治療に効果が実証されている認知行動療法について述べた。司会:角田由紀子、パネリスト:上野千鶴子、小西聖子<br>司法修習生を対象に犯罪被害者の心理と援助について概説した。<br>精神障害性障害の診断・治療に携わる医師を対象に、DV被害とPTSD、PTSDの治療について概説した。<br>長期曝露療法(PE)継続ワークショップの講師をつとめた。(6月9、10の2日間)<br>教職員・臨床心理や児童福祉専攻の学生・院生および一般を対象に、トラウマに対する社会支援に関する基礎知識について概説した。<br>支援者を対象に、「支援の初めに知っておきたいこと」では“拝聴”“共感”とはどういうことか、支援者がやってはいけないこと、支援者地震の限界を知ることなど実践において欠かせない原則について詳説し、「スーパービジョンの実際」では支援者が支援される・エンパワメントされることが実感できるミニ・スーパービジョンの体験ワークショップを行った。<br>臨床心理士・専門職を対象に、犯罪被害者等基本法が制定され、これからどのような支援が考えられるのかについて述べた。 |

| 事 項  | 年 月 日    | 概 要  |
|--|----------|--|
| (8)第126回検事一般研修「被害者支援への取組」講師  | 平成19年7月  | 検事41名を対象に、犯罪被害者の支援について、特に犯罪被害者等基本法成立後の現状について概説した。  |
| (9)世田谷区児童相談所・職場研修「援助者のストレス」講師  | 平成19年8月  | 児童相談所および関連機関職員を対象に、援助者のストレスおよびその対処法について概説した。   |
| (10)秋田県男女共同参画センター・相談援助者サポートセミナー（横手）「現場における被害者支援の基本と実践」講師               | 平成19年8月  | 横手市の各分野の相談機関、福祉施設、保護施設、学校、医療現場、警察の職員や民生委員、人権擁護委員、援助者を対象に、二次被害を与えない対人援助のあり方や具体的な対応方法、カウンセリングの視点について概説した。        |
| (11)秋田県男女共同参画センター・相談援助者サポートセミナー（秋田）「現場における被害者支援の基本と実践」講師               | 平成19年8月  | 秋田市の各分野の相談機関、福祉施設、保護施設、学校、医療現場、警察の職員や民生委員、人権擁護委員、援助者を対象に、二次被害を与えない対人援助のあり方や具体的な対応方法、カウンセリングの視点について概説した。        |
| (12)女性の安全と健康のための支援教育センター・公開講座「地域に性暴力対応チームをつくろう・講演とパネルディスカッション」ディスカッサント | 平成19年10月 | ミネアポリス市性暴力対応チームの創始者リンダ・リドレイ博士の講演と、博士をまじえ、日本での適用に関して議論した。講演講師：リンダ・リドレイ、ディスカッサント：小西聖子、大久保恵美子、小竹久美子、リンダ・リドレイ、加納尚美 |
| (13)国立精神・神経センター第1回PTSD精神療法研修「PTSDに対する長時間エクスポージャー療法」講師                  | 平成19年10月 | 講師陣の一人として精神保健技術者研修を行った。（10月9、11、12の3日間）  |
| (14)日本精神科病院協会、吉富薬品共催・医学会イブニングセミナー（長崎県）「精神科におけるDV被害への対応と治療戦略」講師         | 平成19年10月 | 精神科医師を対象に、精神科に来診するDV被害者への対応と治療について述べた。   |
| (15)男女共同参画センター横浜・2007年度スーパービジョンスーパーバイザー                                | 平成19年10月 | 総合相談事業担当職員および関連職員を対象に、事例研究およびアセスメント技術についてスーパーバイズを行った。  |
| (16)日本精神科病院協会こころの健康づくりPTSD（心的外傷後ストレス障害）対策専門研修会「性暴力被害」講師                | 平成19年10月 | 医療従事者を対象に、性暴力被害者のPTSDの診断・治療法について述べた。   |
| (17)東京地方検察庁公安部「司法に望む被害者支援」講師   | 平成19年10月 | 公安部検事を対象に、犯罪被害者の現状、被害者支援において司法に期待されている点について述べた。  |
| (18)平成19年度茨城県精神病院協会病院長等研修会「犯罪被害者のトラウマ-事例と治療を中心に」講師                     | 平成19年11月 | 茨城県下の精神病院院長等を対象に、犯罪被害者の臨床ケースについて、事例と実際の治療戦略を中心に述べた。  |
| (19)八王子市男女共同参画センター「女性のトラウマと心のケア-こころの傷の理解と、ケアの大切さ-」講師                   | 平成19年11月 | 一般市民約70人を対象に、女性に対する暴力によるトラウマと、そのこころのケアの重要性について述べた。   |

| 事 項   | 年 月 日    | 概 要   |
|---|----------|---|
| (20) 北九州市立精神保健福祉センター・災害事故時のこころのケア対策事業研修「PTSDの治療」講師                              | 平成19年11月 | 北九州市内の教育、医療、精神保険福祉、行政（保健師）など日常的に精神保健の相談業務に従事している専門職約50名を対象に、PTSDの治療、相談や面接における具体的な対応について述べた。 |
| (21) 犯罪被害者団体ネットワーク主催「犯罪被害者週間全国大会2007」講師   | 平成19年11月 | 被害者支援に関心を持つ一般市民を対象に、心理的支援に関わる立場から被害者支援について述べた。  |
| (22) 千葉県男女共同参画課・DV研修「医療現場におけるDV被害者の発見と対応」講師                                     | 平成19年11月 | 医療従事者を対象に、医療現場でのDV被害の発見と対応について概説した。   |
| (23) 千葉県精神保健福祉センター・精神保健福祉業務担当者研修「犯罪被害におけるこころの変化とPTSD診断」講師                       | 平成19年11月 | 保健所や市町村職員などの精神保健福祉業務担当者を対象に、犯罪被害者のPTSDについて概説した。   |
| (24) とちぎ男女共同参画財団・女性への暴力を考える講座「女性への暴力と子どもへの影響」講師                                 | 平成19年11月 | 一般を対象に、DVの実態と社会的背景、子どもへの影響について述べた。  |
| (25) 第127回検事一般研修「被害者支援への取組」講師   | 平成19年11月 | 検事42名を対象に、犯罪被害者の支援について、特に犯罪被害者等基本法成立後の現状について概説した。   |
| (26) 東京ウィメンズプラザ・平成19年度職務関係者研修（第6回）「医療機関における配偶者暴力への対応-早期発見と適切な支援のために-」講師         | 平成19年12月 | 医療機関来診者におけるDV被害の発見と対応の現状および課題について述べた。   |
| (27) 練馬区保健福祉職員研修「援助者側が受けるストレスとその対応について」講師                                       | 平成20年1月  | 練馬区の保健相談所や福祉事務所の職員を対象に、特有の職務上のストレスとその対応について概説した。  |
| (28) 精神科診療所協会「Domestic Violenceへの対応と治療戦略」講師                                     | 平成20年1月  | 精神科診療を行う医師らを対象に、DV被害の現状と、被害者が診療の場に現れた場合の対応と治療戦略、その他司法との関わりについて概説した。                         |
| (29) 国立精神・神経センター精神保健研究所・第2回犯罪被害者メンタルケア研修「犯罪被害者への治療対応」「犯罪被害者の事例提示」「犯罪被害者治療の実際」講師 | 平成20年1月  | 医療従事者を対象に、犯罪被害者治療の基本を概説し、具体的な治療事例の提示、治療の実際の実演・ロールプレイを行った。                                   |
| (30) 総務省行政局行政相談課・行政相談委員研修「男女共同参画社会の形成の推進における苦情相談への対応について」講師                     | 平成20年1月  | 行政相談員（男女共同参画担当委員）50名を対象に、相談を受ける側のメンタルヘルスについて述べた。  |
| (31) 大阪被害者支援アドボカシーセンター・電話相談員スーパービジョン講師  | 平成20年2月  | 電話相談員、インターン生を対象に、スーパービジョン講師を勤めた。（2月18、19の2日間）   |
| (32) 多摩総合精神保健福祉センター・職員研修「住民の心の健康を守る援助者のストレスケア」講師                                | 平成20年2月  | 多摩市保健所・市町村の精神保健福祉関連業務を担当する職員約60名を対象に、災害事故時の援助者のストレスケアについて述べた。                               |

| 事 項  | 年 月 日   | 概 要   |
|--|---------|---|
| (33) さいたま家庭裁判所・自庁研修「犯罪被害者の心理と調査官調査について」講師  | 平成20年2月 | 家庭裁判所調査官を対象に、犯罪被害者の心理を概説し、非行少年の処遇を考える過程で被害者調査を行う際、あるいは、被害者からの申し出を受けて意見を聴取する際、調査官が配慮すべきことや留意点について述べた。  |
| (34) 立川市女性総合センター男女共生係、生涯学習推進センター錦学習館主催成人対象講座女性のためのトラウマケア～心の傷を癒すためにできること「トラウマとは何か?～心のケアと支援」講師   | 平成20年3月 | 一般市民を対象に、トラウマとは何か、その症状や回復に必要なことについて概説した。  |
| (35) 武蔵野大学生涯学習センター「トラウマとは何か?」  | 平成20年4月 | 一般市民を対象に、トラウマとは何か、症状や回復に必要なことについて概説した。  |
| (36) 新潟県福祉保健部健康対策課精神保健福祉相談   | 平成20年5月 | 精神保健福祉相談に従事した。  |
| (37) 福岡県、福岡市、北九州市、福岡犯罪被害者支援センター・公開フォーラム基調講演「犯罪被害者支援の現状と今後の課題」講師                                | 平成20年5月 | 一般市民を対象に、犯罪被害者支援に関わってきた立場から現状と課題について概説した。   |
| (38) 司法研修所・平成20年度4月期採用(現行第62期)司法修習生前期修習「犯罪被害者の心理と援助」講師   | 平成20年6月 | 司法修習生を対象に犯罪被害者の心理と援助について概説した。   |
| (39) 日本精神神経学会・心理技術職の国家資格化に関する委員会講演「心理士の資格問題に関して」講師   | 平成20年7月 | 日本精神神経学会心理技術職の国家資格化に関する委員会委員を対象に、日本学術会議2008.4.7対外報告「学士課程における心理学教育の質的向上とキャリアパス確立に向けて」で言及されているカリキュラムについて、臨床心理士第一種認定校で指導している現状・課題をふまえ、問題点等を指摘した。                         |
| (40) 女性の安全と健康のための支援教育センター2008年7月研修講座・基礎・性暴力被害者支援専門看護職コース「支援の初めに知っておきたいこと」、専門コース「スーパービジョンの実際」講師 | 平成20年7月 | 支援者を対象に、「支援の初めに知っておきたいこと」では“拝聴”“共感”とはどういうことか、支援者がやってはいけないこと、支援者地震の限界を知ることなど実践において欠かせない原則について詳説し、「スーパービジョンの実際」では支援者が支援される・エンパワメントされることが実感できるミニ・スーパービジョンの体験ワークショップを行った。 |
| (41) 多摩総合精神保健福祉センター・職員研修「住民の心の健康を守る援助者のストレスケアI・II」講師   | 平成20年7月 | 多摩市保健所・市町村の精神保健福祉関連業務を担当する職員約60名を対象に、災害事故時の援助者のストレスケアについて述べた。併せて、ロールプレイによる演習を行った。   |
| (42) 第128回検事一般研修「被害者支援への取組」講師  | 平成20年7月 | 検事44名を対象に、犯罪被害者の支援について、特に犯罪被害者等基本法成立後の現状について概説した。   |
| (43) かなまち慈友クリニック研修会スーパーバイザー  | 平成20年8月 | 医療従事者約10名を対象に、症例研究会スーパーバイザーを務めた。  |

| 事 項   | 年 月 日    | 概 要   |
|---|----------|---|
| (44) 新潟県福祉保健部健康対策課精神保健福祉相談  | 平成20年8月  | 精神保健福祉相談に従事した。  |
| (45) 警察大学校・犯罪被害給付実務専科講師   | 平成20年8月  | 各都道府県警察における犯罪被害給付事務担当の警部または警部補等49名を対象に、PTSDの現状、認定上の留意事項について概説した。              |
| (46) NP0エンパワメントかながわ、男女共同参画センター横浜北・市民企画講座「今、DVを考える」講師  | 平成20年8月  | DV被害者支援者、DVに関心のある一般市民を対象に、DVの現状と周囲ができる対応について述べた。                              |
| (47) 山陰嗜癡行動研究会・総会記念講演「PTSDの治療-認知行動療法の応用とそのために必要なこと-」講師  | 平成20年8月  | 山陰嗜癡行動研究会会員、精神保健福祉関係者、一般を対象に、PTSD治療法としての認知行動療法について詳説した。                       |
| (48) 青松寺・獅子吼林サンガ「トラウマを持つ人のケア」講師   | 平成20年9月  | 青松寺修行青年僧および外部参加者約15名を対象に、事件や事故に遭った人や遺族などに見られるトラウマによる症状、それに対するケアとサポートについて概説した。 |
| (49) 男女共同参画センター横浜・2008年度スーパービジョンスーパーバイザー  | 平成20年9月  | 総合相談事業担当職員および関連職員を対象に、事例研究およびアセスメント技術についてスーパーバイズを行った。                         |
| (50) 吉富薬品株式会社主催・第8回北海道女性精神科医の会「PTSDの心理治療実習」講師   | 平成20年9月  | 精神科医を対象に、PTSD治療法のひとつ、Prolonged Exposure法（長時間エクスポージャー法）の実習を行った。                |
| (51) 国立精神・神経センター精神保健研究所・第2回PTSD精神療法研修「長時間エクスポージャー法の概要」講師  | 平成20年10月 | 医療従事者を対象に、PTSD心理療法のひとつである長時間エクスポージャー法について概説した。                                |
| (52) 国立精神・神経センター精神保健研究所・第2回PTSD精神療法研修「想像エクスポージャー法の理論説明と手続きについての実習」「ホットスポットについての実習」「PEを被害者に実施する上での重要な配慮事項」講師 | 平成20年10月 | 医療従事者を対象に、PTSD心理療法のひとつである長時間エクスポージャー法の実習指導を行った。                               |
| (53) 武蔵野大学・フォカルティ・ディベロップメント研修「犯罪被害者の臨床-研究、教育と実践について」講師  | 平成20年10月 | 大学専任教員を対象に、心理臨床研究と社会貢献、大学教育の鼎立について実体験を元に述べた。                                  |
| (54) 北九州市精神保健福祉センター・平成20年度災害・事故時におけるこころのケア対策事業専門研修「PTSDの治療2」講師  | 平成20年10月 | 教育・医療・行政等の精神保健に関する相談従事者約50名を対象に、PTSD心理治療の実際（心理教育、リラクゼーション、現実曝露）について実技指導を行った。  |
| (55) 日本精神科病院協会こころの健康づくりPTSD（心的外傷後ストレス障害）対策専門研修会「性暴力・DV被害」講師   | 平成20年11月 | 医療従事者を対象に、性暴力やDVの被害者のPTSDの診断・治療法について述べた。                                      |
| (56) 第129回検事一般研修「被害者支援への取組」講師   | 平成20年12月 | 検事49名を対象に、犯罪被害者の支援について、特に犯罪被害者等基本法成立後の現状について概説した。                             |

| 事 項   | 年 月 日    | 概 要  |
|---|----------|--|
| (57) 千葉県精神保健福祉センター・保健所等精神保健福祉業務担当者研修及び専門職員（中期）研修「犯罪被害におけるこころの変化とPTSDへの対応」講師                   | 平成20年12月 | 保健所や市町村職員などの精神保健福祉業務担当者60名を対象に、犯罪被害者のPTSDについて概説した。   |
| (58) 兵庫県立男女共同参画センター・平成20年度配偶者からの暴力被害者支援アドバイザー派遣事業・講演「被害者支援活動での二次受傷の予防と対策」講師、スーパーバイズ研修スーパーバイザー | 平成20年12月 | 兵庫県・神戸市内の配偶者暴力相談支援センター、男女共同参画センター、県民局、健康福祉事務所等の相談員、県内・各市内の婦人相談員、母子自立支援員、DV被害者支援団体相談員など、相談業務担当者約70名を対象に、適切な対応を行うために欠かせない相談者の心の健康維持について、個人および機関としての取組が必要であることを概説した。また、兵庫県男女共同参画センターカウンセラーのケースカンファレンスを行い、スーパーバイズを行った。 |
| (59) 東京都多摩小平保健所・講演「援助者のためのメンタルヘルスー人格障害の対応とセルフケア」講師  | 平成21年1月  | 多摩小平地域の精神保健福祉関係者約70名を対象に、無理な要求や攻撃的な言葉などの特徴を持つ人格障害への対応の方法、援助者自身の心のケアについて概説した。   |
| (60) 東京都立中部総合精神保健福祉センター・平成20年度行政職員地域援助研修（後期）「被害者の援助と支援者の傷つき」講師                                | 平成21年1月  | 保健師・福祉事務所ケースワーカー等の中堅相談業務担当者を対象に、被害者支援の際の家族の捉え方、アプローチの原則、支援者の二次受傷について概説した。  |
| (61) 国立精神・神経センター精神保健研究所・第3回犯罪被害者メンタルケア研修「犯罪被害者への治療対応」「犯罪被害者の事例提示」「犯罪被害者治療の実際」講師               | 平成21年1月  | 医療従事者を対象に、犯罪被害者治療の基本を概説し、具体的な治療事例の提示、治療の実際のデモンストレーション・ロールプレイを行った。  |
| (62) 北海道大学大学院共通科目「性差入門」・公開シンポジウム「性差研究の作る道：DVのメカニズム」講師   | 平成21年1月  | DVの支援に関わっているジェンダー研究者、シェルター運営NPO、弁護士、精神科医がそれぞれの専門分野からDVを分析し、解決方法を模索した。司会：蔵田伸雄、パネリスト：近藤恵子、小島妙子、小西聖子  |
| (63) 徳島県女性保護協議会・平成20年度地域社会におけるDV防止事業講演「あなたのそばにあるDV-地域にできることは何か」講師                             | 平成21年2月  | 県民一般を対象に、DVの基礎知識、地域社会におけるDV被害者支援について述べた。   |
| (64) 子どもの虹情報研修センター・平成20年度児童相談所中堅児童福祉士、児童心理士合同研修「性的虐待の心身に及ぼす影響」講師                              | 平成21年2月  | 児童相談所経験3～5年の中堅児童福祉士、児童心理士を対象に、性的虐待が児童の心身に及ぼす影響や症状、対処について詳説した。  |
| (65) 大阪被害者支援アドボカシーセンター・電話相談員スーパービジョン講師  | 平成21年2月  | 2月17、18日、電話相談員、インターン生を対象に、スーパービジョン講師を勤めた。  |
| (66) 新潟県福祉保健部健康対策課精神保健福祉相談  | 平成21年2月  | 精神保健福祉相談に従事した。   |

| 事 項   | 年 月 日   | 概 要   |
|---|---------|---|
| (67) 東京三弁護士会多摩支部両性の平等委員会・DV専門法律相談研修会「DV被害者の被害感情について、二次被害を出さないための心得」 | 平成21年3月 | DV法律相談にあたる弁護士を対象に、DV被害者の心理、対応について概説した。  |
| (68) 西東京市男女平等推進センター・女性相談員研修「女性相談と医療との連携について」講師                      | 平成21年3月 | 女性相談員、婦人相談員5名を対象に、次年度実施予定の専門相談「こころの相談」について助言した。また、女性相談／こころの相談／医療との連携をどのようにしたらいいかを検討した。  |
| (69) 女性と子どものヘルプラインMIE・スーパーバイズ                                       | 平成21年3月 | 相談従事者を対象に、スーパービジョンを行った。   |
| (69) 名古屋市男女平等参画推進センター専門相談員研修講師                                      | 平成21年3月 | 男女平等参画推進センター専門相談員を対象に事例検討を行った。  |
| (70) 性暴力を許さない女の会・20周年記念シンポジウム「性暴力禁止法をつくろう」シンポジスト                    | 平成21年3月 | 性暴力サバイバーの支援を精神科医として続けてきた経験から、被害のトラウマからの回復に関してどのような支援が必要であると感じるか、サバイバーへの支援をめぐる現状の問題点と性暴力禁止法を考えた場合にどのような支援策を盛り込んだらいいと思うのかについて述べた。コーディネーター：周藤由美子、シンポジスト：角田由紀子、小西聖子、二瓶由美子 |
| (71) ウィメンズカウンセリング京都・PE講習会   | 平成21年3月 | 3月30日、31日2日間にわたり、臨床家を対象に持続エクスポージャー療法（PE療法）講習会を行った。  |
| (72) 武蔵野大学生涯学習センター「第6回 Prolonged Exposure Therapy 講習会」講師            | 平成21年4月 | 4月25日、26日、5月2日、3日の4日間にわたり、臨床家を対象に持続エクスポージャー療法（PE療法）講習会を行った。   |
| (73) 武蔵野大学オムニバス心理講座「脳とストレス」第1回「脳の性差とジェンダー」講師                        | 平成21年5月 | 女性と男性では胎児の時から脳の環境が違って、基本の女性形から男性の脳が発達すること、その後も脳の働きにはさまざまな違いが見られるといった現代の脳科学の知見を紹介し、それをどう受けとめればよいかについて述べた。  |
| (74) 新潟県福祉保健部健康対策課精神保健福祉相談  | 平成21年5月 | 精神保健福祉相談に従事した。  |
| (75) 京都女子大学発達教育学部教育学科・公開講座「性暴力被害とその影響」講師                            | 平成21年5月 | 基調講演「性暴力被害とその影響」を行った。パネルディスカッション：宮地尚子、大矢大、小西聖子  |
| (76) 福島県真言教師協議会・研究会「遺族と向き合う」講師                                      | 平成21年6月 | 福島県真言宗各派僧侶を対象に、遺族ケアについて概説した。  |
| (77) グラクソスミスクライン・メディカル・リプレゼンタティブ勉強会講師                               | 平成21年6月 | メディカル・リプレゼンタティブを対象に、プライマリケアの医師が、不安障害をどこまで診療してどういうタイミングで専門医に紹介すべきかについて概説した。  |

| 事 項   | 年 月 日    | 概 要   |
|---|----------|---|
| (78) 女のスペースながおか・子どもへの暴力防止プロジェクト「被害当事者の声を聴く：回復に向けて」講師  | 平成21年7月  | 子どもへの性暴力・性虐待防止支援を行っている、あるいは支援に関心がある一般約20名を対象に、カウンセリングの実際について概説した。   |
| (79) 女性の安全と健康のための支援教育センター2008年7月研修講座・基礎・性暴力被害者支援専門看護職コース「医療者が知っておくべき支援の原則」、専門コース「スーパービジョンの実際」講師 | 平成21年7月  | 「医療者が知っておくべき支援の原則」ではDV・性暴力被害に遭った人に医療的ケアを提供するうえで、何に注意すべきか、やってはいけないこと、言っちゃいけない言葉、支援専門看護職だからこそできることや限界について、支援の原則を詳説した。「スーパービジョンの実際」ではワークショップで、支援者が支援される・エンパワメントされることが実感できるミニ・スーパービジョンを行った。 |
| (80) 第130回検事一般研修「被害者の心理」講師  | 平成21年7月  | 検事45名を対象に、犯罪被害者の心理と支援について、特に犯罪被害者等基本法成立後の現状について概説した。  |
| (81) 西東京市男女平等推進係・女性相談事業相談員研修「事例検討」講師  | 平成21年7月  | 女性相談事業相談員を対象に、事例検討スーパービジョンを行った。   |
| (82) 全国精神保健福祉センター長定期総会特別講演「犯罪被害者への相談支援の実際-事例を通して-」講師  | 平成21年7月  | 全国の精神保健福祉センター長を対象に、医療現場における犯罪被害者の診療・治療・ケースワークの実際について事例を挙げながら述べた。  |
| (83) 熊本保険医協会・シンポジウム「バイオレンスの連鎖を断ち切るために」講師  | 平成21年8月  | 熊本県内の保険医、養護教諭、保育士、被害者の会会員等を対象に、DVの正しい知識、児童虐待の予防について概説した。シンポジウム形式で小児科医、要保護児童対策室室員と討論した。  |
| (84) 相模原市保健所保健予防課・平成21年度保健所職場専門研修「援助者のためのメンタルヘルス講座-相談への対応とメンタルヘルス-」講師                           | 平成21年8月  | 相談業務に従事する職員等を対象に、援助者のストレスおよびその対処法について概説した。  |
| (85) 性暴力禁止法をつくろうネットワーク学習会（共催：東京社会福祉士会）「性暴力被害者の支援に何が必要か？」講師                                      | 平成21年8月  | 社会福祉士を含む支援者を対象に、性暴力被害者の急性期・長期支援に何が必要かを詳説した。   |
| (86) 男女共同参画センター横浜・2009年度スーパービジョンスーパーバイザー  | 平成21年8月  | 総合相談事業担当職員および関連職員を対象に、事例研究およびアセスメント技術についてスーパーバイズを行った。   |
| (87) 新潟県福祉保健部健康対策課精神保健福祉相談  | 平成21年9月  | 精神保健福祉相談に従事した。  |
| (88) 武蔵野大学大学院公開シンポジウム「被害者をどう発見するか、被害者をどう支援するか」企画・司会   | 平成21年10月 | 心理、社会、法学の若手研究者実践者に、各実践・研究領域での被害者支援とのかかわり、各自のキャリアを紹介してもらった。白井明美、野坂祐子、土井真知、柑本美和   |
| (89) 更生保護法人日本更生保護協会、法務省保護局・平成21年度犯罪被害者等の対応に関する保護司研修「犯罪被害者の心理」講師                                 | 平成21年10月 | 東日本の保護観察所の被害者担当保護司約50名を対象に、犯罪被害者等の心理、PTSD、支援者が把握すべき事項等について述べた。  |

| 事 項   | 年 月 日    | 概 要  |
|---|----------|--|
| (90)日弁連研修講座「DV被害（者）を裁判官、調停委員に理解してもらうために弁護士が知っておくべきこと」講師                         | 平成21年10月 | DVの存在を裁判官や調停委員に理解させるためには、弁護士はDVについてどのようなことを理解しておく必要があるかについて述べた。                  |
| (91)長野県男女共同参画センター・DV防止セミナー「ドメスティック・バイオレンス」講師                                    | 平成21年10月 | 一般を対象に、DVの実態、DVはなぜ起こるのか、被害者・加害者の心理、被害者の症状について概説した。                               |
| (92)シェリングプラウ・多摩地区臨床医勉強会講師   | 平成21年11月 | 多摩地区の臨床医約10名を対象に、PTSDの診断と治療について詳説した。   |
| (93)千葉県精神保健福祉センター・平成21年度保健所等精神保健福祉業務担当者研修及び専門職員（中期）研修「犯罪被害者支援と対応の実際」講師          | 平成21年11月 | 保健所や市町村職員などの精神保健福祉業務担当者30名を対象に、犯罪被害者のPTSDについて概説し、実際の支援に必要な対応方法についてロールプレイを交えて述べた。 |
| (94)第131回検事一般研修「被害者の心理」講師   | 平成21年11月 | 検事約40名を対象に、犯罪被害者の心理について概説した。   |
| (95)新潟県福祉保健部健康対策課精神保健福祉相談   | 平成21年12月 | 精神保健福祉相談に従事した。   |
| (96)西東京市男女平等推進係・女性相談事業相談員研修「事例検討」講師   | 平成21年12月 | 女性相談事業相談員を対象に、事例検討スーパービジョンを行った。  |
| (97)日本精神科病院協会こころの健康づくりPTSD（心的外傷後ストレス障害）対策専門研修会「性暴力・DV被害」講師                      | 平成21年12月 | 医療従事者を対象に、性暴力やDVの被害者のPTSDの診断・治療法について述べた。   |
| (98)女性の家HELP・配偶者からの暴力被害者支援アドバイザー派遣事業「ケース検討」スーパーバイザー                             | 平成21年12月 | 2ケースについてスーパーバイズを行った。   |
| (99)子どもの虹情報研修センター・平成21年度児童相談所中堅児童福祉司、児童心理司合同研修「性的虐待の心身に及ぼす影響」講師                 | 平成22年1月  | 児童相談所経験3～5年の中堅児童福祉司、児童心理司を対象に、性的虐待が児童の心身に及ぼす影響や症状、対処について詳説した。                    |
| (100)国立精神・神経センター精神保健研究所・第4回犯罪被害者メンタルケア研修「犯罪被害者への治療対応」「犯罪被害者の事例提示」「犯罪被害者治療の実際」講師 | 平成22年1月  | 医療従事者を対象に、犯罪被害者治療の基本を概説し、具体的な治療事例の提示、治療の実際のデモンストレーション・ロールプレイを行った。                |
| (101)エンパワメントかながわ・かながわボランティア活動推進基金21協働事業「第2回デートDV相談専門講座『デートDVの事例を考える』」講師         | 平成22年1月  | デートDV相談ケースに対するスーパービジョンを行った。  |
| (102)法務総合研究所・平成21年度新任検事研修「被害者の心理」講師   | 平成22年2月  | 新任検事約80名を対象に、犯罪被害者のトラウマ反応、捜査と援助の差異、捜査にあたっての留意点について解説した。                          |
| (103)大阪被害者支援アドボカシーセンター・電話相談員研修、ケース検討会講師   | 平成22年2月  | 2月22-23日、電話相談員、インターン生を対象に、研修およびケース検討会講師を勤めた。                                     |
| (104)新潟県福祉保健部健康対策課精神保健福祉相談  | 平成22年3月  | 精神保健福祉相談に従事した。   |

| 事 項  | 年 月 日        | 概 要  |
|--|--------------|--|
| (105)名古屋市男女平等参画推進センター専門相談員研修講師                 | 平成22年3月      | 男女平等参画推進センター専門相談員を対象に、暴力被害をめぐる女性支援の事例検討を行った。   |
| 5 その他  |              |  |
| (1)厚生労働省科学研究費補助金こころの健康科学研究事業 採択（主任研究者）         | 平成17、18、19年度 | 犯罪被害者の精神健康の状況とその回復に関する研究（共同：他8名）17年度10,000,000円、18年度15,000,000円、19年度12,000,000円（いずれも班全体）   |
| (2)科学研究費補助金基盤研究(A) 採択（連携研究者）                   | 平成18、19、20年度 | 心神喪失者等医療観察法-その運用と理念-（共同：山本輝之他5名）   |
| (3)科学研究費補助金基盤研究(B) 採択（連携研究者）                   | 平成19、20、21年度 | 児童虐待の予防と対応--法的検討と医学的・心理学的・社会学的考察（共同：町野朔他）  |
| (4)厚生労働科学研究費補助金こころの健康科学研究事業 採択（平成20、21年度分担研究者） | 平成20、21、22年度 | 大規模災害や犯罪被害等による精神科疾患の実態把握と介入方法の開発に関する研究（共同研究） 金吉晴、川上憲人、前田正治、加茂登志子、小西聖子、松本俊彦、松岡豊、中島聡美、鈴木友理子、栗山健一 20年度分担研究者分50万円、21年度分担研究者分45万円   |
| (5)科学研究費補助金基盤研究(B) 採択（研究分担者）                   | 平成20、21、22年度 | 犯罪の被害にあった女性・児童のための政策に関する総合的研究 研究代表者矢野恵美、研究分担者小名木明宏、上瀬由美子、小西聖子、坪野吉孝（20年度のみ） 20年度交付予定額直接経費500万円間接経費150万円研究分担者分直接経費40万円間接経費6万円、21年度交付予定額直接経費230万円間接経費69万円研究分担者分直接経費40万円間接経費12万円 |
| 職 務 上 の 能 力 に 関 す る 事 項                        |              |  |
| 事 項  | 年 月 日        | 概 要  |
| 1 資格、免許  |              |  |
| (1)精神科専門医                                      | 平成20年10月     | 日本精神神経学会認定資格   |
| 2 特許等  |              |  |
| 3 実務の経験を有する者についての特記事項                          |              |  |
| (1)鑑定・意見書作成                                    | 平成19年4月      | 警視庁立川警察署の委嘱により刑事事件の性犯罪被害者について精神鑑定意見書を作成した。   |
| (2)鑑定・意見書作成                                    | 平成19年9月      | 大阪高等裁判所の委嘱により民事事件の性暴力被害者について精神鑑定書を作成した。  |
| (3)鑑定・意見書作成                                    | 平成20年1月      | 長野地方裁判所伊那支部の委嘱により民事事件の交通事故被害者2名について精神鑑定書を作成した。   |
| (4)鑑定・意見書作成                                    | 平成20年3月      | 原告代理人の委嘱により民事事件のDV被害者について精神鑑定書を作成した。   |
| (5)鑑定・意見書作成                                    | 平成21年2月      | 警視庁戸塚警察署の委嘱により刑事事件の強制わいせつ被疑事件被害者について精神鑑定書を作成した。  |

| 事 項   | 年 月 日          | 概 要  |   |
|---|----------------|--|---|
| (6)鑑定・意見書作成   | 平成21年5月        | 原告代理人の委嘱により民事事件のDV被害者について精神状態意見書を作成した。             |   |
| (7)意見書作成  | 平成21年10月       | 東京高等検察庁の委嘱により刑事事件の被疑者側意見書について意見書を作成した。             |   |
| (8)証人尋問   | 平成22年3月        | 東京高等裁判所に召喚され刑事事件の監禁致傷被疑事件被害者意見書について証人尋問で専門的見解を述べた。 |   |
| 4 その他   |                |  |   |
| 研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項   |                |  |   |
| 著書、学術論文等の名称   | 単著<br>共著<br>の別 | 発行又は発表<br>の年月                                      | 発行所、発表雑誌等又は<br>発表学会等の名称                       |
| (著書)  |                |  |   |
| 1. 「悲しみ」の後遺症をケアするーグリーンケア・トラウマケア入門   | 共              | 平成19年5月  | 角川学芸出版：東京（P103～P180）                          |
| 2. 被害者心理とその回復ー心理的援助の最新技法ー   | 共              | 平成20年3月  | ゆまに書房：東京（P73～P91）                             |
| 3. 精神科医療と法  | 共              | 平成20年8月  | 弘文堂：東京（P369～P381）                             |
| 4. 犯罪被害者のメンタルヘルス  | 共              | 平成20年11月   | 誠信書房：東京（P2～P20、P102～P119、P198～P210、P321～P342） |
| 5. PTSDの持続エクスポージャー療法：トラウマ体験の情動処理のために  | 共              | 平成21年3月  | 星和書店：東京（総頁数196頁）                              |
| 6. ココロ医者、ホンを診るー本のカルテ10年分から  | 単              | 平成21年10月   | 武蔵野大学出版会：東京（総頁数246頁）                          |
| (学術論文)  |                |  |   |
| 1. わが国における慢性外傷後ストレス障害に対する prolonged exposure therapy の試み  | 共              | 平成20年1月  | 総合病院精神医学 第20巻第1号（P55～P62）                     |
| 2. 精神科医による犯罪被害者の診療と法的な問題に対する関与  | 共              | 平成20年3月  | 司法精神医学 Vol.3 No.1（P20～P28）                    |
| 3. Prolonged Exposure TherapyのPTSDへの効果研究ー暴力の被害を受けた女性10名に対して   | 共              | 平成20年8月  | 臨床心理学研究 第23巻第3号（P325～P335）                    |
| 4. Clinical evaluation of paroxetine in post-traumatic stress disorder (PTSD): 52-week, non-comparative open-label study for clinical use experience. | 共              | 平成20年12月   | Psychiatry Clin Neurosci 62 (6) (P646～P652)   |
| (その他)   |                |  |   |
| 1. 二次受傷ー治療者へのトラウマの影響ー   | 単              | 平成19年4月  | 精神療法第33巻第2号（P170～P175）                        |

| 著書、学術論文等の名称  | 単著<br>共著<br>の別 | 発行又は発表<br>の年月 | 発行所、発表雑誌等又は<br>発表学会等の名称                                   |
|--|----------------|---------------|---|
| 2. 精神科医療機関における犯罪被害者の診療の実態—全国精神科医療機関のアンケート調査から—             | 共              | 平成19年6月       | 日本被害者学会第18回学術大会<br>獨協大学 埼玉                                |
| 3. 弁護士支援を受けている犯罪被害者への心理的支援の現状と今後の司法と保健医療との連携について           | 共              | 平成19年6月       | 日本被害者学会第18回学術大会<br>獨協大学 埼玉                                |
| 4. 犯罪被害者に対するケア   | 単              | 平成19年7月       | 日本トラウマティック・ストレス学会プレシンポジウム「様々な領域におけるトラウマケア」<br>えーるピア久留米、福岡 |
| 5. シンポジウム「犯罪心理臨床の説明責任—何ができて、どこがうまくいっていないのか」                | 共              | 平成19年9月       | 日本犯罪心理学会第45回大会<br>ビッグパレットふくしま 福島                          |
| 6. 事例研究「DV被害者支援と『加害者更生プログラム』」司会                            | 共              | 平成19年9月       | 日本心理臨床学会第26回大会<br>東京                                      |
| 7. 長時間曝露療法 prolonged exposure therapy                      | 共              | 平成19年9月       | こころの臨床 a la carte 第26<br>巻3号 (P477～P183)                  |
| 8. 特別講演「PTSDの治療—Prolonged Exposure<br>を使って」                | 単              | 平成19年10月      | 第7回日本認知療法学会 東京  |
| 9. 犯罪被害者支援のための精神保健活動                                       | 単              | 平成19年10月      | 精神保健政策研究第16巻<br>(P58～P63)                                 |
| 10. 犯罪被害によってトラウマを受けた少年への<br>対応                             | 単              | 平成19年12月      | 第44回日本犯罪学会総会 国学院<br>大学 東京                                 |
| 11. マス・バイオレンス（集団への暴力）被害への<br>精神的支援                         | 単              | 平成19年12月      | 法学研究第80巻第12号 (P375～<br>P388)                              |
| 12. 犯罪被害者支援における司法と医療の連携                                    | 共              | 平成20年3月       | 被害者学研究 第18号 (P33～<br>P48)                                 |
| 13. 精神科医療機関における犯罪被害者の診療の<br>実態と今後の課題                       | 共              | 平成20年3月       | 被害者学研究 第18号 (P49～<br>P64)                                 |
| 14. パネルディスカッション「文化とトラウマ」                                   | 共              | 平成20年3月       | 第15回多文化間精神医学会 武蔵<br>野大学 東京                                |
| 15. ランチョンセミナー「海外での危機介入と支<br>援活動について—PTSDと不安—」              | 単              | 平成20年3月       | 第15回多文化間精神医学会 武蔵<br>野大学 東京                                |
| 16. 心理臨床機関におけるPE療法によるPTSD治療                                | 共              | 平成20年4月       | 第7回日本トラウマティック・<br>ストレス学会大会 福岡国際会<br>議場 福岡                 |
| 17. 犯罪被害者遺族の精神健康の回復に関わる要<br>因の分析                           | 共              | 平成20年4月       | 第7回日本トラウマティック・<br>ストレス学会大会 福岡国際会<br>議場 福岡                 |
| 18. シンポジウム「被害者には回復する力がある<br>—当事者・精神科医・カウンセラーが語る」シ<br>ンポジスト | 共              | 平成20年5月       | フェミニストカウンセリング学<br>会全国大会 京都                                |
| 19. 犯罪被害者遺族の精神健康とその回復に関連<br>する因子の検討                        | 共              | 平成20年5月       | 第104回日本精神神経学会学術<br>総会 東京                                  |

| 著書、学術論文等の名称  | 単著<br>共著<br>の別 | 発行又は発表<br>の年月 | 発行所、発表雑誌等又は<br>発表学会等の名称   |
|--|----------------|---------------|---|
| 20. 性犯罪被害によってトラウマを受けた少年への対応  | 単              | 平成20年 6月      | 犯罪学雑誌 第74巻第3号(P91～P93)  |
| 21. 被害者遺族が受ける報道被害と新聞記者の認識—配慮ある取材関係の構築に向けて—   | 共              | 平成20年 6月      | 日本被害者学会第19回学術大会<br>京都産業大学 京都  |
| 22. 女性のトラウマの治療   | 単              | 平成20年 9月      | こころの科学 141(P36～P42)   |
| 23. ワークショップ「PTSDへの認知行動療法—Prolonged Exposure 法の紹介と実習」講師   | 単              | 平成20年 9月      | 日本心理臨床学会第27回大会<br>つくば   |
| 24. 自主シンポジウム「様々な技法によるPTSDの心理療法—事例を通して—」  | 共              | 平成20年 9月      | 日本心理臨床学会第27回大会<br>つくば   |
| 25. 外傷後ストレス障害の身体的健康への影響  | 単              | 平成20年11月      | 心療内科 第12巻第6号(P465～P471)   |
| 26. シンポジウム「犯罪学からみたドメスティック・バイオレンス」  | 共              | 平成20年11月      | 第45回日本犯罪学会総会 武蔵野大学 東京   |
| 27. 精神科医療からの連携のとりくみ  | 単              | 平成21年 3月      | 第8回トラウマティック・ストレス学会大会 東京女子医科大学 東京  |
| 28. 児童虐待を受けた成人事例に対するPE療法の試み—PE療法の適否について—   | 共              | 平成21年 3月      | 第8回トラウマティック・ストレス学会大会 東京女子医科大学 東京  |
| 29. 被害者遺族が受ける報道被害と新聞記者の認識——配慮ある取材関係の構築に向けて   | 共              | 平成21年 3月      | 被害者学研究 第19号(P34～P49)  |
| 30. 被害当事者には回復する力がある  | 共              | 平成21年 3月      | フェミニストカウンセリング研究 vol. 7: 78-99   |
| 31. 精神医学研修コース2「被害者鑑定の実際」講師   | 単              | 平成21年 8月      | 第105回日本精神神経学会 神戸  |
| 32. Changes of the Symptoms Related to Trauma with Prolonged Exposure Therapy in Japanese Women Patients with PTSD | 共              | 平成21年 8月      | 13th International Symposium on Victimology, Tokiwa University, Mito, Ibaraki |
| 33. 性的被害者の支援——被害者支援における性的被害者の現状  | 単              | 平成21年 8月      | 心理臨床の広場 Vol. 2 No. 1 (P24～P25)  |
| 34. 事例研究「DV被害者支援の新たなアプローチ—DV加害者プログラムの実践を生かした心理教育の展開—」司会  | 共              | 平成21年 9月      | 日本心理臨床学会第28回秋季大会 東京   |
| 35. 子どもの人権と法に関する委員会パネルディスカッション「少年事件と裁判員制度」パネリスト  | 共              | 平成21年10月      | 日本児童青年精神医学会 京都  |
| 36. 犯罪被害者遺族の精神医学的・心理的ケア  | 単              | 平成21年10月      | 韓国被害者学会秋季学術大会<br>韓国ソウル市COEXインターコンチネンタルホテル                                     |
| 37. Prolonged Exposure TherapyにおけるPTSDの再燃と再発   | 共              | 平成22年 1月      | 臨床心理学 10(1) (P17～P21)   |
| 38. DVの実態と治療戦略   | 単              | 平成22年 2月      | 第49回日本心身医学会近畿地方大会第33近畿地区講習会 京都テルサ 京都  |

| 著書、学術論文等の名称                                 | 単著<br>共著<br>の別 | 発行又は発表<br>の年月 | 発行所、発表雑誌等又は<br>発表学会等の名称         |
|---|----------------|---------------|---------------------------------|
| 39. 重度トラウマ反応を持つクライアントへの予備的介入と持続エクスポージャー法の導入 | 共              | 平成22年3月       | 第9回トラウマティック・ストレス学会大会 神戸国際会議場 神戸 |
| 40. シンポジウム「性暴力被害者の支援-最近の課題-」                | 共              | 平成22年3月       | 第9回トラウマティック・ストレス学会大会 神戸国際会議場 神戸 |
| 41. 精神健康の側面から見たDV被害の実態と研究の課題                | 単              | 平成22年3月       | 国立女性教育会館研究ジャーナル 14(P15~P22)     |
| 42. 性犯罪被害者の痛み-獄中からの加害者の手紙に込めて               | 単              | 平成22年3月       | 武蔵野大学心理臨床センター紀要 9 (P47~P58)     |
| 43. 犯罪被害者遺族における続柄の相違が精神健康に与える影響についての分析      | 共              | 平成22年3月       | 精神保健研究56 (P27-P33)              |

- ・氏名（フリガナ） **小西 啓史**（コニシ ヒロシ）
- ・所属／職名 人間関係学部（人間関係学科）／教授
- ・学位（分野）／研究分野 文学士、文学修士／社会心理学、環境心理学
- ・キーワード 空間行動、対人コミュニケーション、パーソナル・スペース

| 職 歴                     |  |     |
|-------------------------|--|-----|
| 年 月                     | 事 項  |     |
| 平成6年4月                  | 早稲田大学非常勤講師（社会心理学、対人行動論担当）（現在に至る）   |     |
| 平成19年4月                 | 大韓民国中央大学校社会科学研究所客員研究員（平成20年3月迄）  |     |
| 学会及び社会における活動等           |  |     |
| 現在所属している学会              | 日本心理学会、日本応用心理学会、日本グループダイナミクス学会、日本建築学会、人類働態学会、産業・組織心理学会、人間・環境学会、日本社会心理学会、日本教育心理学会、都市住宅学会、日本環境心理学会 |     |
| 年 月                     | 事 項  |     |
|                         | (学会活動)   |     |
| 昭和51年4月                 | 日本心理学会会員（現在に至る）  |     |
| 昭和54年4月                 | 日本応用心理学会会員（現在に至る）  |     |
| 昭和56年4月                 | 日本グループダイナミクス学会会員（現在に至る）  |     |
| 昭和56年4月                 | 日本建築学会会員（現在に至る）  |     |
| 昭和59年4月                 | 人類働態学会会員（現在に至る）  |     |
| 昭和59年4月                 | 対人行動学研究会会員（現在に至る）  |     |
| 昭和60年11月                | 産業・組織心理学会会員（現在に至る）   |     |
| 昭和62年4月                 | 人間・環境学会会員（現在に至る）   |     |
| 平成1年10月                 | 日本社会心理学会会員（現在に至る）  |     |
| 平成4年4月                  | 日本教育心理学会会員（現在に至る）  |     |
| 平成4年11月                 | 都市住宅学会会員（現在に至る）  |     |
| 平成20年3月                 | 日本環境心理学会会員（現在に至る）  |     |
|                         | <委員歴>  |     |
| 平成3年4月                  | 人類働態学会会報編集委員（現在に至る）  |     |
| 平成18年5月                 | 人間・環境学会運営委員（現在に至る）   |     |
| 平成19年11月                | 日本心理学会『心理学研究』編集委員（現在に至る）   |     |
| 平成20年5月                 | 人間・環境学会会長（現在に至る）   |     |
| 賞 罰                     |  |     |
| 年 月                     | 事 項  |     |
|                         | なし   |     |
| 教 育 研 究 業 績 書           |  |     |
| 教 育 上 の 能 力 に 関 す る 事 項 |  |     |
| 事 項                     | 年 月 日  | 概 要 |
| 1 教育方法の実践例              |  |     |

| 事 項                                     | 年 月 日          | 概 要                                   |                                    |
|---|----------------|---------------------------------------|------------------------------------|
| 2 作成した教科書, 教材<br>(1)基礎からの心理学            | 平成21年4月        | 心理学の入門書、心理学を学んでいく上での必要な知識を網羅すること心がけた。 |                                    |
| 3 教育上の能力に関する大学等の評価                      |                |                                       |                                    |
| 4 実務の経験を有する者についての特記事項                   |                |                                       |                                    |
| 5 その他                                   |                |                                       |                                    |
| 職 務 上 の 能 力 に 関 す る 事 項                 |                |                                       |                                    |
| 事 項                                     | 年 月 日          | 概 要                                   |                                    |
| 1 資格、免許                                 |                |                                       |                                    |
| 2 特許等                                   |                |                                       |                                    |
| 3 実務の経験を有する者についての特記事項                   |                |                                       |                                    |
| 4 その他                                   |                |                                       |                                    |
| 研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項                   |                |                                       |                                    |
| 著書、学術論文等の名称                             | 単著<br>共著<br>の別 | 発行又は発表<br>の年月                         | 発行所、発表雑誌等又は<br>発表学会等の名称            |
| (著書)                                    |                |                                       |                                    |
| 1. 環境心理学                                | 共              | 平成19年4月                               | 朝倉書店 (P66～P87)                     |
| 2. 基礎からの心理学                             | 共              | 平成21年4月                               | おうふう (P133～P168)                   |
| (学術論文)                                  |                |                                       |                                    |
| 1. 現代青年の恋愛行動－韓国の大学生を対象として－              | 単              | 平成21年3月                               | 武蔵野大学人間関係学部紀要<br>第6号 (P157～P163)   |
| 2. 現代青年の恋愛行動(2)－韓国と日本の大学生の比較をとおして－      | 単              | 平成22年3月                               | 武蔵野大学人間関係学部紀要<br>第7号 (P17～P26)     |
| (その他)                                   |                |                                       |                                    |
| 1. Romantic Attitudes of Japanese Youth | 単              | 平成19年11月                              | 韓国中央大学校社会科学研究所<br>2007年度「推計学術セミナー」 |
| 2. 環境心理学からの提言－心理学に対する環境心理学の位置づけと役割－     | 単              | 平成20年9月                               | 日本心理学会第72回大会                       |
| 3. 環境心理学者としての佐古順彦先生を偲んで                 | 単              | 平成21年3月                               | 日本環境心理学会第2回大会                      |
| 4. 仏教学と心理学の協力－日本社会における課題と展望             | 単              | 平成21年8月                               | 日本仏教心理学会 公開シンポジウム                  |
| 5. 環境問題への心理学的アプローチ～佐古先生の問題提起から～         | 単              | 平成22年1月                               | 人間・環境学会第90回研究会                     |

- ・氏名（フリガナ）                    春原 由紀（スノハラ ユキ）
- ・所属／職名                         人間関係学部（人間関係学科）／准教授
- ・学位（分野）／研究分野         家政学学士、家政学修士／臨床心理学
- ・キーワード                         虐待、DV被害母子、家族関係、心理劇、グループカウンセリング

| 職 歴           |   |
|---------------|---|
| 年 月           | 事 項   |
| 平成8年4月        | 原宿カウンセリングセンターカウンセラー（現在に至る）  |
| 学会及び社会における活動等 |   |
| 現在所属している学会    | 日本関係学会、日本心理臨床学会、日本保育学会、日本集団精神療法学会、日本人間関係学会、日本心理劇学会、日本子どもの虐待防止学会、日本EMDR学会、日本トラウマティックストレス学会 |
| 年 月           | 事 項   |
|               | (学会活動)  |
| 昭和55年4月       | 日本関係学会会員（現在に至る）   |
| 昭和57年4月       | 日本心理臨床学会会員（現在に至る）   |
| 昭和59年4月       | 日本保育学会会員（現在に至る）   |
| 昭和60年4月       | 日本集団精神療法学会会員（現在に至る）   |
| 昭和63年4月       | 日本関係学会運営委員、広報委員（現在に至る）  |
| 平成4年4月        | 日本人間関係学会会員（現在に至る）   |
| 平成6年4月        | 日本心理劇学会会員、理事、（現在に至る）  |
| 平成13年4月       | 日本心理劇学会常任理事、学会事務局長（平成20年3月迄）  |
| 平成17年4月       | 日本トラウマティックストレス学会（現在に至る）   |
| 平成16年12月      | 日本子供の虐待防止学会会員（現在に至る）  |
| 平成18年4月       | 日本EMDR学会会員（現在に至る）   |
|               | (社会活動)  |
| 平成19年5月       | (養育困難家庭児への保育の支援) 指定科目取得講習会 保育総論・保育支援 臨床発達心理士資格認定委員会                                       |
| 平成19年6月       | (集団を考える—集団であることの可能性と関係学 グループカウンセリングの立場から) 日本関係学学会第29回大会シンポジウム                             |
| 平成19年6月       | (カウンセリングマインドと保護者支援) 第1回保育士研修 東京都市町村職員研修所  |
| 平成19年7月       | (養育困難家庭児への保育の支援) 指定科目取得講習会 保育総論・保育支援 臨床発達心理士資格認定委員会                                       |
| 平成19年8月       | (さわやかな人間関係作り—保護者とのより良い連携を目指して—) 港区幼稚園教育研究会  |
| 平成19年11月      | (人と人の共生—かかわりの原理から) 人類働態学会シンポジウム   |
| 平成20年3月       | (夫婦の関係と子ども) 春の生涯学習ウィーク2008in渋谷 サンケイリビング新聞社  |
| 平成20年6月       | (全員参加の心理劇—ドラマサークルとのコラボレーション) クリエイティブフォーラム監督 日本関係学会第30回大会                                  |
| 平成20年6月       | (カウンセリングマインド) 専門職研修第1回 東京都市町村職員研修所  |
| 賞 罰           |   |
| 年 月           | 事 項   |
|               | なし  |

| 教育研究業績書   |                |  |                                   |
|---|----------------|--|-----------------------------------|
| 教育上の能力に関する事項                                    |                |  |                                   |
| 事項  | 年月日            | 概要   |                                   |
| 1 教育方法の実践例<br>(1) 保育実践力の養成を目的とした行為法による教育        | 昭和60年～現在に至る    | 保育者養成において、保育状況で主体的に判断し、行動できる保育実践力を育てるため講義法による授業に加えて、学生たちが自らふるまい、感じ、考える授業として行為法を導入し、実践した。 |                                   |
| 2 作成した教科書、教材                                    |                |  |                                   |
| 3 教育上の能力に関する大学等の評価                              |                |  |                                   |
| 4 実務の経験を有する者についての特記事項                           |                |  |                                   |
| 5 その他<br>(1) 武蔵野女子学院学院特別研究費採択 研究代表者             | 平成18、19年度      | 保育者における臨床心理学的支援ニーズの研究（単独）300,000円  |                                   |
| 職務上の能力に関する事項                                    |                |  |                                   |
| 事項  | 年月日            | 概要   |                                   |
| 1 資格、免許   |                |  |                                   |
| 2 特許等   |                |  |                                   |
| 3 実務の経験を有する者についての特記事項                           |                |  |                                   |
| 4 その他   |                |  |                                   |
| 研究業績等に関する事項                                     |                |  |                                   |
| 著書、学術論文等の名称                                     | 単著<br>共著<br>の別 | 発行又は発表<br>の年月  | 発行所、発表雑誌等又は<br>発表学会等の名称           |
| (著書)<br>1. DVに曝された母親と子どもの理解と支援－施設スタッフのためのガイドブック | 共              | 平成22年3月  | 財団法人子ども未来財団                       |
| (学術論文)<br>1. 在宅の被虐待への関係的遊戯療法                    | 共              | 平成20年3月  | 関係学研究第35巻1号 (P5～P14)              |
| 2. DVに曝された子どもたちへの援助－コンカレントプログラムの実践－             | 共              | 平成20年12月   | 武蔵野大学心理臨床センター紀要2008年第8号 (P19～P61) |
| 3. DVに曝された子どもたちと母親たちへの援助－コンカレントプログラムについて－       | 単              | 平成21年3月  | NPO法人RRP研究会 (P46～P51)             |

| 著書、学術論文等の名称   | 単著<br>共著<br>の別 | 発行又は発表<br>の年月 | 発行所、発表雑誌等又は<br>発表学会等の名称                              |
|---|----------------|---------------|--|
| 4. ドメスティック・バイオレンスに曝された母子に対する同時並行グループプログラムの試み（その1）ープログラムの概要と子どもに関する有効性 | 共              | 平成21年4月       | 日本子ども虐待防止学会学会誌、子どもの虐待とネグレクト Vol. 11 No. 1 (p.69~80)  |
| 5. ドメスティック・バイオレンスに曝された母子に対する同時並行グループプログラムの試み（その2）ー子どもグループについて         | 共              | 平成21年4月       | 日本子ども虐待防止学会学会誌、子どもの虐待とネグレクト Vol. 11 No. 1 (p.81~89)  |
| 6. ドメスティック・バイオレンスに曝された母子に対する同時並行グループプログラムの試み（その3）                     | 共              | 平成21年4月       | 日本子ども虐待防止学会学会誌、子どもの虐待とネグレクト Vol. 11 No. 1 (p.90~103) |
| 7. DVにさらされた兄弟へのプレイセラピー  | 共              | 平成22年3月       | 武蔵野大学心理臨床センター紀要2009年第9号 (p33~45)                     |
| (その他)   |                |               |  |
| 1. 心理職の巡回相談における保育者の支援ニーズーConjoint の統計手法を用いた支援ニーズの分析ー                  | 共              | 平成20年3月       | 第19回日本発達心理学会大会                                       |
| 2. 保育現場における心理臨床的援助ニーズー保育者を対象とした調査からー                                  | 共              | 平成20年9月       | 日本心理臨床学会第27回大会                                       |
| 3. ドメスティックバイオレンスに曝された母子に対する同時並行プログラムの試み（その1）ー5~7歳児グループについてー           | 共              | 平成20年12月      | 日本子どもの虐待防止学会第14回学術集会                                 |
| 4. ドメスティックバイオレンスに曝された母子に対する同時並行プログラムの試み（その2）ー8~9歳児グループについてー           | 共              | 平成20年12月      | 日本子どもの虐待防止学会第14回学術集会                                 |
| 5. DV被害をうけた母子に対する同時並行プログラム  | 共              | 平成21年3月       | 日本とラウマティックストレス学会第8回大会                                |
| 6. DVに曝された兄弟の事例   | 共              | 平成21年9月       | 日本心理臨床学会第28回大会                                       |

- ・氏名（フリガナ）                    田中 教照（タナカ キョウショウ）
- ・所属／職名                        人間関係学部（人間関係学科）／教授
- ・学位（分野）／研究分野        文学博士／仏教学
- ・キーワード                        仏教学、仏教史全般

| 職 歴                     |  |     |
|-------------------------|--|-----|
| 年 月                     | 事 項  |     |
| 平成14年 4月                | 武蔵野女子学院学院長（現在に至る）  |     |
| 平成14年 4月                | 武蔵野女子学院中学校・高等学校校長（平成20年 3月迄）   |     |
| 平成19年 4月                | 武蔵野大学通信教育部長（現在に至る）   |     |
| 平成21年 4月                | 武蔵野大学通信教育部大学院人間学研究科長（現在に至る）  |     |
| 学会及び社会における活動等           |  |     |
| 現在所属している学会              | パーリ学仏教文化学会、日本印度学仏教学会、国際真宗学会、日本死の臨床研究会、日本宗教学会、比較思想学会、真宗連合学会、東方研究会、日本仏教教育学会、仏教思想学会 |     |
| 年 月                     | 事 項  |     |
| 平成1年 4月                 | パーリ学仏教文化学会理事（現在に至る）  |     |
| 平成7年 4月                 | 日本印度学仏教学会理事（現在に至る）   |     |
| 平成19年                   | 国際真宗学会理事（現在に至る）  |     |
|                         | 日本死の臨床研究会会員（現在に至る）   |     |
|                         | 日本宗教学会理事（現在に至る）  |     |
|                         | 比較思想学会理事（現在に至る）  |     |
|                         | 真宗連合学会会員（現在に至る）  |     |
|                         | 東方研究会会員（現在に至る）   |     |
|                         | 日本仏教教育学会会員（現在に至る）  |     |
|                         | 仏教思想学会理事（現在に至る）  |     |
| 賞 罰                     |  |     |
| 年 月                     | 事 項  |     |
|                         | なし   |     |
| 教 育 研 究 業 績 書           |  |     |
| 教 育 上 の 能 力 に 関 す る 事 項 |  |     |
| 事 項                     | 年 月 日  | 概 要 |
| 1 教育方法の実践例              |  |     |
| 2 作成した教科書、教材            |  |     |
| 3 教育上の能力に関する大学等の評価      |  |     |
| 4 実務の経験を有する者についての特記事項   |  |     |
| 5 その他                   |  |     |

| 職務上の能力に関する事項          |                |               |                         |
|-----------------------|----------------|---------------|-------------------------|
| 事項                    | 年月日            | 概要            |                         |
| 1 資格、免許               |                |               |                         |
| 2 特許等                 |                |               |                         |
| 3 実務の経験を有する者についての特記事項 |                |               |                         |
| 4 その他                 |                |               |                         |
| 研究業績等に関する事項           |                |               |                         |
| 著書、学术论文等の名称           | 単著<br>共著<br>の別 | 発行又は発表<br>の年月 | 発行所、発表雑誌等又は<br>発表学会等の名称 |
| (著書)                  |                |               |                         |
| 1. 仏は叫んでいる            | 単              | 平成20年2月       | 武蔵野大学出版会 (211頁)         |
| 2. 仏教最前線の課題           | 共              | 平成21年1月       | 武蔵野大学出版会 (18頁)          |
| (学术论文)                |                |               |                         |
| (その他)                 |                |               |                         |

- ・氏名（フリガナ）                    辻 惠介（ツジ ケイスケ）
- ・所属／職名                        人間関係学部（人間関係学科）／教授
- ・学位（分野）／研究分野        学士（医学）、博士（医学）／司法精神医学、精神病理学
- ・キーワード                        精神鑑定、犯罪、殺人

| 職 歴           |   |
|---------------|---|
| 年 月           | 事 項   |
| 平成21年4月       | 武蔵野大学人間関係学部人間関係学科教授（昇任）（現在に至る）  |
| 学会及び社会における活動等 |   |
| 現在所属している学会    | 日本精神神経学会、多文化間精神医学会、日本精神病理学会、日本社会精神医学学会、日本犯罪学会、矯正医学会、日本病跡学会、日本老年精神医学学会、日本集団精神療法学会、東京精神医学会、栃木県精神医学会、日本スポーツ精神医学会、日本成年後見法学会、異文化間教育学会、日本司法精神医学会、日本トラウマティックストレス学会 |
| 年 月           | 事 項   |
|               | (学会活動)  |
|               | 日本精神神経学会会員（現在まで）  |
|               | 多文化間精神医学会会員（現在まで）   |
|               | 多文化間精神医学会理事（平成21年12月まで）   |
| 平成17年6月       | 同 研究委員会委員長（平成21年12月まで）  |
|               | 日本精神病理学会会員（現在まで）  |
| 平成6年3月        | 日本社会精神医学学会会員（現在まで）  |
|               | 日本犯罪学会会員（現在まで）  |
|               | 矯正医学会会員（現在まで）   |
|               | 日本病跡学会会員（現在まで）  |
| 平成12年1月       | 日本老年精神医学学会会員（現在まで）  |
|               | 日本集団精神療法学会会員（現在まで）  |
|               | 東京精神医学会会員（現在まで）   |
|               | 栃木県精神医学会会員（現在まで）  |
| 平成15年9月       | 日本スポーツ精神医学会会員、評議員（現在まで）   |
| 平成15年10月      | 日本成年後見法学会会員（現在まで）   |
| 平成17年3月       | 異文化間教育学会会員（現在まで）  |
| 平成17年5月       | 日本司法精神医学会会員（現在まで）   |
|               | (社会活動)  |
| 平成16年10月      | 日本たばこ産業株式会社職場復帰審査委員会 委員（現在まで）   |
| 平成17年7月       | 社団法人被害者支援センターとちぎ 理事（現在まで）   |
| 平成18年4月       | 栃木県警察被害少年カウンセリングアドバイザー（現在まで）  |
| 平成18年4月       | 栃木県臨床心理士会 理事（現在まで）  |
| 平成19年6月       | 栃木県留置施設視察委員会委員（現在まで）  |
| 平成20年4月       | 家事調停委員（現在まで）  |
| 平成22年4月       | 社会福祉法人鳩巢会苦情解決体制第三者委員（現在まで）  |
| 平成22年5月       | 認定特定非営利活動法人ウィメンズハウスとちぎ理事（現在まで）  |

| 賞  |                                       | 罰  |  |
|--|---------------------------------------|--|--|
| 年  | 月                                     | 事項   |  |
|  |                                       | なし   |  |
| 教育研究業績書  |                                       |  |  |
| 教育上の能力に関する事項   |                                       |  |  |
| 事項   | 年月日                                   | 概要   |  |
| 1 教育方法の実践例<br>(1) 学生の学外実習の企画・実践<br><br>(2) 学生の授業外における学習促進の取り組み                                     | 平成14年度～現在に至る<br><br>平成14年度～現在に至る      | 大学院生および学部生のための精神病院、知的障害児施設、救護施設、社会復帰促進センターなどの見学<br><br>大学院生および学部生のための拘置所見学、精神鑑定の陪席など<br><br>臨床系の授業科目では、学習の早期に実地の臨床場に触れさせることで、学生の学習意欲を高め、知識を有機的に結び付けやすくする効果が期待できる。大学院の臨床心理基礎実習および学部の間論演習において、精神病院、援護寮、デイケア、救護施設、知的障害児施設などでの実習を小人数のグループ単位で実施している。この実習においては、単なる見学に留まらず、臨床の第一線で活動している精神科医師や臨床心理士、看護師、精神保険福祉士、作業療法士などとの懇談の他、上記施設を利用している精神障害者との模擬面接も行い、学生にも好評である。加えて、意欲ある学生に対しては、精神鑑定での面接に陪席させるなど、授業外の学習の機会を多く設けている。 |  |
| 2 作成した教科書、教材<br>(1) 通信教育部におけるWeb上の教材   | 平成15～22年度開講分                          | 精神医学のスタディガイド、エクセサイズ、単位認定試験問題など   |  |
| 3 教育上の能力に関する大学等の評価   |                                       |  |  |
| 4 実務の経験を有する者についての特記事項<br>(1) 被害者対策・支援実施のために（講演）<br>(2) 特殊な背景を持つ被害少年への支援（講演）<br>(3) 人格障害③・人格障害④（講演） | 平成19年6月<br><br>平成19年6月<br><br>平成19年6月 | 栃木県警察学校の被害者対策専科教養の講師。栃木県警察学校にて。<br><br>栃木県警察生活安全部少年課少年サポートセンター員南部ブロック研修会の講師。栃木県小山警察署にて。<br><br>関東管区警察学校のストーカー・配偶者暴力対策専科研修の講師。関東管区警察学校にて。   |  |

| 事 項   | 年 月 日                 | 概 要   |
|---|-----------------------|---|
| (4) 特殊な背景を持つ被害少年への支援(講演)                    | 平成19年 6 月             | 栃木県警察生活安全部少年課少年サポートセンター員北部ブロック研修会の講師。栃木県大田原警察署にて。             |
| (5) 特殊な背景を持つ被害少年への支援(講演)                    | 平成19年 6 月             | 栃木県警察生活安全部少年課少年サポートセンター員中部ブロック研修会の講師。栃木県宇都宮中央警察署にて。           |
| (6) 被害者支援に必要な精神医学の基礎知識・疾患の症状と正常な反応の見分け方(講演) | 平成19年 8 月             | (社)被害者支援センターとちぎのボランティア相談員2期生の養成講座の講師。(社)被害者支援センターとちぎ(宇都宮市)にて。 |
| (7) 犯罪被害者が望む支援センターの必要性(コーディネーター)            | 平成19年 8 月             | (社)被害者支援センターとちぎ研修会のコーディネーター。とちぎ健康の森にて。                        |
| (8) うつ病、うつ状態の当事者の理解と対応について(講演)              | 平成19年10月              | 宇都宮家庭裁判所にて。   |
| (9) 日本で暮らす外国人のメンタル面について(講演)                 | 平成19年10月              | 西東京市市民生活部生活文化課主催の講演会。西東京市田無庁舎にて。                              |
| (10) 自死遺族を理解するために(講演)                       | 平成19年10月              | 栃木いのちの電話、「自死遺族の会」相談員のための研修の講師。とちぎ福祉プラザ(宇都宮市)にて。               |
| (11) 精神鑑定から学ぶ犯罪心理学入門                        | 平成19年11月2日～平成20年1月11日 | 武蔵野大学生涯学習講座。全8回。三鷹サテライト教室にて。                                  |
| (12) 高校生が抱える対人関係上の諸問題(講演)                   | 平成19年11月              | 平成19年度教育相談講話の講師。栃木県立田沼高等学校にて。                                 |
| (13) 低年齢少年の心理(講演)                           | 平成19年12月              | 栃木県警察生活安全部少年課少年サポートセンター員全体研修会の講師。栃木県警察本部にて。                   |
| (14) 精神鑑定について(講演)                           | 平成20年 1 月             | 宇都宮地方検察庁にて。   |
| (15) 思春期・青年期のアスペルガー症候群の行動上の問題への対応(講演)       | 平成20年 1 月             | 栃木県発達障害者支援センター講演会。栃木県総合教育センターにて。                              |
| (16) 自殺予防対策としてのうつ病の精神医学的理解(講演)              | 平成20年 2 月             | 栃木いのちの電話講演会。とちぎ福祉プラザにて。                                       |
| (17) 事例検討                                   | 平成20年 2 月             | 栃木県臨床心理士会主催、HIVカウンセリング研修会の講師。栃木県青少年会館にて。                      |
| (18) 被害者の心理と対応上の留意点(講演)                     | 平成20年 2 月             | (株)損保ジャパン関東SC第一部07年度第3回医療研修会の講師。(株)損保ジャパン水戸支社にて。              |
| (19) 絵画療法(講演)                               | 平成20年 2 月             | 栃木県警察生活安全部少年課少年サポートセンター員全体研修会の講師。栃木県警察本部にて。                   |
| (20) 精神鑑定書の読み方(講演)                          | 平成20年 3 月             | 宇都宮地方裁判所にて。   |
| (21) 被害少年支援の基礎(講演)                          | 平成20年 5 月             | 栃木県警察生活安全部少年課少年サポートセンター員全体研修会の講師。栃木県警察本部にて。                   |

| 事 項  | 年 月 日                          | 概 要   |
|--|--------------------------------|---|
| (22) 続・精神鑑定から学ぶ犯罪心理学入門                       | 平成20年5月<br>9日～平成20年<br>7月18日   | 武蔵野大学生涯学習講座。全6回。三鷹サテライト教室にて。                                  |
| (23) 家族がうつ病になったら(講演)                         | 平成20年5月                        | 武蔵野大学生涯学習オムニバス心理講座、あなたと家族のメンタルヘルス。本学にて。                       |
| (24) 面接技法の基礎(講演)                             | 平成20年6月                        | 栃木県警察生活安全部少年課少年サポートセンター員全体研修会の講師。栃木県警察本部にて。                   |
| (25) 人格障害(講演)                                | 平成20年7月                        | 関東管区警察学校のストーカー・配偶者暴力対策専科研修の講師。関東管区警察学校にて。                     |
| (26) 被害者心理と初期対応—心因の影響が大きい事例を中心に—(講演)         | 平成20年7月                        | (株)損保ジャパン心因性被害者対応研修。損保ジャパン立川ビルにて。                             |
| (27) 模擬裁判                                    | 平成20年7月                        | 裁判員制度を控えた模擬事例の精神鑑定。宇都宮地方裁判所にて。                                |
| (28) 精神鑑定について(講演)                            | 平成20年8月                        | 第61期司法修習生実務修習。宇都宮地方検察庁にて。                                     |
| (29) 被害者支援に必要な精神医学の基礎知識・疾患の症状と正常な反応の見分け方(講演) | 平成20年9月                        | (社)被害者支援センターとちぎのボランティア相談員3期生の養成講座の講師。(社)被害者支援センターとちぎ(宇都宮市)にて。 |
| (30) 被害少年に対する面接技法—とくに性被害に着目して(講演)            | 平成20年9月                        | 栃木県警察生活安全部少年課少年サポートセンター員中部ブロック研修会の講師。栃木県宇都宮中央警察署にて。           |
| (31) 被害少年に対する面接技法—とくに性被害に着目して(講演)            | 平成20年9月                        | 栃木県警察生活安全部少年課少年サポートセンター員北部ブロック研修会の講師。栃木県さくら警察署にて。             |
| (32) 自死遺族の理解と対応(講演)                          | 平成20年9月                        | 平成20年度栃木いのちの電話わかちあいの会「こもれび」公開講座。とちぎ健康の森にて。                    |
| (33) 刑事鑑定研究会(講演)                             | 平成20年10月                       | 刑事鑑定研究会の講演。宇都宮地方裁判所にて。  |
| (34) 被害少年に対する面接技法—とくに性被害に着目して(講演)            | 平成20年10月                       | 栃木県警察生活安全部少年課少年サポートセンター員北部ブロック研修会の講師。栃木県栃木警察署にて。              |
| (35) 被害者対策・支援実施のために(講演)                      | 平成20年10月                       | 栃木県警察学校の被害者対策専科教養の講師。栃木県警察学校にて。                               |
| (36) 犯罪被害者の心情、面接上の留意点(講演)                    | 平成20年10月                       | 平成20年度家庭裁判所調査官(補)研究会。宇都宮家庭裁判所にて。                              |
| (37) 精神医学入門                                  | 平成20年10月<br>21日～平成21年<br>1月20日 | 武蔵野大学生涯学習講座。全6回。三鷹サテライト教室にて。                                  |
| (38) 被害者支援領域(指定討論)                           | 平成20年11月                       | 第16回栃木こころの会議。作新学院大学(宇都宮)にて。                                   |
| (39) 救護施設で精神障害者を支援する上での基礎知識(特別講演)            | 平成20年11月                       | 関東地区救護施設協議会、第19回職員研修会の講師。ホテルニュー岡部(鬼怒川)にて。                     |

| 事 項   | 年 月 日                         | 概 要   |
|---|-------------------------------|---|
| (40) 暴力の中を生きる女性の子ども（基調講演）                                 | 平成20年12月                      | 青少年の自立を支える会&ウィメンズハウスとちぎ共催セミナーの講師。とちぎ男女参画共同センターにて。             |
| (41) 大切な人の自殺を防ぐために（特別講演）                                  | 平成20年12月                      | 第3回矢板市福祉のつどいの講師。矢板市文化会館にて。                                    |
| (42) 多重債務者とその心理—精神医学・臨床心理学的視点から（講演）                       | 平成21年2月                       | 民事調停委員自主勉強会の講師。宇都宮地方裁判所にて。                                    |
| (43) ケア・サポート—被害者の心理と対応上の留意点を中心に（講演）                       | 平成21年2月                       | ㈱損保ジャパン（大阪）にて講演。  |
| (44) 被害者の心理と対応上の留意点（講演）                                   | 平成21年2月                       | ㈱損保ジャパン（前橋）にて講演。  |
| (45) 精神障害者が当事者になった場合の対応について—調停の場で精神障害者と話す際の留意点と調停行為能力（講演） | 平成21年2月                       | 平成20年度家庭裁判所家事実務研究会の講師。宇都宮地方裁判所にて。                             |
| (46) 思春期・青年期のアスペルガー症候群の行動上の問題への対応（講演）                     | 平成21年2月                       | 栃木県警察生活安全部少年課少年サポートセンター員全体研修会の講師。栃木県警察本部にて。                   |
| (47) 被害者支援のトピックス（講演）                                      | 平成21年2月                       | （社）被害者支援センターとちぎのボランティア相談員継続研修の講師。（社）被害者支援センターとちぎ（宇都宮市）にて。     |
| (48) 被害者支援活動のために（講演）                                      |                               | 栃木県警察生活安全部少年課少年サポートセンター員新人研修会の講師。栃木県警察本部にて。                   |
| (49) 面接相談技術のロールプレイなど（講演）                                  | 平成21年5月                       | （社）被害者支援センターとちぎのボランティア相談員継続研修の講師。（社）被害者支援センターとちぎ（宇都宮市）にて。     |
| (50) 続・精神医学入門   | 平成21年5月<br>29日～平成21年<br>6月26日 | 武蔵野大学生涯学習講座。全3回。三鷹サテライト教室にて。                                  |
| (51) 被害者支援活動のために（講演）                                      | 平成21年6月                       | 栃木県警察被害者対策専科教養の講師。栃木県警察学校にて。                                  |
| (52) 非行臨床と家族カウンセリング（講演）                                   | 平成21年6月                       | 栃木県警察生活安全部少年課少年サポートセンター員全体研修会の講師。栃木県警察本部にて。                   |
| (53) 消費者問題とこころの病（記念講演）                                    | 平成21年6月                       | NPO法人とちぎ消費生活サポートネットの総会の記念講演講師。とちぎ男女共同参画センター（宇都宮）にて。           |
| (54) 被害者支援に必要な精神医学の基礎知識・疾患の症状と正常な反応の見分け方（講演）              | 平成21年8月                       | （社）被害者支援センターとちぎのボランティア相談員4期生の養成講座の講師。（社）被害者支援センターとちぎ（宇都宮市）にて。 |
| (55) 精神鑑定について（講演）   | 平成21年8月                       | 第62期司法修習生実務修習。宇都宮地方検察庁にて。                                     |
| (56) 人格障害（講演）   | 平成21年9月                       | 関東管区警察学校のストーリー・配偶者暴力対策専科研修の講師。関東管区警察学校にて。                     |
| (57) うつ病と自律神経失調症  | 平成21年9月                       | ㈱損保ジャパン（東京本社）にて講演。  |

| 事 項                                | 年 月 日                          | 概 要   |
|------------------------------------|--------------------------------|---|
| (58) 被害者支援の現状 (講演)                 | 平成21年10月                       | (社)被害者支援センターとちぎのボランティア相談員継続研修の講師。(社)被害者支援センターとちぎ(宇都宮市)にて。 |
| (59) PTSDとは何か (講演)                 | 平成21年11月                       | 栃木県警察生活安全部少年課少年サポートセンター員南部ブロック研修会の講師。栃木県栃木警察署にて。          |
| (60) 続々・精神医学入門                     | 平成21年11月<br>6日～平成21年<br>12月18日 | 武蔵野大学生涯学習講座。全4回。三鷹サテライト教室にて。                              |
| (61) PTSDとは何か (講演)                 | 平成21年11月                       | 栃木県警察生活安全部少年課少年サポートセンター員北部ブロック研修会の講師。栃木県さくら警察署にて。         |
| (62) 救護施設で精神障害者を支援する上での基礎知識 (特別講演) | 平成21年11月                       | 関東地区救護施設協議会、第20回職員研修会の講師。川崎グランドホテル(川崎)にて。                 |
| (63) PTSDとは何か (講演)                 | 平成21年12月                       | 栃木県警察生活安全部少年課少年サポートセンター員中部ブロック研修会の講師。栃木県宇都宮中央警察署にて。       |
| (64) 直接支援にかかわる事例検討 (講演)            | 平成21年12月                       | (社)被害者支援センターとちぎのボランティア相談員継続研修の講師。(社)被害者支援センターとちぎ(宇都宮市)にて。 |
| (65) 発達障害少年の支援 (講演)                | 平成22年2月                        | 栃木県警察生活安全部少年課少年サポートセンター員全体研修会の講師。栃木県警察本部にて。               |
| (66) 薬物乱用の心理 (講演)                  | 平成22年3月                        | 高大連携事業の一環としての都立武蔵野北高等学校の生徒への講演。本学雪頂講堂にて。                  |
| 5 その他                              |                                |   |
| 職 務 上 の 能 力 に 関 す る 事 項            |                                |   |
| 事 項                                | 年 月 日                          | 概 要   |
| 1 資格、免許                            |                                |   |
| (1) 日本精神神経学会専門医                    | 平成20年10月                       |   |
| 2 特許等                              |                                |   |
| 3 実務の経験を有する者についての特記事項<br>〔精神鑑定〕    |                                |   |
| (1) 現住建造物等放火、殺人被疑事件にかかわる精神鑑定       | 平成19年3月～<br>8月                 | さいたま地方検察庁より囑託   |
| (2) 現住建造物等放火被疑事件にかかわる簡易精神鑑定        | 平成19年3月                        | 宇都宮地方検察庁栃木支部より囑託 (87) 窃盗未遂被疑事件にかかわる簡易精神鑑定                 |
| (3) 窃盗未遂被疑事件にかかわる簡易精神鑑定            | 平成19年4月                        | 宇都宮地方検察庁栃木支部より囑託 (88) 殺人被疑事件にかかわる精神鑑定                     |
| (4) 殺人被疑事件にかかわる精神鑑定                | 平成19年4月～<br>7月                 | 宇都宮地方検察庁栃木支部より囑託 (89) 窃盗被疑事件にかかわる簡易精神鑑定                   |
| (5) 窃盗被疑事件にかかわる簡易精神鑑定              | 平成19年5月                        | 栃木区検察庁より囑託 (90) 非現住建造物等放火被告事件にかかわる精神鑑定                    |

| 事 項                                      | 年 月 日            | 概 要              |
|--|------------------|------------------|
| (6)非現住建造物等放火被告事件にかかわる精神鑑定                | 平成19年5月～12月      | 横浜地方裁判所横須賀支部より囑託 |
| (7)名誉毀損被疑事件にかかわる簡易精神鑑定                   | 平成19年5月          | 宇都宮地方検察庁栃木支部より囑託 |
| (8)公務執行妨害被疑事件にかかわる簡易精神鑑定                 | 平成19年5月～6月       | 宇都宮地方検察庁より囑託     |
| (9)詐欺被疑事件にかかわる簡易精神鑑定                     | 平成19年6月          | 宇都宮地方検察庁栃木支部より囑託 |
| (10)公然わいせつ被疑事件にかかわる簡易精神鑑定                | 平成19年6月          | 栃木区検察庁より囑託       |
| (11)傷害被疑事件にかかわる簡易精神鑑定                    | 平成19年7月          | 宇都宮地方検察庁より囑託     |
| (12)公務執行妨害、傷害、器物損壊被疑事件にかかわる簡易精神鑑定        | 平成19年7月          | 宇都宮地方検察庁栃木支部より囑託 |
| (13)器物損壊被疑事件にかかわる簡易精神鑑定                  | 平成19年7月          | 宇都宮地方検察庁より囑託     |
| (14)暴行、暴力行為等処罰にかかわる法律違反被疑事件              | 平成19年8月          | 宇都宮地方検察庁より囑託     |
| (15)殺人、住居侵入、鉄砲刀剣類所持等取締法違反被疑事件にかかわる簡易精神鑑定 | 平成19年8月～9月       | 宇都宮地方検察庁より囑託     |
| (16)殺人、住居侵入、鉄砲刀剣類所持等取締法違反被疑事件にかかわる精神鑑定   | 平成19年8月～平成20年1月  | 宇都宮地方検察庁より囑託     |
| (17)損害賠償請求事件にかかわる精神医学的意見                 | 平成19年8月～9月       | 澤田総合法律事務所より囑託    |
| (18)脅迫被疑事件にかかわる簡易精神鑑定                    | 平成19年9月          | 宇都宮地方検察庁栃木支部より囑託 |
| (19)共有物分割請求事件にかかわる精神医学的意見                | 平成19年9月～11月      | 被告側より囑託          |
| (20)覚せい剤取締法違反被疑事件にかかわる簡易精神鑑定             | 平成19年10月         | 宇都宮地方検察庁栃木支部より囑託 |
| (21)殺人未遂、現住建造物等放火未遂被疑事件にかかわる簡易精神鑑定       | 平成19年10月         | 宇都宮地方検察庁栃木支部より囑託 |
| (22)詐欺被疑事件にかかわる簡易精神鑑定                    | 平成19年11月         | 宇都宮地方検察庁より囑託     |
| (23)現住建造物等放火未遂被疑事件にかかわる簡易精神鑑定            | 平成19年12月         | 宇都宮地方検察庁栃木支部より囑託 |
| (24)傷害致死被告事件被害者にかかわる精神医学的意見              | 平成19年12月         | 宇都宮地方検察庁より囑託     |
| (25)器物損壊被疑事件にかかわる簡易精神鑑定                  | 平成19年12月         | 宇都宮地方検察庁より囑託     |
| (26)覚せい剤取締法違反被疑事件にかかわる簡易精神鑑定             | 平成19年12月         | 宇都宮地方検察庁より囑託     |
| (27)暴力行為等処罰に関する法律違反被疑事件にかかわる簡易精神鑑定       | 平成19年12月～平成20年1月 | 宇都宮地方検察庁より囑託     |
| (28)窃盗被告事件にかかわる精神医学的意見                   | 平成20年1月          | 宇都宮地方検察庁より囑託     |
| (29)航空機事故による損害賠償請求事件にかかわる精神医学的意見         | 平成19年11月～平成20年2月 | さつき法律事務所より囑託     |
| (30)覚せい剤取締法違反被疑事件にかかわる簡易精神鑑定             | 平成20年2月          | 宇都宮地方検察庁足利支部より囑託 |

| 事 項  | 年 月 日           | 概 要              |
|--|-----------------|------------------|
| (31) 離婚審判にかかわる精神医学的意見                      | 平成20年1月～<br>4月  | さつき法律事務所より嘱託     |
| (32) 離婚審判にかかわる精神医学的意見・補遺                   | 平成20年4月～<br>5月  | さつき法律事務所より嘱託     |
| (33) 自賠償にかかわる精神医学的意見                       | 平成20年2月～<br>3月  | (株)損保ジャパンより嘱託    |
| (34) 名誉毀損被疑事件にかかわる簡易精神鑑定                   | 平成20年3月         | 宇都宮地方検察庁栃木支部より嘱託 |
| (35) 公務執行妨害被疑事件に関わる簡易精神鑑定                  | 平成20年3月～<br>4月  | 宇都宮地方検察庁栃木支部より嘱託 |
| (36) 脅迫被告事件に関わる精神鑑定                        | 平成20年3月～<br>8月  | 水戸地方裁判所土浦支部より嘱託  |
| (37) 住居侵入、準強制わいせつ、準強制わいせつ未遂被疑事件にかかわる簡易精神鑑定 | 平成20年4月～<br>5月  | 宇都宮地方検察庁真岡支部より嘱託 |
| (38) 現住建造物等放火未遂被疑事件にかかわる簡易精神鑑定             | 平成20年4月～<br>5月  | 宇都宮地方検察庁より嘱託     |
| (39) 難民認定申請、特別在留許可申請事件にかかわる精神医学的意見         | 平成20年2月～<br>5月  | いずみ橋法律事務所より嘱託    |
| (40) 公然わいせつ、建造物侵入被疑事件にかかわる簡易精神鑑定           | 平成20年5月         | 宇都宮地方検察庁栃木支部より嘱託 |
| (41) 離婚訴訟に関わる精神医学的意見                       | 平成20年5月         | 第一芙蓉法律事務所より嘱託    |
| (42) 離婚訴訟に関わる精神医学的意見・補遺                    | 平成20年10月        | 第一芙蓉法律事務所より嘱託    |
| (43) 殺人未遂被疑事件にかかわる簡易精神鑑定                   | 平成20年6月         | 宇都宮地方検察庁栃木支部より嘱託 |
| (44) 殺人未遂、傷害被疑事件にかかわる精神鑑定                  | 平成20年5月～<br>8月  | 東京地方検察庁より嘱託      |
| (45) 現住建造物等放火被疑事件にかかわる精神医学的意見              | 平成20年3月～<br>6月  | 銀座プライム法律事務所      |
| (46) 覚せい剤取締法違反被疑事件にかかわる簡易精神鑑定              | 平成20年6月～<br>7月  | 宇都宮地方検察庁栃木支部より嘱託 |
| (47) 暴力行為等処罰に関する法律違反被疑事件にかかわる簡易精神鑑定        | 平成20年7月         | 宇都宮地方検察庁より嘱託     |
| (48) 殺人未遂被疑事件にかかわる簡易精神鑑定                   | 平成20年7月         | 宇都宮地方検察庁より嘱託     |
| (49) 現住建造物等放火被疑事件にかかわる簡易精神鑑定               | 平成20年7月         | 宇都宮地方検察庁より嘱託     |
| (50) 殺人未遂被疑事件にかかわる簡易精神鑑定                   | 平成20年6月～<br>7月  | 宇都宮地方検察庁より嘱託     |
| (51) 殺人未遂被疑事件にかかわる精神鑑定                     | 平成20年6月～<br>10月 | 宇都宮地方検察庁より嘱託     |
| (52) 現住建造物等放火被疑事件にかかわる簡易精神鑑定               | 平成20年6月～<br>10月 | さいたま地方検察庁より嘱託    |
| (53) 現住建造物等放火被告事件にかかわる簡易精神鑑定               | 平成20年7月～<br>11月 | 水戸地方裁判所土浦支部より嘱託  |

| 事 項  | 年 月 日                | 概 要               |
|--|----------------------|-------------------|
| (54) 強盗致傷被疑事件にかかわる簡易精神鑑定                               | 平成20年7月～<br>8月       | 宇都宮地方検察庁より嘱託      |
| (55) 強盗致傷被疑事件にかかわる簡易精神鑑定                               | 平成20年7月～<br>8月       | 宇都宮地方検察庁より嘱託      |
| (56) 道路交通法違反被疑事件にかかわる精神医学的意見                           | 平成20年7月～<br>8月       | 宇都宮地方検察庁より嘱託      |
| (57) 住居侵入被疑事件にかかわる簡易精神鑑定                               | 平成20年8月～<br>9月       | 宇都宮地方検察庁より嘱託      |
| (58) 窃盗被告事件にかかわる精神鑑定                                   | 平成20年9月～<br>平成21年1月  | 宇都宮地方裁判所栃木支部      |
| (59) 傷害被疑事件にかかわる簡易精神鑑定                                 | 平成20年9月              | 宇都宮地方検察庁より嘱託      |
| (60) 窃盗、傷害被告事件にかかわる精神鑑定                                | 平成20年10月～<br>平成21年2月 | 水戸地方裁判所下妻支部より嘱託   |
| (61) 器物損壊被疑事件にかかわる簡易精神鑑定                               | 平成20年9月～<br>10月      | 宇都宮地方検察庁より嘱託      |
| (62) 窃盗被疑事件にかかわる簡易精神鑑定                                 | 平成20年10月             | 宇都宮地方検察庁真岡支部より嘱託  |
| (63) 鉄砲刀剣類所持等取締法違反被疑事件にかかわる簡易精神鑑定                      | 平成20年10月             | 宇都宮地方検察庁栃木支部より嘱託  |
| (64) 暴力行為等処罰に関する法律違反被疑事件にかかわる簡易精神鑑定                    | 平成20年11月             | 宇都宮地方検察庁より嘱託      |
| (65) 詐欺被疑事件にかかわる簡易精神鑑定                                 | 平成20年11月             | 宇都宮地方検察庁より嘱託      |
| (66) 器物損壊被疑事件にかかわる簡易精神鑑定                               | 平成20年11月             | 宇都宮地方検察庁より嘱託      |
| (67) 器物損壊被疑事件にかかわる簡易精神鑑定                               | 平成20年11月～<br>12月     | 宇都宮地方検察庁より嘱託      |
| (68) 常習累犯窃盗被疑事件にかかわる簡易精神鑑定                             | 平成20年12月             | 宇都宮地方検察庁より嘱託      |
| (69) 現住建造物等放火被疑事件にかかわる簡易精神鑑定                           | 平成20年12月             | 宇都宮地方検察庁栃木支部より嘱託  |
| (70) 鉄砲刀剣類所持等取締法違反被疑事件にかかわる簡易精神鑑定                      | 平成20年12月             | 宇都宮地方検察庁栃木支部より嘱託  |
| (71) 暴力行為等処罰に関する法律違反、鉄砲刀剣類所持等取締法違反被疑事件にかかわる(155)簡易精神鑑定 | 平成20年12月             | 宇都宮地方検察庁大田原支部より嘱託 |
| (72) 窃盗被疑事件にかかわる簡易精神鑑定                                 | 平成20年12月             | 宇都宮地方検察庁大田原支部より嘱託 |
| (73) 器物損壊、住居侵入被疑事件にかかわる簡易精神鑑定                          | 平成21年1月              | 宇都宮地方検察庁大田原支部より嘱託 |
| (74) 強盗傷人、建造物侵入被疑事件にかかわる精神鑑定                           | 平成20年12月～<br>平成21年3月 | 東京地方検察庁より嘱託       |
| (75) 建造物侵入、非現住建造物等放火未遂被疑事件にかかわる精神鑑定                    | 平成20年11月～<br>平成21年3月 | さいたま地方検察庁より嘱託     |
| (76) 覚せい剤取締法違反被告事件にかかわる精神鑑定                            | 平成20年12月～<br>平成21年3月 | 水戸地方裁判所土浦支部より嘱託   |
| (77) 殺人未遂、鉄砲刀剣類所持等取締法違反被疑事件にかかわる簡易精神鑑定                 | 平成21年1月              | 宇都宮地方検察庁栃木支部より嘱託  |

| 事 項                                  | 年 月 日               | 概 要               |
|--------------------------------------|---------------------|-------------------|
| (78) 損害賠償請求事件にかかわる精神医学的意見            | 平成20年9月～<br>平成21年1月 | シリウス総合法律事務所より嘱託   |
| (79) 覚せい剤取締法違反被疑事件にかかわる簡易精神鑑定        | 平成21年1月～<br>2月      | 宇都宮地方検察庁より嘱託      |
| (80) 現住建造物等放火未遂被疑事件にかかわる簡易精神鑑定       | 平成21年2月             | 宇都宮地方検察庁栃木支部より嘱託  |
| (81) 覚せい剤取締法違反被疑事件にかかわる簡易精神鑑定        | 平成21年2月             | 宇都宮地方検察庁栃木支部より嘱託  |
| (82) 傷害、暴行被疑事件にかかわる簡易精神鑑定            | 平成21年2月～<br>3月      | 宇都宮地方検察庁より嘱託      |
| (83) 損害賠償請求事件にかかわる精神医学的意見            | 平成21年3月             | 東京協立法律事務所より嘱託     |
| (84) 殺人被疑事件にかかわる簡易精神鑑定               | 平成21年3月             | 宇都宮地方検察庁栃木支部より嘱託  |
| (85) 殺人被疑事件にかかわる精神鑑定                 | 平成21年3月～<br>5月      | 宇都宮地方検察庁栃木支部より嘱託  |
| (86) 現住建造物等放火未遂被疑事件にかかわる簡易精神鑑定       | 平成21年3月             | 宇都宮地方検察庁栃木支部より嘱託  |
| (87) 強盗、建造物侵入、強制わいせつ、窃盗被告事件にかかわる精神鑑定 | 平成21年4月～<br>7月      | 水戸地方裁判所土浦支部より嘱託   |
| (88) 損害賠償請求事件にかかわる精神医学的意見            | 平成21年3月～<br>4月      | 梅新法律事務所より嘱託       |
| (89) 損害賠償請求控訴事件にかかわる精神医学的意見・補遺       | 平成21年6月             | 梅新法律事務所より嘱託       |
| (90) 殺人未遂被疑事件にかかわる精神鑑定               | 平成21年5月～<br>8月      | 東京地方検察庁より嘱託       |
| (91) 道路交通法違反被告事件にかかわる精神医学的意見         | 平成21年5月～<br>6月      | 宇都宮地方検察庁より嘱託      |
| (92) 非現住建造物等放火被疑事件に関わる簡易精神鑑定         | 平成21年5月             | 宇都宮地方検察庁栃木支部より嘱託  |
| (93) 建造物侵入被疑事件にかかわる簡易精神鑑定            | 平成21年5月             | 宇都宮区検察庁より嘱託       |
| (94) 窃盗被疑事件にかかわる簡易精神鑑定               | 平成21年5月             | 宇都宮区検察庁より嘱託       |
| (95) 覚せい剤取締法違反被疑事件にかかわる簡易精神鑑定        | 平成21年5月             | 宇都宮地方検察庁大田原支部より嘱託 |
| (96) 窃盗被疑事件にかかわる簡易精神鑑定               | 平成21年5月             | 宇都宮地方検察庁より嘱託      |
| (97) 民特労・損害賠償請求事件にかかわる精神医学的意見        | 平成21年4月～<br>6月      | 協和総合法律事務所より嘱託     |
| (98) 公務執行妨害・傷害被疑事件にかかわる簡易精神鑑定        | 平成21年5月～<br>6月      | 宇都宮地方検察庁大田原支部より嘱託 |
| (99) 鉄砲刀剣類所持等取締法違反被疑事件にかかわる簡易精神鑑定    | 平成21年6月～<br>7月      | 宇都宮地方検察庁足利支部より嘱託  |
| (100) 殺人被疑事件にかかわる精神鑑定                | 平成21年7月～<br>10月     | さいたま地方検察庁より嘱託     |
| (101) 損害賠償請求事件にかかわる精神医学的意見           | 平成21年6月～<br>8月      | 京都弁護士会所属弁護士より嘱託   |

| 事 項  | 年 月 日            | 概 要               |
|--|------------------|-------------------|
| (102) 殺人未遂被疑事件にかかわる精神鑑定                            | 平成21年7月～10月      | 宇都宮地方検察庁より嘱託      |
| (103) 公務執行妨害にかかわる簡易精神鑑定                            | 平成21年8月          | 宇都宮地方検察庁より嘱託      |
| (104) 器物損壊被疑事件にかかわる簡易精神鑑定                          | 平成21年9月          | 宇都宮地方検察庁より嘱託      |
| (105) 現住建造物等放火被疑事件にかかわる精神鑑定                        | 平成21年8月～11月      | 宇都宮地方検察庁より嘱託      |
| (106) 暴力行為等処罰に関する法律違反、鉄砲刀剣類所持等取締法違反被疑事件にかかわる簡易精神鑑定 | 平成21年9月          | 宇都宮地方検察庁より嘱託      |
| (107) 窃盗被告事件にかかわる精神鑑定                              | 平成21年10月～平成22年2月 | 水戸地方裁判所土浦支部より嘱託   |
| (108) 殺人未遂、鉄砲刀剣類所持等取締法違反被疑事件にかかわる精神鑑定              | 平成21年10月～平成22年1月 | 東京地方検察庁より嘱託       |
| (109) 器物損壊被疑事件にかかわる簡易精神鑑定                          | 平成21年10月         | 宇都宮地方検察庁栃木支部より嘱託  |
| (110) 詐欺被疑事件にかかわる簡易精神鑑定                            | 平成21年11月         | 宇都宮地方検察庁より嘱託      |
| (111) 損害賠償請求事件にかかわる精神医学的意見                         | 平成22年12月～平成22年4月 | 梅新法律事務所より嘱託       |
| (112) 殺人未遂被告事件にかかわる精神鑑定                            | 平成21年11月～平成22年2月 | 水戸家庭裁判所土浦支部より嘱託   |
| (113) 建造物侵入、窃盗被疑事件にかかわる簡易精神鑑定                      | 平成21年11月         | 宇都宮地方検察庁より嘱託      |
| (114) 公務執行妨害、傷害被疑事件にかかわる簡易精神鑑定                     | 平成21年12月         | 宇都宮地方検察庁大田原支部より嘱託 |
| (115) 傷害被疑事件にかかわる簡易精神鑑定                            | 平成21年12月         | 宇都宮地方検察庁より嘱託      |
| (116) 自賠償保険申請にかかわる精神医学的意見                          | 平成21年12月         | (株)損保ジャパンより嘱託     |
| (117) 窃盗被疑事件にかかわる簡易精神鑑定                            | 平成21年12月         | 小山区検察庁より嘱託        |
| (118) 覚せい剤取締法違反被疑事件にかかわる簡易精神鑑定                     | 平成21年12月         | 宇都宮地方検察庁より嘱託      |
| (119) 覚せい剤取締法違反被疑事件にかかわる簡易精神鑑定                     | 平成22年1月          | 宇都宮地方検察庁より嘱託      |
| (120) 現住建造物等放火被疑事件にかかわる精神鑑定                        | 平成22年1月～4月       | 宇都宮地方検察庁栃木支部より嘱託  |
| (121) 建造物損壊被疑事件にかかわる簡易精神鑑定                         | 平成22年1月          | 宇都宮地方検察庁より嘱託      |
| (122) 現住建造物等放火未遂被疑事件にかかわる簡易精神鑑定                    | 平成22年1月          | 宇都宮地方検察庁より嘱託      |
| (123) 殺人未遂被疑事件にかかわる精神鑑定                            | 平成22年2月～5月       | 宇都宮地方検察庁より嘱託      |
| (124) 強制わいせつ被疑事件にかかわる簡易精神鑑定                        | 平成22年2月          | 宇都宮地方検察庁大田原支部より嘱託 |
| (125) 覚せい剤取締法違反被疑事件にかかわる簡易精神鑑定                     | 平成22年2月          | 宇都宮地方検察庁より嘱託      |

| 事 項                                  | 年 月 日      | 概 要               |
|--------------------------------------|------------|-------------------|
| (126) 脅迫被疑事件にかかわる精神医学的意見             | 平成22年2月    | 宇都宮地方検察庁より嘱託      |
| (127) 強盗傷人被疑事件にかかわる精神鑑定              | 平成22年2月～4月 | 東京地方検察庁より嘱託       |
| (128) 暴力行為等処罰に関する法律違反被疑事件にかかわる簡易精神鑑定 | 平成22年2月    | 宇都宮地方検察庁大田原支部より嘱託 |
| (129) 強盗等被疑事件にかかわる簡易精神鑑定             | 平成22年3月    | 宇都宮地方検察庁より嘱託      |
| (130) 強盗等被疑事件にかかわる精神鑑定               | 平成22年3月～7月 | 宇都宮地方検察庁より嘱託      |
| (131) 殺人未遂被疑事件にかかわる精神鑑定              | 平成22年3月～6月 | 宇都宮地方検察庁より嘱託      |
| (132) 強盗致傷被疑事件にかかわる精神鑑定              | 平成22年3月～7月 | さいたま地方検察庁より嘱託     |
| 4 その他                                |            |                   |

研 究 業 績 等 に 関 する 事 項

| 著書、学術論文等の名称                                 | 単著<br>共著<br>の別 | 発行又は発表<br>の年月 | 発行所、発表雑誌等又は<br>発表学会等の名称    |
|---|----------------|---------------|----------------------------|
| (著書)  |                |               |                            |
| 1. 犯罪心理学を学ぶための精神鑑定事例集                       | 単              | 平成20年4月       | 青山社 (341頁)                 |
| 2. 医学書院 医学大辞典                               | 共              | 平成21年2月       | 医学書院                       |
| 3. 精神保健の基礎と実際                               | 共              | 平成22年2月       | 文化書房博文社                    |
| (学術論文)                                      |                |               |                            |
| 1. 特別在留許可および仮放免申請事件に係わる精神医学的意見についての一考察      | 単              | 平成19年12月      | 武蔵野大学心理臨床センター紀要7 (P3～P8)   |
| (その他)                                       |                |               |                            |
| 1. うつ病患者を支える方々へのメッセージ                       | 単              | 平成20年12月      | 武蔵野大学心理臨床センター紀要8 (P85～P87) |
| 2. 多文化共生社会の光と影—将来の日本社会を展望する                 | 単              | 平成20年3月       | 第15回多文化間精神医学会              |
| 3. HIV医療における派遣カウンセリング制度の有効利用についての試み—栃木方式の提案 | 共              | 平成20年11月      | 第22回日本エイズ学会                |
| 4. 日系ブラジル人とうつ病親和型性格                         | 共              | 平成21年2月       | 第28回日本社会精神医学会              |
| 5. 妄想ではないかと思われる相談を受けて困っている方々へのメッセージ         | 単              | 平成21年12月      | 武蔵野大学心理臨床センター紀要9 (P63～P65) |

- ・氏名（フリガナ）                    西本 照真 (ニシモト テルマ)
- ・所属／職名                         人間関係学部（人間関係学科）／教授
- ・学位（分野）／研究分野         文学士、文学修士、文学博士／哲学
- ・キーワード                         仏教学、中国哲学、インド哲学

| 職 歴                     |                                     |                    |
|-------------------------|-------------------------------------|--------------------|
| 年 月                     | 事 項                                 |                    |
| 平成17年4月                 | 武蔵野大学附属幼稚園園長（平成21年3月迄）              |                    |
| 平成21年4月                 | 武蔵野大学人間関係学部学部長（現在に至る）               |                    |
| 学会及び社会における活動等           |                                     |                    |
| 現在所属している学会              | 日本印度学仏教学会、日本宗教学会、国際真宗学会、東方学会、日本仏教学会 |                    |
| 年 月                     | 事 項                                 |                    |
| 平成1年4月                  | (学会活動)<br>日本印度学仏教学会会員（現在に至る）        |                    |
| 平成1年4月                  | 日本宗教学会会員（現在に至る）                     |                    |
| 平成5年8月                  | 国際真宗学会会員（現在に至る）                     |                    |
| 平成7年10月                 | 東方学会会員（現在に至る）                       |                    |
| 平成9年4月                  | 日本仏教学会会員（現在に至る）                     |                    |
| 平成15年9月                 | 日本宗教学会編集委員（平成21年9月迄）                |                    |
| 平成19年9月                 | 日本印度学仏教学会学術情報委員会運営委員（現在に至る）         |                    |
| 平成19年10月                | 日本印度学仏教学会企画編集委員会委員（現在に至る）           |                    |
|                         | (社会活動)                              |                    |
| 平成11年4月                 | 東京仏教学院講師（現在に至る）                     |                    |
| 平成18年4月                 | 社会福祉法人武蔵野千川福祉会評議員（平成21年3月迄）         |                    |
| 賞 罰                     |                                     |                    |
| 年 月                     | 事 項                                 |                    |
|                         | なし                                  |                    |
| 教 育 研 究 業 績 書           |                                     |                    |
| 教 育 上 の 能 力 に 関 す る 事 項 |                                     |                    |
| 事 項                     | 年 月 日                               | 概 要                |
| 1 教育方法の実践例              |                                     |                    |
| 2 作成した教科書、教材            |                                     |                    |
| (1) 『いのちは誰のものか』         | 平成19年4月                             | 武蔵野大学建学科目「仏教概説」教科書 |
| (2) 『「華嚴経」を読む①②』        | 平成19年7月                             | 武蔵野大学通信教育部テキスト     |
| 3 教育上の能力に関する大学等の評価      |                                     |                    |
| 4 実務の経験を有する者についての特記事項   |                                     |                    |
| 5 その他                   |                                     |                    |

| 職務上の能力に関する事項             |                |               |  |
|--------------------------|----------------|---------------|--|
| 事項                       | 年月日            | 概要            |  |
| 1 資格、免許                  |                |               |  |
| 2 特許等                    |                |               |  |
| 3 実務の経験を有する者についての特記事項    |                |               |  |
| 4 その他                    |                |               |  |
| 研究業績等に関する事項              |                |               |  |
| 著書、学術論文等の名称              | 単著<br>共著<br>の別 | 発行又は発表<br>の年月 | 発行所、発表雑誌等又は<br>発表学会等の名称                              |
| (著書)                     |                |               |  |
| 1. 『いのちは誰のものか』           | 共              | 平成19年4月       | 武蔵野大学出版会<br>(P43～P72)                                |
| 2. 『新国訳大蔵経浄土部 3』         | 共              | 平成19年9月       | 大蔵出版<br>(総頁数232頁中、P5～P111、<br>P153～P224を担当)          |
| 3. 『書学論文集』相川鐵崖古希記念       | 共              | 平成19年10月      | 木耳社<br>(P279～P286)                                   |
| 4. 「華嚴経」を読む              | 単              | 平成19年12月      | 角川学芸出版<br>(総頁数318頁)                                  |
| 5. 『宗教学文献事典』             | 共              | 平成19年12月      | 弘文堂<br>(総頁数557頁中、P284・P413<br>を担当)                   |
| 6. 仏教最前線の課題              | 共              | 平成21年1月       | 武蔵野大学出版会<br>(総頁数236頁中、P187～P202<br>を担当)              |
| 7. 敦煌・吐魯番出土漢文文書の新研究      | 共              | 平成21年3月       | 東洋文庫<br>(総頁数489頁中、P391～P403<br>を担当)                  |
| (学術論文)                   |                |               |  |
| (その他)                    |                |               |  |
| 1. 中国南北朝隋唐期における華北仏教石刻の諸相 | 共              | 平成21年3月       | 明治大学文学部アジア史専攻氣<br>賀澤研究室<br>(総頁数164頁中、P38～P49を<br>担当) |

- ・氏名（フリガナ） 橋本 修左（ハシモト シュウサ）
- ・所属／職名 人間関係学部（人間関係学科）／教授
- ・学位（分野）／研究分野 博士（医学）／応用人類学
- ・キーワード 生理人類学、人間工学、

| 職 歴                     |                                       |   |
|-------------------------|---------------------------------------|---|
| 年 月                     | 事 項                                   |   |
| 平成21年4月                 | 武蔵野大学人間関係学部人間関係学科長（現在に至る）             |   |
| 学会及び社会における活動等           |                                       |   |
| 現在所属している学会              | 日本建築学会、日本人間工学会、日本生理人類学会               |   |
| 年 月                     | 事 項                                   |   |
| 平成5年4月                  | 日本人間工学会評議委員（現在に至る）                    |   |
| 平成5年4月                  | 日本生理人類学会評議委員（現在に至る）                   |   |
| 平成10年4月                 | （社）新都市ハウジング協会都市居住環境研究会WG委員（現在に至る）     |   |
| 平成13年4月                 | 日本生理人類学会資格認定担当理事（現在に至る）               |   |
| 平成15年4月                 | 日本生理人類学会 editcrial board（現在に至る）       |   |
| 平成17年4月                 | 日本生理人類学会 生理人類士 資格認定委員会副委員長（平成21年3月まで） |   |
| 平成18年4月                 | 日本人間工学会関東支部委員（現在に至る）                  |   |
| 平成19年4月                 | 日本人類働態学会理事（現在に至る）                     |   |
| 平成21年4月                 | TBS TVショッピングアドバイザー（現在に至る）             |   |
| 平成21年4月                 | 日本生理人類学会 生理人類士 資格認定委員会委員長（現在に至る）      |   |
| 賞 罰                     |                                       |   |
| 年 月                     | 事 項                                   |   |
|                         | なし                                    |   |
| 教 育 研 究 業 績 書           |                                       |   |
| 教 育 上 の 能 力 に 関 す る 事 項 |                                       |   |
| 事 項                     | 年 月 日                                 | 概 要   |
| 1 教育方法の実践例              |                                       |   |
| (1) 双方向の授業              | 平成12年4月～<br>現在に至る                     | 講義終了時にアンケート・質問票を配布し、<br>次回講義の初めにコメントすることで双方向<br>の授業を実施している。 |
| (2) スライドによる講義           | 平成14年4月～<br>現在に至る                     | PCを使用したスライドによる講義を行い、<br>配布資料にも掲載して配布している。                   |
| (3) 実践的研究指導             | 平成12年4月～<br>現在に至る                     | 卒論・修論を企業からの委託研究と連携する<br>形で産学協同による実践的な研究指導を進め<br>ている。        |
| (4) 卒業研究の指導             | 平成14年4月～<br>現在に至る                     | 卒業研究をグループに分けて、各グループご<br>とに1コマを充ててきめ細かく研究指導して<br>いる。         |
| 2 作成した教科書、教材            |                                       |   |
| 3 教育上の能力に関する大学等の評価      |                                       |   |

| 事 項                                       | 年 月 日          | 概 要                         |                                  |
|---|----------------|-----------------------------|----------------------------------|
| 4 実務の経験を有する者についての特記事項                     |                |                             |                                  |
| 5 その他                                     |                |                             |                                  |
| (1)共同研究 西川産業(株)                           | 平成19年度         | 高濃度酸素付加が終夜の睡眠質に与える影響に関する研究  |                                  |
| (2)共同研究 西川産業(株)                           | 平成19年度         | 高濃度酸素付加が仮眠時の睡眠質に与える影響に関する研究 |                                  |
| (3)共同研究 カラーデザイン研究所                        | 平成20年度         | 音と色彩の感覚様相に関する研究             |                                  |
| (4)共同研究 (社)新都市ハウジング協会                     | 平成20年度         | 街のコモンスペースに関する研究             |                                  |
| (5)共同研究 西川産業(株)                           | 平成20年度         | 1/fゆらぎ特性音の入眠促進効果に関する研究      |                                  |
| (6)共同研究 西川産業(株)                           | 平成21年度         | 1/fゆらぎ特性音が仮眠に与える影響に関する研究    |                                  |
| (7)共同研究 (株)デラ                             | 平成21年度         | 仮眠時の睡眠質に与えるゆらぎ音の効果に関する研究    |                                  |
| 職 務 上 の 能 力 に 関 す る 事 項                   |                |                             |                                  |
| 事 項                                       | 年 月 日          | 概 要                         |                                  |
| 1 資格、免許                                   |                |                             |                                  |
| (1)生理人類士1級                                | 平成19年11月       | 日本生理人類学会 認定資格               |                                  |
| 2 特許等                                     |                |                             |                                  |
| 3 実務の経験を有する者についての特記事項                     |                |                             |                                  |
| 4 その他                                     |                |                             |                                  |
| 研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項                     |                |                             |                                  |
| 著書、学術論文等の名称                               | 単著<br>共著<br>の別 | 発行又は発表<br>の年月               | 発行所、発表雑誌等又は<br>発表学会等の名称          |
| (著書)                                      |                |                             |                                  |
| 1. 建築製図                                   | 共              | 平成20年4月                     | 朝倉書店<br>(P24 コラム)                |
| (学術論文)                                    |                |                             |                                  |
| 1. 居住者によるパタンランゲージを用いた『歩きたくなる生活環境』の調査      | 共              | 平成19年8月                     | 日本建築学会大会(九州)学術講演梗概集<br>p905～p906 |
| 2. 「歩きたくなる生活環境」の評価方法に関する研究まちの魅力の多様性に関する分析 | 共              | 平成19年8月                     | 日本建築学会大会(九州)学術講演梗概集<br>p907～p908 |

| 著書、学術論文等の名称                                | 単著<br>共著<br>の別 | 発行又は発表<br>の年月 | 発行所、発表雑誌等又は<br>発表学会等の名称   |
|--|----------------|---------------|---|
| 3. キッチン空間における主婦の働態調査                       | 共              | 平成19年11月      | 人類働態学会会報 第36回第東<br>日本地方会<br>I-2 , p19, 人類働態学会 会報<br>No. 87 Nov. 16, 2007  |
| 4. 住宅におけるキッチン設備機器の評価に関する研究 -消費者の視点からの評価構造- | 共              | 平成19年11月      | 人類働態学会会報 第36回第東<br>日本地方会<br>II-3 , p25, 人類働態学会 会報<br>No. 87 Nov. 16, 2007 |
| 5. 住宅（LDK）における中・高生の家族間コミュニケーションの実態調査       | 共              | 平成19年11月      | 人類働態学会会報 第36回第東<br>日本地方会<br>II-4 , p26, 人類働態学会 会報<br>No. 87 Nov. 16, 2007 |
| 6. 仮眠時の高濃度酸素吸入が睡眠質に与える影響                   | 共              | 平成19年11月      | 人類働態学会会報 第36回第東<br>日本地方会<br>IV-1 , p31, 人類働態学会 会報<br>No. 87 Nov. 16, 2007 |
| 7. 仮眠時の高濃度酸素吸入が体温に与える影響                    | 共              | 平成19年11月      | 人類働態学会会報 第36回第東<br>日本地方会<br>IV-2 , p32, 人類働態学会 会報<br>No. 87 Nov. 16, 2007 |
| 8. ストループ課題を利用した注意力に関する一考察                  | 共              | 平成19年11月      | 人類働態学会会報 第36回第東<br>日本地方会<br>IV-5 , p35, 人類働態学会 会報<br>No. 87 Nov. 16, 2007 |
| 9. 居住者の街環境評価に関する研究 -評価対象のスケールが及ぼす影響について-   | 共              | 平成19年11月      | 人類働態学会会報 第36回第東<br>日本地方会<br>II-2 , p24, 人類働態学会 会報<br>No. 87 Nov. 16, 2007 |
| 10. 都心の再開発地区におけるコモンスペースの調査                 | 共              | 平成19年11月      | 人類働態学会会報 第36回第東<br>日本地方会<br>II-1 , p23, 人類働態学会 会報<br>No. 87 Nov. 16, 2007 |
| 11. 仮眠時の高濃度酸素吸入が睡眠質に与える影響                  | 共              | 平成19年12月      | 第25回睡眠環境シンポジウム・<br>第16回日本睡眠環境学会<br>(P16~P18)                              |

| 著書、学術論文等の名称   | 単著<br>共著<br>の別 | 発行又は発表<br>の年月 | 発行所、発表雑誌等又は<br>発表学会等の名称   |
|---|----------------|---------------|---|
| 12. パーソナリティーと人の注意に関する一考察  | 共              | 平成20年11月      | 人類働態学会第37回東日本地方<br>会<br>II-1 , P15, 人類働態学会 会報<br>No. 89 Nov. 13 2008    |
| 13. ライフスタイルを反映した画像刺激がP300に<br>及ぼす影響                             | 共              | 平成20年11月      | 人類働態学会第37回東日本地方<br>会<br>II-2 , P16, 人類働態学会 会報<br>No. 89 Nov. 13 2008    |
| 14. 住宅LDKにおける親子間コミュニケーションの<br>実態調査 一 家族関係における親子間の認識差<br>に関する検討一 | 共              | 平成20年11月      | 人類働態学会第38回東日本地方<br>会<br>II-3 , P17, 人類働態学会 会報<br>No. 89 Nov. 13 2008    |
| 15. 都心部のコモンスペースの利用実態一公園に<br>おける動態観測とアンケート調査一                    | 共              | 平成20年11月      | 人類働態学会第37回東日本地方<br>会<br>II-4 , P18, 人類働態学会 会報<br>No. 89 Nov. 13 2008    |
| 16. 音と色彩の感覚様相に関する研究   | 共              | 平成20年11月      | 人類働態学会第37回東日本地方<br>会<br>III-1 , P21, 人類働態学会 会報<br>No. 89 Nov. 13 2008   |
| 17. 音環境が入眠促進に及ぼす影響  | 共              | 平成20年11月      | 人類働態学会第37回東日本地方<br>会<br>III-4 , P231, 人類働態学会 会<br>報 No. 89 Nov. 13 2008 |
| 18. マスキング音を用いた学生ホールの音環境改<br>善の検討                                | 共              | 平成20年11月      | 人類働態学会第37回東日本地方<br>会<br>III-5, P24, 人類働態学会 会報<br>No. 89 Nov. 13 2008    |
| 19. 音環境が仮眠に及ぼす影響  | 共              | 平成20年12月      | 第27回睡眠環境シンポジウム  |
| 20. マスキング音とテーブル配置の違いが学生<br>ホールの印象評価に及ぼす影響                       | 共              | 平成21年11月      | 人類働態学会第38回東日本地方<br>会<br>II-1 , P14, 人類働態学会 会報<br>No. 91 Nov. 16 2009    |
| 21. ゆらぎ音が仮眠時の入眠に及ぼす影響   | 共              | 平成21年11月      | 人類働態学会第38回東日本地方<br>会<br>II-2 , P24, 人類働態学会 会報<br>No. 89 Nov. 13 2008    |
| 22. 仮眠と生活習慣に関する実態調査   | 共              | 平成21年11月      | 人類働態学会第38回東日本地方<br>会<br>II-3 p16, 人類働態学会 会報<br>No. 91 Nov. 16 2009      |
| 23. 中学生(青年期)の家族コミュニケーションと<br>性差に関する研究                           | 共              | 平成21年11月      | 人類働態学会第38回東日本地方<br>会<br>III-1 p18人類働態学会 会報<br>No. 91 Nov. 16 2009       |

| 著書、学術論文等の名称                                   | 単著<br>共著<br>の別 | 発行又は発表<br>の年月 | 発行所、発表雑誌等又は<br>発表学会等の名称                                     |
|---|----------------|---------------|---|
| 24. 住宅LDKにおける親子間コミュニケーションの実態調－高校生の中日比較に関する研究－ | 共              | 平成21年11月      | 人類働態学会第38回東日本地方会<br>Ⅲ-2 p19人類働態学会 会報<br>No. 91 Nov. 16 2009 |
| 25. 家族に対する感情が注意力に及ぼす影響                        | 共              | 平成21年11月      | 人類働態学会第38回東日本地方会<br>Ⅲ-3 p20人類働態学会 会報<br>No. 91 Nov. 16 2009 |
| 26. 注意配分における個体差要因の考察                          | 共              | 平成21年11月      | 人類働態学会第38回東日本地方会<br>Ⅲ-4 p21人類働態学会 会報<br>No. 91 Nov. 16 2009 |
| 27. 音環境が仮眠時の入眠に及ぼす影響に関する研究                    | 共              | 平成21年11月      | 日本睡眠環境学会雑誌<br>Vol. 7, No. 1, p10-14                         |
| 28. 書字の姿勢と筆記具の持ち方に関する基礎的研究                    | 共              | 平成21年         | 全国書写書道教育研究<br>vol. 24, p73-p82                              |
| (その他)   |                |               |   |
| 1. 西川産業(株)ドクターセラ商品 推薦文                        | 単              | 平成20年1月       |   |
| 2. 睡眠コンサルタント要請講座 スリープマスター                     | 単              | 平成20年4月       | 日本睡眠科学研究所   |
| 3. 睡眠コンサルタント要請講座 スリープマスター                     | 単              | 平成20年10月      | 日本睡眠科学研究所   |
| 4. 睡眠コンサルタント要請講座 スリープマスター                     | 単              | 平成21年4月       | 日本睡眠科学研究所   |
| 5. 睡眠コンサルタント要請講座 スリープマスター                     | 単              | 平成21年10月      | 日本睡眠科学研究所   |

- ・氏名（フリガナ） 藤森 和美（フジモリ カズミ）
- ・所属／職名 人間関係学部（人間関係学科）／教授
- ・学位（分野）／研究分野 博士（人間科学）／臨床心理学
- ・キーワード ト라우マ、危機介入、学校安全

| 職 歴                     |   |   |
|-------------------------|---|---|
| 年 月                     | 事 項   |   |
| 平成8年4月                  | 横浜家庭裁判所 家事調停委員（現在に至る）                       |   |
| 平成13年12月                | 横浜家庭裁判所 参与員（現在に至る）                          |   |
| 学会及び社会における活動等           |   |   |
| 現在所属している学会              | 日本心理臨床学会、日本福祉文化学会、日本応用心理学会、日本トラウマティックストレス学会 |   |
| 年 月                     | 事 項   |   |
| 昭和56年                   | （学会活動）<br>日本心理臨床学会会員（現在に至る）                 |   |
| 平成8年                    | 日本福祉文化学会会員（現在に至る）                           |   |
| 平成10年                   | 日本応用心理学会会員（現在に至る）                           |   |
| 平成12年                   | 日本トラウマティックストレス学会会員（現在に至る）                   |   |
| 平成18年4月                 | 日本トラウマティックストレス学会・副会長（平成22年3月）               |   |
| 平成20年4月                 | 日本心理臨床学会 広報編集委員（平成22年3月）                    |   |
|                         | （社会における活動）                                  |   |
| 平成12年                   | 厚生労働省（脳死下での臓器移植提供事例に係わる検証会議）委員（現在に至る）       |   |
| 平成15年                   | 横浜市教育委員会スクールスーパーバイザー（現在に至る）                 |   |
| 平成17年                   | 横浜市教育委員会カウンセラーアドバイザー（現在に至る）                 |   |
| 平成17年                   | 横浜市教育委員会いじめ問題等解決委員会委員（現在に至る）                |   |
| 平成21年                   | 横浜市教育委員会学校課題解決支援チーム 専門家（現在に至る）              |   |
| 平成21年3月                 | 内閣府（中央交通安全対策会議専門委員）（現在に至る）                  |   |
| 賞 罰                     |   |   |
| 年 月                     | 事 項   |   |
| 平成20年9月                 | 東京高等裁判所長官より家事調停委員としての功績により表彰される             |   |
| 教 育 研 究 業 績 書           |   |   |
| 教 育 上 の 能 力 に 関 す る 事 項 |   |   |
| 事 項                     | 年 月 日                                       | 概 要   |
| 1 教育方法の実践例              |   |   |
| 2 作成した教科書、教材            |   |   |
| (1)「臨床心理学」藤森和美著DTP出版    | 平成19年                                       | 各種心理療法の理論や技法について記述し、臨床心理学的な視座から面接を行うための基礎的な知識を記載した。 |
| (2)「発達心理学1」藤森和美著 DTP出版  | 平成19年                                       | 乳幼児期から児童期までの発達段階の特徴と、発達課題について記載した。                  |

| 事 項  | 年 月 日    | 概 要  |                         |
|--|----------|--|-------------------------|
| (3)「発達心理学2」藤森和美編 DTP出版   | 平成19年    | 青年期から老年期までの発達段階の特徴と、胎児期から死に到るまでのさまざまな問題や障害について記載した。  |                         |
| (4)「人格心理学」藤森和美編 DTP出版  | 平成19年    | 人格の諸理論と人格理解の方法論について記述し、心理臨床の場面での人格理解の基礎が深まることを目的とした。 |                         |
| 3 教育上の能力に関する大学等の評価   |          |  |                         |
| 4 実務の経験を有する者についての特記事項  |          |  |                         |
| 5 その他  |          |  |                         |
| 職 務 上 の 能 力 に 関 す る 事 項  |          |  |                         |
| 事 項  | 年 月 日    | 概 要  |                         |
| 1 資格、免許  |          |  |                         |
| 2 特許等  |          |  |                         |
| 3 実務の経験を有する者についての特記事項  |          |  |                         |
| 4 その他  |          |  |                         |
| 1. 発達心理学1  |          |  |                         |
| 研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項  |          |  |                         |
| 著書、学術論文等の名称  | 単著       | 発行又は発表<br>の年月  | 発行所、発表雑誌等又は<br>発表学会等の名称 |
|  | 共著<br>の別 |  |                         |
| (著書)   |          |  |                         |
| 1. 臨床心理学   | 単        | 平成19年4月  | DTP出版                   |
| 2. 発達心理学1  | 単        | 平成19年4月  | DTP出版                   |
| 3. 発達心理学2  | 編        | 平成19年9月  | DTP出版                   |
| 4. 人格心理学   | 編        | 平成19年9月  | DTP出版                   |
| 5. 新編学校の危機管理読本 渡邊正樹編集<br>5章 - 5 子どもの心のケア                           | 共        | 平成22年1月  | 教育開発研究所 (P134-138)      |
| 6. 新編学校の危機管理読本 渡邊正樹編集<br>5章 - 3 学校危機対応システムとクライシス<br>レスポンスチーム (CRT) | 共        | 平成20年1月  | 教育開発研究所 (P199-202)      |
| 7. 学校安全と子どもの心の危機管理—教師、保<br>護者、スクールカウンセラー、養護教諭、指導<br>主事のために—        | 編        | 平成21年2月  | 誠信書房 B5判・142頁           |
| 8. 保健室は震災救護センター 第3章子どもの<br>心のケア                                    | 編        | 平成21年7月  | 少年写真新聞社 (P35-45)        |
| 9. こころを包む  | 寄稿       | 平成21年  | 株式会社スタイルノート             |

| 著書、学術論文等の名称                                      | 単著<br>共著<br>の別 | 発行又は発表<br>の年月 | 発行所、発表雑誌等又は<br>発表学会等の名称                   |
|--|----------------|---------------|---|
| 10. 学校の事件・事故の緊急支援 その課題の最前線                       |                | 平成21年         | 第2899号                                    |
| 11. 危機への心理支援学 - 91のキーワードでわかる緊急事態における心理社会的アプローチ - | 共              | 平成22年 6 月     | 遠見書房 (P81)                                |
| (学術論文)   |                |               |   |
| 1. 「事件・事故などの被害を受けた児童・生徒の心のケア―学校教職員のためのハンドブック―」   | 単              | 平成19年         | 武蔵野大学心理臨床センター紀要2007 (第7号) (P63-76)        |
| 2. 「学校現場における緊急支援活動―事件；事故後の心理的サポートのシステムと連携―」      | 単              | 平成20年         | 日本精神科病院協会雑誌 (Vol. 7. No. 7) (P45-52)      |
| 3. 学校管理下で生徒が亡くなる困難事例への緊急支援について―「場のケア」の問題と課題―     | 単              | 平成20年         | 武蔵野大学心理臨床センター紀要2008 (第8号)                 |
| 4. 子どものストレス対応法 乗り越える力を身につけるには                    | 単              | 平成20年         | 月刊子どもを学ぶ ベネッセ 3. 4歳児コース用 6月号              |
| 5. 「いじめのトラウマから抜け出せない子」                           | 単              | 平成21年         | 児童心理2009 (No. 898) 7月号                    |
| 6. 第8回トラウマティック・ストレス学会」                           |                | 平成21年         | 精神療法2009 (vol. 35 no. 5)                  |
| 7. 事件・事故にあった子どもの心のトラウマと心のケア」                     |                | 平成21年         | 教育相談2009 平成20年度研究集録 第34号 岐阜県高等学校教育相談研究協議会 |
| 8. 最新 学校保健安全ハンドブック 学校保健・学校安全・学校給食の管理・運営          | 共              | 平成21年         | 教育開発研究所 (P148-150)                        |
| 9. 中国四川省における四川大震災の被災者に対する心理社会的ケアワークショップの実践       | 共              | 平成21年         | 武蔵野大学心理臨床センター紀要 2009年第9号 (P1-13)          |
| 10. 災害を体験した子どもたち―危機介入ハンドブック― (中国語版)              | 共              | 平成21年         | 武蔵野大学心理臨床センター紀要2009年第9号 (P14-31)          |
| 11. (書評) 「犯罪・災害被害遺族への心理的援助 - 暴力死についての修復的語り直し」    | 単              | 平成21年         | 精神療法2009. Vol. 35、No2 (p261-262)          |
| 12. (冊子掲載) 子どものストレス対応法                           | 単              | 平成21年 6 月     | ベネッセこどもちゃれんじ                              |
| 13. 週刊 教育資料                                      | 単              | 平成22年 1 月     | 日本教育新聞社                                   |
| (その他)  |                |               |   |
| <その他>  |                |               |   |
| 1. (口頭発表) 学校危機へのクライシスレスポンスチームの取り組み～計画の立て方と実践～    |                | 平成19年         | 神奈川県臨床心理士会研修会 (P2-7)                      |
| 2. (ポスター発表) 「児童・生徒が性暴力被害に遭った際のスクールカウンセラーの介入と対応」  | 共              | 平成20年 3 月     | 第7回トラウマティック・ストレス学会                        |
| 3. (口頭発表) 「学校の事件、事故への緊急支援 その最前線と課題」              |                | 平成21年 9 月     | 日本安全教育学会 第10回記念大会                         |
| <報告書>  |                |               |   |

| 著書、学術論文等の名称   | 単著<br>共著<br>の別 | 発行又は発表<br>の年月           | 発行所、発表雑誌等又は<br>発表学会等の名称      |
|---|----------------|-------------------------|------------------------------|
| 1. (新聞インタビュー)「学校安全と子どもの<br>危機管理」<br>2. ジャパン・プラットフォーム 中国四川地震<br>被災者支援報告書 |                | 平成21年3月<br><br>平成21年11月 | 教育医事新聞社<br><br>ジャパン・プラットフォーム |

- ・氏名（フリガナ） 岩本 操（イワモト ミサオ）
- ・所属／職名 人間関係学部（人間関係学科）／准教授
- ・学位（分野）／研究分野 社会学士、社会学修士／社会学、社会福祉学
- ・キーワード ソーシャルワーク、精神保健福祉、保健医療福祉

| 職 歴           |   |
|---------------|---|
| 年 月           | 事 項   |
| 平成10年4月       | 立教大学社会福祉研究所 所員（現在に至る）   |
| 平成15年4月       | 新潟福祉医療専門学校非常勤講師（社会福祉援助技術演習Ⅰ）（平成20年3月迄）  |
| 平成18年4月       | 北里大学看護学部 非常勤講師（平成21年3月迄）  |
| 平成21年4月       | 武蔵野大学人間関係学部人間関係学科 准教授（昇任）（現在に至る）  |
| 平成21年4月       | 日本福祉医療専門学校非常勤講師（相談援助演習）（現在に至る）  |
| 学会及び社会における活動等 |   |
| 現在所属している学会    | 日本社会福祉学会、日本保健医療社会学会、日本老年社会学会、日本精神神経学会、日本医療社会福祉学会、日本精神障害リハビリテーション学会、日本精神保健福祉士協会、日本社会福祉士会、多文化間精神医学会 |
| 年 月           | 事 項   |
|               | （学会活動）  |
| 平成5年4月        | 日本精神神経学会 会員（現在に至る）  |
| 平成7年4月        | 日本医療社会福祉学会 会員（現在に至る）  |
| 平成12年4月       | 社団法人日本精神保健福祉士協会 会員（現在に至る）   |
| 平成15年4月       | 日本介護福祉学会 会員（平成20年3月迄）   |
| 平成16年4月       | 日本社会福祉学会 会員（現在に至る）  |
| 平成16年4月       | 日本老年社会学会 会員（現在に至る）  |
| 平成17年4月       | 日本社会福祉士会 会員（現在に至る）  |
| 平成17年4月       | 東京精神保健福祉士協会 会員（現在に至る）   |
| 平成18年4月       | 東京精神保健福祉士協会 理事（現在に至る）   |
| 平成18年4月       | 日本保健医療社会学会 会員（現在に至る）  |
| 平成20年1月       | 日本精神障害リハビリテーション学会 東京大会実行委員（平成21年1月迄）  |
| 平成20年5月       | 日本精神障害リハビリテーション学会 会員（現在に至る）   |
| 平成20年11月      | 社団法人日本精神保健福祉士協会 代議員（現在に至る）  |
| 平成21年6月       | 社団法人日本精神保健福祉士協会 業務指針作成委員会委員（平成22年3月迄）   |
| 平成21年10月      | 多文化間精神医学会 会員（現在に至る）   |
|               | （社会における活動）  |
| 平成13年8月       | 東京都社会福祉協議会老人福祉部会職員研修委員会 研修講師（現在に至る）   |
| 平成18年4月       | NPO法人MEW苦情対応第三者委員（現在に至る）  |
| 平成18年4月       | 日本精神保健福祉士養成校協会 広報委員（現在に至る）  |
| 平成19年4月       | 日本精神保健福祉士養成校協会 関東・信越ブロック研修会幹事（平成21年3月迄）   |
| 平成20年6月       | 武蔵野市健康福祉総合計画策定委員 障害福祉部会副部長（平成21年3月迄）  |
| 平成20年11月      | 社会福祉法人らっく 監事（現在に至る）   |
| 平成21年4月       | 武蔵野市健康福祉総合計画推進委員（現在に至る）   |
| 平成21年4月       | 武蔵野市地域自立支援協議会 会長（現在に至る）   |

| 学会及び社会における活動等                    |                                    |  |
|----------------------------------|------------------------------------|--|
| 年 月                              | 事 項                                |  |
| 平成21年 4月                         | 杉並区障害程度区分認定審査会 委員 (現在に至る)          |  |
| 賞 罰                              |                                    |  |
| 年 月                              | 事 項                                |  |
|                                  | なし                                 |  |
| 教 育 研 究 業 績 書                    |                                    |  |
| 教 育 上 の 能 力 に 関 す る 事 項          |                                    |  |
| 事 項                              | 年 月 日                              | 概 要  |
| 1 教育方法の実践例                       |                                    |  |
| (1) 武蔵野大学における精神保健福祉援助実習教育システムの構築 | 平成16年度～                            | 精神保健福祉士法に基づく精神保健福祉援助実習開講のための授業内容の策定、事前学習法の試行と修正、現場実習機関の開拓、実習指導者との連携・協働、事後指導法の施行と修正を重ね、精神保健福祉士を目指す学生の教育基盤作りと教育指導の充実を図っている。  |
| (2) 精神保健福祉実践現場理解の導入教育            | 平成17年度、平成18年度、平成19年度、平成20年度、平成21年度 | 精神保健福祉教育及び精神保健福祉援助実習の導入教育として、精神保健福祉現場（精神科病院、施設、精神保健福祉行政機関）への見学、体験プログラムを企画・実施している。  |
| (3) 精神保健福祉援助実習 実習報告会の開催          | 平成17年度、平成18年度、平成19年度、平成20年度、平成21年度 | 精神保健福祉援助実習の総括として、実習報告会を開催している。実習生は個別で実習での学びや考察をプレゼンテーションし、次年度実習予定学生を交えて聴講、ディスカッションを行う。精神保健福祉科目担当者（非常勤含む）も参加し、講評を得る。  |
| (4) 精神保健福祉士国家試験対策指導              | 平成17年度、平成18年度、平成19年度、平成20年度、平成21年度 | 規定の科目とは別立てで、精神保健福祉士国家試験対策の学習会を設置している。主に専門科目についてTAと共同して、過去問題の解答及び解説を行い、必要な指導を行っている。また学内で模擬試験を行い受験に必要なスキルを身につけられるようなプログラムを設定している。共通科目については東京アカデミーの協力を得て、講座を開講している。 |
| (5) 精神保健福祉ボランティア活動の導入            | 平成18年度、平成19年度、平成20年度、平成21年度        | 精神保健福祉教育の一環として、また地域活動への参画・貢献として、精神保健福祉を学ぶ学生に対して精神保健福祉ボランティア活動の紹介、支援、を行っている。学生が活動内容の記述を通して精神保健福祉活動の理解を深めており、地域から学生ボランティアの期待も年々高まっており、地域と協働した教育の基盤作りにつながっている。      |

| 事 項   | 年 月 日   | 概 要  |
|---|---|--|
| <p>2 作成した教科書, 教材</p> <p>(1) 精神保健福祉援助実習「実習記録ノート」</p> <p>(2) 精神保健福祉援助実習報告集の作成指導・編集</p>  | <p>平成16年度、平成17年度以降毎年改定</p> <p>平成16年度、平成17年度、平成19年度、平成20年度、平成21年度</p>                        | <p>精神保健福祉援助実習における実習記録ノートを企画・編集した。実習計画書や日誌記録、プロセスレコード等ワークシートの作成及び実習の心構えを執筆した。実習授業で実際に活用し、学生の学習状況や実習先の意見等を参考にして、毎年改定を加えている。</p> <p>4年次で行う精神保健福祉援助実習の学習成果を報告集としてまとめ、発行している。実習した学生が作成する報告書の指導及び編集を行い、実習生には実習成果とし、下級生には実習に向けての教材として活用している。また関連機関等に配布し、本学実習教育の理解と協力につなげている。</p>  |
| 3 教育上の能力に関する大学等の評価  |   |  |
| <p>4 実務の経験を有する者についての特記事項</p> <p>(1) 平成19年度 東京都社会福祉協議会高齢者福祉部会職員研修委員会「高齢者施設におけるサービスマナーリーダー養成研修」導入研修 講師</p> <p>(2) 社会福祉法人正吉福祉会 特別養護老人ホームいなぎ正吉苑 職員研修 講師</p> <p>(3) 平成19年度 東京都社会福祉協議会高齢者福祉部会職員研修委員会「高齢者施設におけるサービスマナーリーダー養成研修」第1回 講師</p> <p>(4) 平成19年度 東京都社会福祉協議会高齢者福祉部会職員研修委員会「高齢者施設におけるサービスマナーリーダー養成研修」第2回 講師</p> <p>(5) 平成19年度 東京都社会福祉協議会高齢者福祉部会職員研修委員会「高齢者施設におけるサービスマナーリーダー養成研修」フォローアップ研修 講師</p> <p>(6) 社会福祉法人東京蒼生会 母子生活支援施設 足立区あすなろ大谷田 職員研修 講師</p> | <p>平成19年8月</p> <p>平成19年8月</p> <p>平成19年10月</p> <p>平成19年12月</p> <p>平成20年2月</p> <p>平成20年3月</p> | <p>高齢者福祉施設の施設長と管理職を対象に、福祉施設の理念・価値とサービスマナーの必要性とマナー向上の方法として援助的コミュニケーション理論・技術を講義し、また施設におけるコミュニケーション技術習得のための学習法を紹介した。</p> <p>高齢者福祉施設の職員のサービスマナー向上を目的に、社会福祉理念とサービスマナーの関係、利用者理解の視点、援助的コミュニケーション技術、及び組織化に向けての働きかけ等について、講義した。</p> <p>導入研修受講者を対象に、施設にて対応が難しい場面における対処法の選定を「問題解決技能訓練法」「ブレインストーミング法」を用いて講義・演習を行い、援助者のストレスマネジメントの実際を教示した。</p> <p>第1回の研修内容を踏まえ、福祉施設内におけるサービスマナー向上を目的とした研修計画の作成及びマネジメントの実際について講義と演習を通して教示した。</p> <p>参加施設の実践報告の総括および課題を提示し、代表施設の紹介とそれぞれの実践内容の特徴及び課題を整理した。グループディスカッションを設定しファシリテート・まとめを行った。</p> <p>母子生活支援施設の職員を対象に、施設利用者とのかかわりのポイント、コミュニケーションの留意点及びコミュニケーションスキルについて教示した。</p> |

| 事 項  | 年 月 日           | 概 要  |
|--|-----------------|--|
| (7) 日本精神保健福祉士養成校協会・関東信越ブロック研修会 「実習教育の“核”とは～何を伝えたいのか～」シンポジスト          | 平成20年3月         | 精神保健福祉士の実践内容が多岐にわたる中、実習指導の中で何を“核”として取り上げたら良いのか、また様々な実習体験がある中で“最も伝えたいことは何か”について、教育機関の立場から発題した。                  |
| (8) 社会福祉法人多摩療育園 職員研修 講師  | 平成20年7月9日、7月28日 | 高齢者福祉施設の職員のサービスマナー向上を目的に、社会福祉理念とサービスマナーの関係、利用者理解の視点、援助的コミュニケーション技術、及び組織化に向けての働きかけ等について、講義した。                   |
| (9) 平成20年度 東京都社会福祉協議会高齢者福祉部会職員研修委員会「高齢者施設におけるサービスマナーリーダー養成研修」導入研修 講師 | 平成20年7月         | 高齢者福祉施設の施設長と管理職を対象に、福祉施設の理念・価値とサービスマナーの必要性とマナー向上の方法として援助的コミュニケーション理論・技術を講義し、また施設におけるコミュニケーション技術習得のための学習法を紹介した。 |
| (10) 社会福祉法人聖風会グリーンハイム荒川職員研修 講師                                       | 平成20年7月         | 高齢者福祉施設の施設長と管理職を対象に、福祉施設の理念・価値とサービスマナーの必要性とマナー向上の方法として援助的コミュニケーション理論・技術を講義し、また施設におけるコミュニケーション技術習得のための学習法を紹介した。 |
| (11) 平成20年度 東京都社会福祉協議会高齢者福祉部会職員研修委員会「高齢者施設におけるサービスマナーリーダー養成研修」第1回 講師 | 平成20年8月         | 高齢者施設にて対応が難しい場面における対処法の選定を「問題解決技能訓練法」「ブレインストーミング法」を用いて講義・演習を行い、援助者のストレスマネジメントの実際を教示した。                         |
| (12) 茅ヶ崎保健福祉事務所精神障害者家族教室 講師「統合失調症を理解する一病気と家族の思いについて」                 | 平成20年9月         | 精神障害のある人の家族に対して、家族の抱える思いや葛藤、当事者への対応のポイントなどを演習形式で確認・整理した。   |
| (13) 平成20年度 東京都社会福祉協議会高齢者福祉部会職員研修委員会「高齢者施設におけるサービスマナーリーダー養成研修」第2回 講師 | 平成20年9月         | 福祉施設内におけるサービスマナー向上を目的とした研修計画の作成及びマネジメントの実際について講義と演習を通して教示した。   |
| (14) 平成20年度 東京都社会福祉協議会高齢者福祉部会職員研修委員会「高齢者施設におけるサービスマナーリーダー養成研修」第3回 講師 | 平成20年10月        | 福祉施設におけるサービスマナー管理及び質向上のための事業計画・研修計画作成のシュミレーション演習を行い、作成の留意点・ポイントを教示した。  |
| (15) 社会福祉法人北野会 マイライフ徳丸職員研修 講師  | 平成20年10月        | 高齢者福祉施設の施設長と管理職を対象に、福祉施設の理念・価値とサービスマナーの必要性とマナー向上の方法として援助的コミュニケーション理論・技術を講義した。                                  |
| (16) 武蔵野市精神障害者ホームヘルパー養成研修 講師「精神障害者と人権」                               | 平成20年11月        | 精神障害を取り巻く人権問題及びその取り組みを整理し、実際に当事者にかかわる支援者の人権感覚、実践上のチェックポイントを教示した。   |

| 事 項  | 年 月 日    | 概 要  |
|--|----------|--|
| (17) 武蔵野市精神障害者ホームヘルプ研修<br>講師「精神障害の理解と対応」                                       | 平成20年12月 | ホームヘルプサービスの支援者に対して、精神障害の基本的理解と対応のポイント、留意点を教示した。  |
| (18) 平成20年度 東京都社会福祉協議会高齢者福祉部会職員研修委員会「高齢者施設におけるサービスマナーリーダー養成研修」<br>フォローアップ研修 講師 | 平成21年1月  | 参加施設の実践報告の総括および課題を提示し、代表施設の紹介とそれぞれの実践内容の特徴及び課題を整理した。グループディスカッションを設定しファシリテート・まとめを行った。                           |
| (19) 日本精神保健福祉士協会東京都支部主催「基幹研修Ⅰ」講師 「実践論」   | 平成21年2月  | 精神保健福祉士有資格者を対象とした初級研修。「実践論」として基本的なコミュニケーション技術、面接技術を教示した。   |
| (20) 社会福祉法人多摩療育園 精華寮 職員研修 講師   | 平成21年3月  | 障害者施設の職員に対して、施設の理念に基づく利用者対応の基本をコミュニケーション技術及びストレスマネジメントの手法を通して教示した。   |
| (21) 社会福祉法人多摩療育園 新入職員研修講師  | 平成21年3月  | 法人内各施設（保育所、高齢者施設、障害者施設等）に入職する職員を対象に、利用者への対応の基本、施設理念の具体的表現としてのコミュニケーション技術を教示した。                                 |
| (22) 平成21年度 東京都社会福祉協議会高齢者福祉部会職員研修委員会「高齢者施設におけるサービスマナーリーダー養成研修」<br>第1回 講師       | 平成21年6月  | 高齢者福祉施設の施設長と管理職を対象に、福祉施設の理念・価値とサービスマナーの必要性とマナー向上の方法として援助的コミュニケーション理論・技術を講義し、また施設におけるコミュニケーション技術習得のための学習法を紹介した。 |
| (23) 平成21年度 東京都社会福祉協議会高齢者福祉部会職員研修委員会「高齢者施設におけるサービスマナーリーダー養成研修」<br>第2回 講師       | 平成21年7月  | 高齢者施設にて対応が難しい場面における対処法の選定を「問題解決技能訓練法」「ブレーンストーミング法」を用いて講義・演習を行い、援助者のストレスマネジメントの実際を教示した。                         |
| (24) 平成21年度 東京都社会福祉協議会高齢者福祉部会職員研修委員会「高齢者施設におけるサービスマナーリーダー養成研修」<br>第3回 講師       | 平成21年8月  | 高齢者福祉施設におけるサービスマナーの向上及びサービスの質の管理のために、施設の実情の評価、問題点の抽出と分類、施設の実情に応じた目標設定の一連のプロセスを講義と演習を交えて教示した。                   |
| (25) 医療法人社団一陽会陽和病院職員研修講師「医療従事者としてのコミュニケーション」                                   | 平成21年8月  | 病院職員として、病院理念にある人権尊重の具体化を目指すために必要なコミュニケーションスキルの確認と接遇向上のための組織的対応について教示した。  |
| (26) 茅ヶ崎保健福祉事務所精神障害者家族教室 講師「統合失調症を理解する一病気と家族の思いについて」                           | 平成21年9月  | 精神障害のある人の家族に対して、家族の抱える思いや葛藤、当事者への対応のポイントなどを演習形式で確認・整理した。   |
| (27) 武蔵野市精神障害者ホームヘルパー養成研修 講師「精神障害の福祉制度・社会資源」                                   | 平成21年10月 | 精神保健福祉施策の歴史的変遷を概観し、障害者自立支援法の概要とサービス体系、利用手続きに関する知識の教示、更に現行制度の課題を提示した。   |

| 事 項   | 年 月 日                       | 概 要  |
|---|-----------------------------|--|
| (28)平成21年度 東京都社会福祉協議会高齢者福祉部会職員研修委員会「高齢者施設におけるサービスマナーリーダー養成研修」第3回 講師           | 平成21年10月                    | 福祉施設におけるサービスマナー管理及び質向上のための事業計画・研修計画作成のシュミレーション演習を行い、作成の留意点・ポイントを教示した。                |
| (29)平成20年度 東京都社会福祉協議会高齢者福祉部会職員研修委員会「高齢者施設におけるサービスマナーリーダー養成研修」フォローアップ研修 講師     | 平成22年1月                     | 参加施設の実践報告の総括および課題を提示し、代表施設の紹介とそれぞれの実践内容の特徴及び課題を整理した。グループディスカッションを設定しファシリテート・まとめを行った。 |
| (30)日本精神保健福祉士協会東京都支部主催「基幹研修Ⅰ」講師 「実践論」   | 平成22年1月                     | 精神保健福祉士有資格者を対象とした初級研修。「実践論」として基本的なコミュニケーション技術、面接技術を教示した。                             |
| (31)社会福祉法人 ほほえみの里 職員研修講師「福祉専門職におけるストレス対処法」                                    | 平成22年2月                     | 高齢者福祉施設における介護者のストレスマネジメントの手法を教示した。また施設におけるサービスマナーマネジメントの基本的枠組みを講義した。                 |
| (32)NPO法人MEWワークショップMEW「ストレス対処技能講習」講師  | 平成22年3月                     | 就労移行支援事業利用者に対して、ストレスとは何か？ストレスと症状との関連を整理し、ストレスマネジメントやソーシャルサポートの実際について講義した。            |
| 5 その他   |                             |  |
| (1) 文部科学研究費補助金（基盤研究C）   | 平成20年度、平成21年度               | 「病院組織におけるソーシャルワーカーの専門的業務の形成過程に関する研究」研究代表者 岩本操  |
| (2)多文化研究会研究メンバー   | 平成21年度                      | 「精神障害をもつ在日外国人への精神保健福祉支援の研究」（大正大学学研助成金 研究代表者 野田文隆）                                    |
| (3)Educational Seminar in Siem Reap for Cambodian Mental Health Professionals | 平成21年11月22日～11月26日          | セミナー参加、シュムリアップ精神保健活動の視察、訪問動向   |
| 職 務 上 の 能 力 に 関 する 事 項  |                             |  |
| 事 項   | 年 月 日                       | 概 要  |
| 1 資格、免許   |                             |  |
| (1)社団法人日本精神保健福祉士協会研修認定精神保健福祉士   | 平成20年3月                     | 社団法人日本精神保健福祉士協会  |
| 2 特許等   |                             |  |
| 3 実務の経験の有する者についての特記事項   |                             |  |
| (1)NPO法人MEW 苦情対応第三者委員（再掲）   | 平成18年度、平成19年度、平成20年度、平成21年度 | 苦情対応に関する第三者委員としての評価・助言   |
| (2)武蔵野市健康福祉総合計画策定委員(再掲)   | 平成20年度                      | 障害福祉部会副部長  |
| (3)武蔵野市健康福祉総合計画推進委員(再掲)   | 平成21年度                      | 委員   |
| (4)杉並区障害程度区分認定審査会委員(再掲)   | 平成21年度                      | 学識者委員  |
| (5)武蔵野市地域自立支援協議会委員(再掲)  | 平成21年度                      | 会長   |

| 事 項  | 年 月 日          | 概 要   |  |
|--|----------------|---|--|
| (6)武蔵野市障害者福祉センター事業委託選考委員   | 平成22年 1 月      | 障害者福祉センター業務委託法人の選考審査委員                              |  |
| (7)社団法人日本精神保健福祉士協会「精神保健福祉士業務指針及び業務分類 第1版(案)」作成                   | 平成22年 3 月      | 精神保健福祉士業務指針作成委員会委員執筆担当；第3部第1章第2節（用語解説）、第2章第2節（医療機関） |  |
| 4 その他  |                |   |  |
| 研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項  |                |   |  |
| 著書、学術論文等の名称  | 単著<br>共著<br>の別 | 発行又は発表<br>の年月                                       | 発行所、発表雑誌等又は<br>発表学会等の名称  |
| (著書)   |                |   |  |
| 1. 『ここが出る！精神保健福祉士専門科目一問一答2009』                                   | 共              | 平成20年10月  | 中央法規出版   |
| 2. 『ここが出る！精神保健福祉士専門科目一問一答2010』                                   | 共              | 平成21年10月  | 中央法規出版   |
| (学術論文)   |                |   |  |
| 1. 「精神科病院におけるソーシャルワーカーの『役割形成』に関する考察」                             | 単              | 平成20年 3 月   | 武蔵野大学人間関係学部紀要第5号 (P1～12)   |
| 2. 「精神科病院におけるソーシャルワーク業務の形成過程に関する研究—管理職ソーシャルワーカーへのインタビュー調査からの考察—」 | 単              | 平成21年 3 月   | 武蔵野大学人間関係学部紀要第6号 (P143-155)  |
| 3. 「精神科病床機能分化におけるソーシャルワークの課題—急性期病棟担当ソーシャルワーカーへのインタビュー調査による考察—」   | 単              | 平成21年 6 月   | 精神保健福祉 Vol. 40/No. 2 (78号) (P148—154)  |
| 4. 精神科病院におけるソーシャルワーカーの「役割形成」の試み—グループインタビュー調査からの分析・考察—            | 単              | 平成22年 3 月   | 鴨台社会福祉学論集第19号 (P83-90)   |
| (その他)  |                |   |  |
| 1. 「精神科病床機能分化におけるソーシャルワークの課題—急性期病棟担当ソーシャルワーカーへのインタビュー調査による考察—」   | 共              | 平成19年 6 月   | 第6回日本精神保健福祉学会  |
| 2. 精神保健福祉士になりたい「岩本先生の受験対策講座」                                     | 単              | 平成19度（平成19年5月～平成20年2月）<br>毎週更新                      | 中央法規出版『けあサポ』（福祉・介護の応援Webサイト），<br><a href="http://www.caresapo.jp/shikaku/seishin/kouza/index.html">http://www.caresapo.jp/shikaku/seishin/kouza/index.html</a> |
| 3. 精神保健福祉士になりたい 「岩本先生の受験対策講座」                                    | 単              | 平成20年4月～平成21年2月<br>まで連載<br>毎週更新                     | 中央法規出版『けあサポ』（福祉・介護の応援Webサイト），<br><a href="http://www.caresapo.jp/shikaku/seishin/kouza/index.html">http://www.caresapo.jp/shikaku/seishin/kouza/index.html</a> |
| 4. 「精神科病院におけるソーシャルワーカーの業務の形成過程に関する研究 —グループインタビュー調査における分析・考察— 」   | 単              | 平成21年 6 月   | 第8回日本精神保健福祉学会  |

| 著書、学術論文等の名称   | 単著<br>共著<br>の別 | 発行又は発表<br>の年月 | 発行所、発表雑誌等又は<br>発表学会等の名称 |
|---|----------------|---------------|-------------------------|
| 5. 精神障害をもつ在日外国人への精神保健福祉<br>支援の研究：第1報-精神保健福祉専門家の支援<br>の実態について- | 共              | 平成22年3月       | 第17回多文化精神医学会            |

## 社会福祉学科

- ・氏名（フリガナ）                    佐藤 信人(サトウ ノブト)
- ・所属／職名                         人間関係学部（社会福祉学科）／教授
- ・学位（分野）／研究分野         社会学学士、社会学修士、博士（社会福祉学）／社会学、社会福祉学
- ・キーワード                         高齢者福祉、地域福祉、保健、医療、介護福祉、社会保障、社会福祉政策

| 職 歴           |   |
|---------------|---|
| 年 月           | 事 項   |
| 学会及び社会における活動等 |   |
| 現在所属している学会    | 日本社会福祉学会、日本地域福祉学会   |
| 年 月           | 事 項   |
|               | (学会活動)  |
| 平成12年4月       | 日本社会福祉学会会員（現在に至る）   |
| 平成12年4月       | 日本地域福祉学会会員（現在に至る）   |
|               | (社会における活動等)   |
| 平成16年以降       | 人事院第Ⅰ種国家公務員試験専門員就任（全国の地域や施設の保健・医療・福祉職に対して米国ミシガン大学において習得したチームアプローチ演習を実施（平成12年より全国数十カ所で行った実施、ライフワークとして無償で行っている） |
| 平成18年4月       | 財団法人ダイヤ財団高齢社会研究財団 研究企画委員（現在に至る）   |
| 平成18年4月       | 財団法人社会福祉振興・試験センター 介護支援専門員実務研修受講試験委員（現在に至る）  |
| 平成19年1月       | 西東京市 地域包括支援センター・在宅介護支援センター・スーパーバイザー（平成22年3月まで）  |
| 平成19年4月       | 府中市介護支援専門員ケアマネジメント事例研究会スーパーバイザー（現在に至る）  |
| 平成19年4月       | 財団法人長寿社会開発センター 介護支援専門員テキスト編集委員（現在に至る）   |
| 平成20年5月       | 国分寺市 高齢者保健福祉計画検討委員会委員長（平成21年3月31日まで）  |
| 平成20年7月       | 西東京市 地域密着型サービス等運営委員会委員（現在に至る）   |
| 平成20年9月       | 厚生労働省研究事業 認知症介護指導者の安定的な確保と効果的な活動のあり方に関する研究会委員（平成21年3月まで）  |
| 平成20年10月      | 財団法人長寿社会開発センター 居宅サービス計画作成の手引き編集委員（現在に至る）  |
| 平成20年9月       | 厚生労働省研究事業 認知症介護研究・研修東京センター 認知症介護指導者の安定的な確保と効果的な活動のあり方に関する研究会委員（平成21年3月31日まで）                                  |
| 平成20年11月      | 厚生労働省研究事業 認知症介護研究・研修東京センター 認知症地域ケア体制構築を行う人材育成のあり方等検討委員会委員（平成21年3月31日まで）                                       |
| 平成21年4月       | 東京都目黒区ケアプラン検討委員会構成員（現在に至る）  |
| 平成21年4月       | 厚生労働省研究事業 認知症介護研究・研修東京センター 認知症ケア高度化推進事業倫理委員会委員（現在に至る）   |
| 平成21年12月      | 厚生労働省研究事業 認知症介護研究・研修東京センター 認知症地域包括ケアの検討委員会委員（平成22年3月31日まで）  |
| 賞 罰           |   |
| 年 月           | 事 項   |
|               | なし  |

| 教育研究業績書                                     |         |  |
|---|---------|--|
| 教育上の能力に関する事項                                |         |  |
| 事項  | 年月日     | 概要   |
| 1 教育方法の実践例                                  |         |  |
| 2 作成した教科書, 教材                               |         |  |
| (1) 対人援助職を目指す人のケアマネジメント Learning10」(共著; 再掲) | 平成19年4月 | 大学、短大等の学生を対象とした地域社会における生活支援の方法としてのケアマネジメント論について「介護保険制度にみるケアマネジメント」を詳説した。           |
| (2) 訪問介護員養成研修テキスト(共著; 再掲)                   | 平成19年8月 | 訪問介護員1級養成のため高齢者保健福祉動向について「介護保険制度の詳細な理解、介護保険制度と介護予防、介護予防と地域支援事業等」を詳説した。             |
| (3) ケアプラン作成の基本的考え方(単著; 再掲)                  | 平成20年6月 | ケアマネジメントにおけるアセスメント、ケアカンファレンス、ケアプラン作成、モニタリング等の一連のプロセスをケアマネジメント原則に基づき如何に実践すべきかを詳説した。 |
| (4) 社会福祉学習双書(共著; 再掲)                        | 平成21年3月 | 社会福祉士養成教科書として、「相談援助活動と政策形成」について詳説した。   |
| 3 教育上の能力に関する大学等の評価                          |         |  |
| 4 実務の経験を有する者についての特記事項                       |         |  |
| (1) 東京都西東京市保健福祉部「地域包括支援センター研修」              | 平成19年4月 | 西東京市職員及び市内の地域包括支援センター職員に対して「チーム形成のためのグループワーク」を行った。                                 |
| (2) 芙蓉地域包括支援センター「チームビルディング・グループワーク研修」       | 平成19年5月 | 地域包括支援センター職員に対して「地域でチームを形成していく際のノウハウ」についてのグループワークを行った。                             |
| (3) 認知症介護研究研修東京センター「認知症介護専門職員研修Ⅰ」           | 平成19年5月 | 厚生労働省委託により関東圏、九州圏の認知症介護専門職員に対して認知症介護の専門技術に関する指導・普及を目的とする「法制度とケア」について講演・指導を行った。     |
| (4) 認知症介護研究研修東京センター「認知症介護専門職員研修Ⅰ」           | 平成19年5月 | 厚生労働省委託により関東圏、九州圏の認知症介護専門職員に対して認知症介護の専門技術に関する指導・普及を目的とする「チーム形成のためのグループワーク」を行った。    |
| (5) 兵庫県介護支援専門員協会「平成19年度総会記念講演」              | 平成19年5月 | 兵庫県内の介護支援専門員に対して「ケアマネジメントプロセスからケアプランチェックリストまで」について講演した。                            |
| (6) 富士北麓・東部地域介護支援専門員連絡協議会「平成19年度定期総会記念講演」   | 平成19年6月 | 富士北麓・東部地域の介護支援専門員に対して「今一度、ケアマネジメント過程を見直そう」について講演した。                                |

| 事 項                                 | 年 月 日    | 概 要   |
|-------------------------------------|----------|---|
| (7)岩手県長寿社会振興財団「介護支援専門員<br>専門研修課程Ⅰ」  | 平成19年6月  | 岩手県内の介護支援専門員に対して「ケアマネジメントとそれを担う介護支援専門員の倫理」「ケアマネジメントプロセスとその基本的考え方」について講演した。      |
| (8)長野県介護支援専門員協会「基調講演」               | 平成19年6月  | 長野県内の介護支援専門員に対して「ケアマネジメントの基本」について講演した。  |
| (9)高齢者の抑制を考える会「尊厳のあるケア<br>特別講演」     | 平成19年7月  | 高齢者の抑制を考える会会員に対して「尊厳あるケアの実現」について講演した。   |
| (10)茨城県県南ケアマネジャー懇話会研修               | 平成19年7月  | 茨城県県南地区の介護支援専門員に対して「ケアプラン作成の基本的考え方」について講演した。                                    |
| (11)秋田県県北地区介護支援専門員協会研修              | 平成19年7月  | 秋田県県北地区の介護支援専門員に対して「スーパービジョン」について講演した。  |
| (12)東京都介護支援専門員研究協議会「ブ<br>ラッシュアップ研修」 | 平成19年7月  | 都内の介護支援専門員に対して「ケアプラン作成の基本的考え方」について講演した。   |
| (13)高崎市ケアマネジャー研修会                   | 平成19年8月  | 高崎市内の介護支援専門員に対して「ケアマネジャーの倫理」について講演した。   |
| (14)山口県介護支援専門員「専門研修」                | 平成19年8月  | 山口県内の介護支援専門員に対して「ケアマネジメントのプロセスとその基本的考え方」について講演した。                               |
| (15)認知症介護研究・研修東京センター研修              | 平成19年8月  | 厚生労働省委託により関東圏、九州圏の認知症介護専門職員に対して認知症介護の専門技術に関する指導・普及を目的とする「チーム形成のためのグループワーク」を行った。 |
| (16)認知症介護研究・研修仙台センター研修              | 平成19年9月  | 厚生労働省委託により北海道、東北、中四国圏の認知症介護専門職員に対して認知症介護の専門技術に関する指導・普及を目的とする「対人援助の基礎演習」を行った。    |
| (17)高松市介護支援専門員研修                    | 平成19年9月  | 高松市内の介護支援専門員に対して「ケアプラン作成の基本的考え方」について講演した。                                       |
| (18)沖縄県社会福祉士会スキルアップ研修               | 平成19年9月  | 沖縄県内の社会福祉士に対して「コミュニティソーシャルワーク」について講演した。   |
| (19)群馬県主任介護支援専門員研修                  | 平成19年10月 | 群馬県内の主任介護支援専門員に対して「ケアマネジメントとそれを担う介護支援専門員の倫理」について講演した。                           |
| (20)兵庫県介護支援専門員協会パワーアップ<br>セミナー      | 平成19年11月 | 兵庫県内の介護支援専門員に対して「ケアマネジメントプロセスの流れの理解」について講演した。                                   |
| (21)全国在宅訪問栄養指導研究会研修                 | 平成19年11月 | 全国の訪問栄養指導を行う管理栄養士に対して「ケアマネジメントにおけるチームアプローチ」について講演した。                            |
| (22)金沢市地域密着型サービス事業代表者研<br>修         | 平成19年11月 | 金沢市内の地域密着型サービス事業を行う事業者に対して「事業と経営のバランス」について講演した。                                 |

| 事 項                           | 年 月 日     | 概 要  |
|-------------------------------|-----------|--|
| (23) マイケアプランフォーラム             | 平成19年11月  | マイケアプランフォーラム参加者に対して「介護予防こそマイケアプランで」とするシンポジストを務めた。        |
| (24) 北多摩北部保健医療圏圏域研修           | 平成19年12月  | 多摩小平保健所管内の保健師人材育成のため「チームケア」について演習した。                     |
| (25) 二本松市介護保険講話会              | 平成19年12月  | 二本松市内の認知症サポーター等に対して「終わりなき介護予防への挑戦」について講演した。              |
| (26) 宮城県主任介護支援専門員研修           | 平成19年12月  | 宮城県内の主任介護支援専門員に対して「主任介護支援専門員の役割と視点」について講演した。             |
| (27) 富山県介護支援専門員研修             | 平成19年12月  | 富山県内の介護支援専門員に対して「ケアマネジャーの倫理」について講演した。                    |
| (28) 東京都福祉サービス評価推進機構研修        | 平成20年 2 月 | 都内の福祉サービス第三者評価者に対して「介護保険制度とケアマネジメント」について講演した。            |
| (29) 練馬区介護支援専門員研修             | 平成20年 3 月 | 練馬区内の会御所員専門員に対して「ケアプランの適切化」について講演した。                     |
| (30) 群馬県多野藤岡支部介護支援専門員研修       | 平成20年 3 月 | 藤岡市内の介護支援専門員に対して「ケアマネジメントにおける多職種連携」について講演した。             |
| (31) 会津若松市介護サービス事業所職員スキルアップ研修 | 平成20年 3 月 | 会津若松市内の訪問介護事業所等職員に対して「自立支援の個別サービス計画とサービス提供」について講演した。     |
| (32) 小金井市介護支援専門員新任研修          | 平成20年 3 月 | 小金井市内の新任介護支援専門員に対して「ケアマネジメントの基本的考え方と実践」について講演した。         |
| (33) 長野県中野市介護支援専門員連絡協議会研修     | 平成20年 4 月 | 現任ケアマネジャーに対して「ケアマネジメントの原則に則った実践」に関する講演を行った。              |
| (34) 沖縄県八重山地区介護支援専門員連絡協議会研修   | 平成20年 5 月 | 介護支援専門員に対してチームアプローチに関するグループワークを行った。                      |
| (35) 認知症介護研究・研修東京センター研修       | 平成20年 5 月 | 厚生労働省委託により、関東圏、九州圏の認知症介護専門職員に対して認知症介護の専門技術に関する講演・指導を行った。 |
| (36) 広島県廿日市市研修                | 平成20年 5 月 | 介護支援専門員等に対してケアプラン作成の基本的な考え方について講演した。                     |
| (37) 千葉県我孫子市研修                | 平成20年 6 月 | 介護支援専門員に対してケアプラン作成の基本的な考え方について講演した。                      |
| (38) 富山県介護福祉士会研修              | 平成20年 6 月 | 介護福祉士に対してケアマネジメントの基本的考え方について講演した。                        |
| (39) 認知種介護研究・研修大府センター研修       | 平成20年 6 月 | 厚生労働省委託により、認知症介護専門職員に対して認知症介護の専門技術に関する講演・指導を行った。         |
| (40) 東京都介護支援専門員研究協議会研修        | 平成20年 6 月 | 介護サービス計画作成の基本的考え方について講演した。                               |

| 事 項                           | 年 月 日    | 概 要  |
|-------------------------------|----------|--|
| (41) 東京都主任介護支援専門員研修           | 平成20年7月  | 主任介護支援専門員研修として「主任介護支援専門員の役割と視点」について講演した。           |
| (42) 福島県会津若松市研修               | 平成20年7月  | ケアマネジャー等に対して、自立支援の居宅サービス計画の作成とチームアプローチについて講演した。    |
| (43) 長野県中野市介護支援専門員連絡協議会研修     | 平成20年8月  | 介護支援専門員等に対して、チームアプローチ演習を行った。                       |
| (44) 山口県社会福祉協議会研修             | 平成20年8月  | 介護支援専門員専門研修課程1において、ケアマネジメントのプロセスとその基本的考え方について講演した。 |
| (45) 認知症介護研究・研修東京センター研修       | 平成20年8月  | 厚生労働省委託により、認知症介護専門職員に対して認知症介護の専門技術に関する講演・指導を行った。   |
| (46) 茨城県県南ケアマネジャー懇話会研修        | 平成20年8月  | 介護支援専門員に対してケアプラン作成の基本的考え方の講演を行った。                  |
| (47) 認知症介護研究・研修東京センター研修       | 平成20年8月  | 厚生労働省委託により、認知症介護専門職員に対して認知症介護の専門技術に関する講演・指導を行った。   |
| (48) 秋田県県北地区介護支援専門員連絡協議会研修    | 平成20年8月  | ケアマネジメントのスーパービジョンについて講義・指導を行った。                    |
| (49) 富山県介護福祉士会                | 平成20年9月  | アセスメント・ケアプランチェックについて事例検討会を行った。                     |
| (50) 小金井市桜町在宅介護支援センター         | 平成20年9月  | チームアプローチ演習を行った。                                    |
| (51) 認知症介護研究・研修大府センター         | 平成20年9月  | 厚生労働省委託により、認知症介護専門職員に対して認知症介護の専門技術に関する講演・指導を行った。   |
| (52) 東京都文京区研修                 | 平成20年10月 | アセスメントの手法、対人援助の視点について講演を行った。                       |
| (53) 長野県松本市介護保険事業者連絡協議会研修     | 平成20年10月 | ケアマネジメントの基本的考え方について講演した。                           |
| (54) 宮城県仙台市社会福祉協議会研修          | 平成20年10月 | 地域包括支援センターにおける地域づくりについて講演を行った。                     |
| (55) 長野県松本市介護保険事業者連絡協議会研修     | 平成20年10月 | チームアプローチ演習を行った。                                    |
| (56) 香川県高松市指定居宅介護支援事業者連絡協議会研修 | 平成20年11月 | 介護サービス計画作成の基本的考え方・パート2の講演を行った。                     |
| (57) 認知症介護研究・研修東京センター研修       | 平成20年11月 | 厚生労働省委託により、認知症介護専門職員に対して認知症介護の専門技術に関する講演・指導を行った。   |
| (58) 沖縄県介護支援専門員連絡協議会研修        | 平成20年11月 | 総会の記念講演として「一体的・継続的支援の実現を目指して」とする講演を行った。            |
| (59) 認知症介護研究・研修東京センター研修       | 平成20年11月 | 厚生労働省委託により、認知症介護専門職員に対して認知症介護の専門技術に関する講演・指導を行った。   |
| (60) 東京都多摩小平保健所研修             | 平成20年11月 | チームビルディングの手法についてのグループワークを行った。                      |

| 事 項                                   | 年 月 日    | 概 要   |
|---------------------------------------|----------|---|
| (61) 山梨県研修                            | 平成20年11月 | 主任介護支援専門員の役割と視点について講演を行った。                                |
| (62) 宮城県研修                            | 平成20年12月 | 主任介護支援専門員の役割と視点について講演を行った。                                |
| (63) 東京都研修                            | 平成20年12月 | 主任介護支援専門員の役割と視点について講演した。                                  |
| (64) 富山県介護支援専門員協会研修                   | 平成21年1月  | 介護支援専門員の役割と視点について講演を行った。                                  |
| (65) 群馬県前橋市研修                         | 平成21年1月  | ケアプランの効果と課題について講演を行った。                                    |
| (66) 認知症介護研究・研修大府センター研修               | 平成21年1月  | 厚生労働省委託により、認知症介護専門職員に対して認知症介護の専門技術に関する講演・指導を行った。          |
| (67) 茨城県高萩市研修                         | 平成21年2月  | ケアプラン作成の基本的考え方について講演を行った。                                 |
| (68) 生活クラブ生協千葉研修                      | 平成21年2月  | ケアマネジメントの基本について講演を行った。                                    |
| (69) 長野県佐久市研修                         | 平成21年2月  | ケアマネジメントの基本的考え方について講演及び演習を行った。                            |
| (70) 長野県松本市介護保健事業者連絡協議会<br>居宅介護支援部会研修 | 平成21年3月  | ケアマネジメントの基本的考え方（その2）の講演を行った。                              |
| (71) 石川県金沢市研修                         | 平成21年3月  | ケアプラン作成の基本的視点について講演を行った。                                  |
| (72) 東京都多摩市研修                         | 平成21年3月  | ケアプラン作成におけるニーズのとらえ方について講演を行った。                            |
| (73) 宮城県仙台市研修                         | 平成21年3月  | 安心して子育てができるまちづくりの手法について講義・指導を行った。                         |
| (74) 東京都日野市研修                         | 平成21年3月  | ケアマネジメントの基本的考え方について講演を行った。                                |
| (75) 長野県介護支援専門員研修企画運営委員会              | 平成21年4月  | 平成21年度介護支援専門員実務研修の内容及び進め方等に係る助言を行った。                      |
| (76) 会津医療生活協同組合研修                     | 平成21年5月  | 在宅介護支援センター、居宅介護支援事業所、地域包括支援センター職員に対してチームアプローチの講義及び演習を行った。 |
| (77) 東京都小金井市介護支援専門員研修                 | 平成21年5月  | 小金井市内及び近郊の介護支援専門員に事例に基づくグループスーパービジョンを行った。                 |
| (78) 認知症介護研究・研修東京センター研修               | 平成21年5月  | 厚生労働省委託により、認知症介護専門職員に対して認知症介護の専門技術について講演・指導を行った。          |
| (79) 長野県中野市介護支援専門員連絡会<br>会            | 平成21年5月  | 居宅介護支援事業所介護支援専門員に対してケアマネジメントの基本を踏まえたケアプラン点検についての講演を行った。   |
| (80) 認知症介護研究・研修大府センター研修               | 平成21年6月  | 厚生労働省委託により、認知症介護専門職員に対して認知症介護の専門技術について講演・指導を行った。          |

| 事 項   | 年 月 日     | 概 要  |
|---|-----------|--|
| (81) 社会福祉法人浴風会内部研修                            | 平成21年 6 月 | ケアワーカー、看護師等に対してリーダーシップとコミュニケーションの講演及び演習を行った。                 |
| (82) 長野県介護支援専門員研修企画運営委員会                      | 平成21年 6 月 | 平成21年度介護支援専門員実務研修の内容及び進め方等に係る助言を行った。                         |
| (83) 東京都国分寺市地域包括支援センターもとまち地域合同学習会             | 平成21年 6 月 | 市民・市民自習グループ等に対して「充実した後半生を生きるために市民ができること」について講演及び演習を行った。      |
| (84) 東京都目黒区ケアプラン検討会                           | 平成21年 6 月 | ケアプラン事例について内容検討及び助言を行った。                                     |
| (85) 東京都小金井市介護支援専門員研修                         | 平成21年 7 月 | 小金井市内及び近郊の介護支援専門員に対して事例に基づくグループスーパービジョンを行った。                 |
| (86) 東京都主任介護支援専門員研修（前期）                       | 平成21年 7 月 | 都内の主任介護支援専門員に対して「主任介護支援専門員の役割と視点」について講演を行った。                 |
| (87) 長野県介護支援専門員研修企画運営委員会                      | 平成21年 7 月 | 平成21年度介護支援専門員実務研修の内容及び進め方等に係る助言を行った。                         |
| (88) 北海道ケアマネジャー実践セミナー                         | 平成21年 7 月 | 道内のケアマネジャーに対して「アセスメント及び居宅サービス計画作成のポイント」について講演を行った。           |
| (89) 宮城県主任介護支援専門員研修                           | 平成21年 7 月 | 県内の主任介護支援専門員に対して「主任介護支援専門員の役割と視点」について講演を行った。                 |
| (90) 茨城県高萩市居宅介護支援サービス担当者研修会                   | 平成21年 8 月 | 市内の介護支援専門員に対して「ケアプラン作成の基本的考え方」についての講義と演習を行った。                |
| (91) 認知症介護研究・研修東京センター研修                       | 平成21年 8 月 | 厚生労働省委託により、認知症介護専門職員に対して「認知症介護に関連する法制度の理解」について講演を行った。        |
| (92) ケアマネジメントオフィス・ノア地域包括支援センター職員及び居宅介護支援事業所研修 | 平成21年 8 月 | 長野県北佐久郡の地域包括支援センター、居宅介護支援事業所職員に対して「チームケアに関する体験学習」について演習を行った。 |
| (93) 東京都府中市居宅介護支援事業者連絡会研修                     | 平成21年 9 月 | 市内の介護支援専門員に対して「ケアプラン作成におけるアセスメントのあり方」について講演を行った。             |
| (94) 岐阜県立飛騨寿楽苑チームビルド研修                        | 平成21年 9 月 | 寿楽苑および関係機関職員に対して「チームビルディング」に関する演習を行った。                       |
| (95) 東京都小金井市介護支援専門員研修                         | 平成21年 9 月 | 小金井市内及び近郊の介護支援専門員に対して事例に基づくグループスーパービジョンを行った。                 |
| (96) 新潟県介護支援専門員専門研修・更新研修                      | 平成21年 9 月 | 県内の介護支援専門員に対して、厚生労働省専門研修課程Ⅱ「介護支援専門員特別講義」を行った。                |
| (97) 認知症介護研究・研修大府センター研修                       | 平成21年 9 月 | 厚生労働省委託により、認知症介護専門職員に対して「認知症介護に関連する法制度の理解」について講演を行った。        |

| 事 項                                  | 年 月 日    | 概 要  |
|--------------------------------------|----------|--|
| (98) 福島県民主医療機関連合会ケアマネジャー研修会          | 平成21年9月  | 県内の介護支援専門員に対して「アセスメント・ケアプラン・モニタリングを見つめ直す」講演を行った。                 |
| (99) 富山県主任介護支援専門員研修                  | 平成21年9月  | 県内の主任介護支援専門員に対して「ケアマネジメントとそれを担う介護支援専門員の倫理」について講演を行った。            |
| (100) 長野県長野市社会福祉協議会介護支援専門員研修         | 平成21年10月 | 市内の介護支援専門員に対して「ケアマネジメントの基本的考え方」について講演を行った。                       |
| (101) 埼玉県主任介護支援専門員研修                 | 平成21年10月 | 県内の主任介護支援専門員に対して「主任介護支援専門員の役割と視点・地域包括支援センターの運営」について講演を行った。       |
| (102) 福島県会津医療生活協同組合アセスメント学習会         | 平成21年10月 | 会津医療生活協同組合立居宅介護支援事業所、地域包括支援センター職員に対して「アセスメントの理解」についての講演・演習を行った。  |
| (103) 認知症介護研究・研修仙台センター研修             | 平成21年10月 | 厚生労働省委託により、認知症介護専門職員に対して「認知症介護に関連する法制度の理解」について講演を行った。            |
| (104) 東京都目黒区ケアプラン検討会                 | 平成21年10月 | ケアプラン事例について内要検討及び助言を行った。   |
| (105) 山梨県主任介護支援専門員研修                 | 平成21年10月 | 県内の主任介護支援専門員に対して「主任介護支援専門員の役割と視点」について講演を行った。                     |
| (106) 秋田県北・能代山本地区老人福祉施設職員合同研修会       | 平成21年11月 | 地区の老人福祉施設職員に対して「施設ケアプランの基本的考え方及び検証」について講演及び演習を行った。               |
| (107) 長野県松本市介護保険事業者連絡協議会介護支援専門員部会研修会 | 平成21年11月 | 市内の介護支援専門員に対して「事例検討を通してケアプランを点検する」について講演及び演習を行った。                |
| (108) 福島県石川町地域福祉ネットワーク講演会            | 平成21年11月 | 町民、民生児童委員、医療・保健・福祉関係者に対して「誰もが安心して暮らし続けられる地域を目指して」について講演及び演習を行った。 |
| (109) 東京都主任介護支援専門員研修（後期）             | 平成21年11月 | 都内の主任介護支援専門員に対して「主任介護支援専門員の役割と視点」について講演を行った。                     |
| (110) 長野県上田市介護保険指定サービス事業者連絡協議会研修     | 平成21年12月 | 市内の介護関係者に対して「自立支援に向けた介護支援専門員とサービス事業者の連携」について講演を行った。              |
| (111) 認知症介護研究・研修東京センター研修             | 平成21年12月 | 厚生労働省委託により、認知症介護専門職員に対して「チームアプローチとリーダーシップ」について講演及び演習を行った。        |
| (112) 認知症介護研究・研修東京センター研修             | 平成21年12月 | 厚生労働省委託により、認知症介護専門職員に対して「認知症介護に関連する法制度の理解」について講演を行った。            |

| 事 項                                   | 年 月 日    | 概 要  |
|---------------------------------------|----------|--|
| (113) 社会福祉法人浴風会ケアスクール講演会<br>(杉並区委託事業) | 平成21年12月 | 区内の高齢者に対して「無理なく頭をやわらかく」について講演を行った。                                     |
| (114) 長野県介護支援専門員実務研修講師研修              | 平成22年1月  | 県内の介護支援専門員実務研修講師に対して、同研修での指導内容等を周知するための指導を行った。                         |
| (115) 宮城県仙台市ケアマネジメント研修会               | 平成22年1月  | 市内の介護支援専門員に対して「ケアマネジメントの基本的考え方(その人らしさ、個別性をアセスメントからどう導き出すか)」について講演を行った。 |
| (116) 長野県長野市社会福祉協議会介護支援専門員研修会         | 平成22年2月  | 市内の介護支援専門員に対して「居宅サービス計画書の変遷」について講演を行った。                                |
| (117) 宮城県仙台市太白区保健福祉センター子育て支援ネットワーク研修会 | 平成22年2月  | 区内の子育て支援関係者に対して「みんなの困っていることを解決していこう」について講演及び演習を行った。                    |
| (118) 足立区介護支援専門員現任研修                  | 平成22年2月  | 区内の介護支援専門員に対して「適正なケアプラン作成」について講演を行った。                                  |
| (119) 東京都介護支援専門員研究協議会研修               | 平成22年2月  | 行政職員、地域包括支援センター職員、介護支援専門員に対して「自立支援に向けたケアプラン作成」について講演及び演習を行った。          |
| (120) 宮城県仙台市太白区保健福祉センター子育て支援ネットワーク研修会 | 平成22年3月  | 区内の子育て支援関係者に対して「みんなが困っていることを解決しよう・パート2」について講演を行った。                     |
| 5 その他                                 |          |  |

職 務 上 の 能 力 に 関 す る 事 項

| 事 項                                   | 年 月 日    | 概 要   |
|---------------------------------------|----------|---|
| 1 資格、免許                               |          |   |
| 2 特許等                                 |          |   |
| 3 実務の経験を有する者についての特記事項                 |          |   |
| 4 その他<br>(1) 介護サービス計画(ケアプラン)作成の基本的考え方 | 平成19年11月 | 「介護支援専門員養成研修教本(基礎編)」東京都高齢者研究・福祉振興財団に居宅サービス計画書確定の順序が引用されている。 |

研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項

| 著書、学術論文等の名称                       | 単著<br>共著<br>の別 | 発行又は発表<br>の年月 | 発行所、発表雑誌等又は<br>発表学会等の名称 |
|-----------------------------------|----------------|---------------|-------------------------|
| (著書)<br>1. 介護職員基礎研修テキスト全国社会福祉協議会版 | 共              | 平成19年         | 全国社会福祉協議会               |

| 著書、学術論文等の名称   | 単著<br>共著<br>の別               | 発行又は発表<br>の年月                        | 発行所、発表雑誌等又は<br>発表学会等の名称                              |
|---|------------------------------|--------------------------------------|--|
| 2. 対人援助職を目指す人のケアマネジメント<br>Learning 10」<br>3. ケアプラン作成の基本的考え方<br>4. 社会福祉学双書<br>5. 地域包括支援センターにおける認知症ケアガ<br>イドライン | 共<br><br>単<br><br>共<br><br>共 | 平成19年<br><br>平成20年<br>平成21年<br>平成22年 | みらい<br><br>中央法規<br>全国社会福祉協議会<br>認知症介護研究・研修東京セン<br>ター |
| (学術論文)  |                              |                                      |  |
| (その他)   |                              | 平成19年<br>平成19年                       | 月刊介護保険<br>月刊介護保険                                     |

- ・氏名（フリガナ） 深浦 勇(フカウラ イサム)
- ・所属／職名 人間関係学部（社会福祉学科）／教授
- ・学位（分野）／研究分野 教育学修士／社会科学、特別支援教育、社会福祉学
- ・キーワード 障害児教育、障害児、障害者福祉

| 職 歴                     |                                |                            |
|-------------------------|--------------------------------|----------------------------|
| 年 月                     | 事 項                            |                            |
| 学会及び社会における活動等           |                                |                            |
| 現在所属している学会              | 日本社会福祉学会、日本特殊教育学会              |                            |
| 年 月                     | 事 項                            |                            |
| 昭和45年4月                 | (学会活動)<br>日本精神遅滞教育研究会会員（現在に至る） |                            |
| 平成1年4月                  | 日本社会福祉学会会員（現在に至る）              |                            |
| 平成15年4月                 | 日本特殊教育学会会員（現在に至る）              |                            |
| 賞 罰                     |                                |                            |
| 年 月                     | 事 項                            |                            |
|                         | なし                             |                            |
| 教 育 研 究 業 績 書           |                                |                            |
| 教 育 上 の 能 力 に 関 す る 事 項 |                                |                            |
| 事 項                     | 年 月 日                          | 概 要                        |
| 1 教育方法の実践例              |                                |                            |
| 2 作成した教科書, 教材           |                                |                            |
| 3 教育上の能力に関する大学等の評価      |                                |                            |
| 4 実務の経験を有する者についての特記事項   |                                |                            |
| (1) ホームヘルパー養成講習講師       | 平成20年2月                        | 高齢・障害者の心理、障害者（児）福祉の制度とサービス |
| (2) ホームヘルパー養成講習講師       | 平成21年2月                        | 高齢・障害者の心理、障害者（児）福祉の制度とサービス |
| 5 その他                   |                                |                            |
| 職 務 上 の 能 力 に 関 す る 事 項 |                                |                            |
| 事 項                     | 年 月 日                          | 概 要                        |
| 1 資格、免許                 |                                |                            |
| 2 特許等                   |                                |                            |
| 3 実務の経験を有する者についての特記事項   |                                |                            |

| 事 項                                       | 年 月 日                           | 概 要           |                         |
|---|---------------------------------|---------------|-------------------------|
| 4 その他<br>(1)人間関係学部代議員<br>(2)人間関係学部社会福祉学科長 | 平成17年4月～<br>平成19年3月<br>平成19年4月～ |               |                         |
| 研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項                     |                                 |               |                         |
| 著書、学術論文等の名称                               | 単著<br>共著<br>の別                  | 発行又は発表<br>の年月 | 発行所、発表雑誌等又は<br>発表学会等の名称 |
| (著書)                                      |                                 |               |                         |
| (学術論文)                                    |                                 |               |                         |
| (その他)                                     |                                 |               |                         |

- ・氏名（フリガナ） 熊田 博喜(クマダ ヒロキ)
- ・所属／職名 人間関係学部（社会福祉学科）／准教授
- ・学位（分野）／研究分野 学士（社会学）、修士（社会福祉学）／社会福祉学、地域福祉論、非営利組織論
- ・キーワード コミュニティ、ソーシャル・インクルージョン、福祉政策、NPO

| 職 歴                     |  |     |
|-------------------------|--|-----|
| 年 月                     | 事 項  |     |
| 平成17年4月<br>平成20年4月      | 東洋大学社会学部非常勤講師（第2部）（現在に至る）<br>武蔵野大学現代社会学部社会福祉学科（現：人間関係学部社会福祉学科）准教授（昇任）（現在に至る） |     |
| 学会及び社会における活動等           |  |     |
| 現在所属している学会              | 日本ボランティア学会、社会政策学会、日本地域福祉学会、日本社会福祉学会  |     |
| 年 月                     | 事 項  |     |
|                         | (学会活動)   |     |
| 平成10年10月                | 日本ボランティア学会会員（現在に至る）  |     |
| 平成12年5月                 | 社会政策学会会員（現在に至る）  |     |
| 平成12年6月                 | 日本地域福祉学会会員（現在に至る）  |     |
| 平成12年6月                 | 日本社会福祉学会会員（現在に至る）  |     |
| 平成20年10月                | 日本地域福祉学会（第8期地方部会）委員（現在に至る）   |     |
|                         | (社会における活動)   |     |
| 平成16年12月                | 社会福祉法人西東京市社会福祉協議会（西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会）運営委員（平成21年3月迄）                     |     |
| 平成17年3月                 | 社会福祉法人西東京市社会福祉協議会（経営委員会）委員長（平成20年3月迄）  |     |
| 平成18年4月                 | 西東京市（西東京市地域密着型サービス等運営委員会）座長（平成20年3月迄）  |     |
| 平成19年7月                 | 西東京市（後期基本構想・基本計画策定審議会）委員（平成21年3月まで）  |     |
| 平成19年10月                | 国立市社会福祉協議会（第二次組織強化計画策定委員会）委員（平成20年3月まで）                                      |     |
| 平成20年4月                 | 西東京市（地域福祉計画策定・普及推進委員会）委員長（現在に至る）   |     |
| 平成20年4月                 | 西東京市社会福祉協議会（地域福祉活動計画策定委員会）座長（平成21年3月まで）                                      |     |
| 平成20年8月                 | 西東京市（保健福祉サービス苦情調整委員会）委員長（現在に至る）  |     |
| 平成20年12月                | 武蔵野市民社会福祉協議会（中期計画策定委員会）委員長（平成21年10月まで）                                       |     |
| 平成21年4月                 | 西東京市（市民協働推進センター運営委員会）委員長（現在に至る）  |     |
| 平成21年5月                 | 社会福祉法人 西東京市社会福祉協議会 理事（現在に至る）   |     |
| 平成21年5月                 | 武蔵野市（テンミリオンハウス事業採択・評価委員会）委員（現在に至る）   |     |
| 賞 罰                     |  |     |
| 年 月                     | 事 項  |     |
|                         | なし   |     |
| 教 育 研 究 業 績 書           |  |     |
| 教 育 上 の 能 力 に 関 す る 事 項 |  |     |
| 事 項                     | 年 月 日  | 概 要 |
| 1 教育方法の実践例              |  |     |

| 事 項                                      | 年 月 日               | 概 要   |  |
|--|---------------------|---|--|
| 2 作成した教科書, 教材                            |                     |   |  |
| 3 教育上の能力に関する大学等の評価                       |                     |   |  |
| 4 実務の経験を有する者についての特記事項                    |                     |   |  |
| 5 その他<br>(1) 武蔵野市・小金井市・西東京市共同研究事業を研究分担   | 平成19年4月～<br>平成21年3月 | 「生活の変化と社会保障制度設計とのギャップがもたらす高齢者の生活危機や困窮に係る研究」(代表者 至誠学舎東京理事長 阿和嘉男) |  |
| 職 務 上 の 能 力 に 関 す る 事 項                  |                     |   |  |
| 事 項                                      | 年 月 日               | 概 要   |  |
| 1 資格、免許                                  |                     |   |  |
| 2 特許等                                    |                     |   |  |
| 3 実務の経験を有する者についての特記事項                    |                     |   |  |
| 4 その他                                    |                     |   |  |
| 研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項                    |                     |   |  |
| 著書、学術論文等の名称                              | 単著<br>共著<br>の別      | 発行又は発表<br>の年月   | 発行所、発表雑誌等又は<br>発表学会等の名称                                |
| (著書)                                     |                     |   |  |
| 1. 生活支援の社会福祉学                            | 共                   | 平成19年7月   | 有斐閣 A5版(総頁数269頁中、P109～P127)                            |
| 2. ソーシャル・インクルージョンの社会福祉                   | 共                   | 平成20年3月   | ミネルヴァ書房 A5版(総頁数267頁中、P23～P52を担当)                       |
| 3. 最新介護福祉全書2「人間と社会 社会の理解」                | 共                   | 平成20年12月  | メヂカルフレンド社 B5版(総頁数269頁中、P252～P278を担当)                   |
| 4. 地域福祉の理論と方法                            | 共                   | 平成21年4月   | (株)みらい B5版(総頁数231頁中、P39～P61を担当)                        |
| 5. よくわかる社会福祉運営管理                         | 共                   | 平成22年3月   | ミネルヴァ書房 B5版(総頁数194頁中、P20～P23、P54～P55、P86～P87、P 88～P93) |
| (学術論文)                                   |                     |   |  |
| 1. 地域リーダーの形成要因とその過程～民間農民教育実践が果たした役割を中心に～ | 単                   | 平成20年3月   | 武蔵野大学現代社会学部紀要第9号(P27～P59)                              |
| 2. 地域福祉の発展とその要件～武蔵野市の地域福祉実践を中心に～         | 単                   | 平成21年3月   | 武蔵野大学人間関係学部紀要第6号 B5版(P87～P108)                         |

| 著書、学術論文等の名称   | 単著<br>共著<br>の別                      | 発行又は発表<br>の年月   | 発行所、発表雑誌等又は<br>発表学会等の名称   |
|---|-------------------------------------|---|---|
| 3. 都市部在宅高齢者の家計収入実態とその特徴   | 単                                   | 平成22年3月   | 武蔵野大学人間関係学部紀要<br>第7号 B5版(P99～P113)  |
| <p>(その他)</p> <p>1. 平成20年度 武蔵野市・小金井市・西東京市<br/>共同研究事業報告書「生活の変化と社会保障制<br/>度設計とのギャップがもたらす高齢者の生活危<br/>機や困窮に関わる研究」</p> <p>2. 第2期西東京市地域福祉活動計画</p> <p>3. 武蔵野市民社会福祉協議会中期計画</p> <p>4. 西東京市地域福祉計画策定・普及委員会分科<br/>会報告書</p> | <p>共</p> <p>共</p> <p>共</p> <p>共</p> | <p>平成21年3月</p> <p>平成21年4月</p> <p>平成21年8月</p> <p>平成22年3月</p> | <p>社会福祉法人 至誠学舎東京<br/>(総頁数412頁中、P1～P2、P9<br/>～P86を担当)</p> <p>西東京市社会福祉協議会 (総<br/>頁数111頁中、P1～P4を担当)</p> <p>武蔵野市民社会福祉協議会<br/>(総頁数75頁中、P6～P10、P18<br/>～P21、P54を担当)</p> <p>西東京市地域福祉計画策定・普<br/>及推進委員会分科会 (総頁数<br/>28頁中、P12～P14を担当)</p> |

- ・氏名（フリガナ） 小松 美智子(コマツ ミチコ)
- ・所属／職名 人間関係学部（社会福祉学科）／准教授
- ・学位（分野）／研究分野 社会学士、社会福祉学修士／社会学（社会福祉学）
- ・キーワード ソーシャルワーク、医療福祉、アドミニストレーション

| 職 歴           |  |
|---------------|--|
| 年 月           | 事 項  |
| 平成18年4月       | 東京女子医科大学医学部医学教育学 非常勤講師（現在に至る）  |
| 平成18年4月       | 東京女子医科大学附属女性生涯健康センター 非常勤講師（現在に至る）  |
| 平成18年4月       | 東京女子医科大学病院 医療社会福祉室 非常勤ソーシャルワーカー（現在に至る）   |
| 平成19年4月       | ルーテル学院大学総合人間学部社会福祉学科非常勤講師（平成20年3月迄）  |
| 学会及び社会における活動等 |  |
| 現在所属している学会    | 日本医療社会事業協会（学会）日本医療社会福祉学会、日本病院精神学会、日本糖尿病眼学会、遺伝子医療カウンセリング学会、日本社会福祉学会   |
| 年 月           | 事 項  |
|               | (学会活動)   |
| 昭和53年4月       | 日本医療社会事業協会（学会） 会員（現在に至る）   |
| 昭和53年4月       | 東京都医療社会事業協会 会員（現在に至る）  |
| 平成元年4月        | 日本ソーシャルワーカー協会 会員（現在に至る）  |
| 平成3年10月       | 日本医療社会福祉学会 会員（現在に至る）   |
| 平成4年3月        | 視覚障害者リハビリテーション協会 会員（現在に至る）   |
| 平成4年5月        | 日本病院精神学会 会員（現在に至る）   |
| 平成7年1月        | 日本糖尿病眼学会 会員（現在に至る）   |
| 平成13年5月       | 日本社会福祉士会 会員（現在に至る）   |
| 平成16年10月      | 遺伝子医療カウンセリング学会 会員（現在に至る）   |
| 平成19年5月       | 日本社会福祉学会 会員（現在に至る）   |
| 平成17年7月       | 日本看護協会看護研修学校 平成17年度認定看護師専門課程小児救急看護学科講師（現在に至る）  |
| 平成19年4月       | 日本医療社会事業協会 研修部 実習指導者養成研修運営委員（現在に至る）  |
| 平成19年9月       | がん相談支援センター相談員研修プログラム検討委員（現在に至る）  |
| 平成19年8月       | 厚生労働省科学研究費補助金（H I V感染症の医療体制整備に関する研究班）研究協力者（平成19年度H I V診療体制におけるMSWのチームアプローチ・地域連携について）（平成20年度MSW就労支援〈事例から支援モデルを作る〉）（平成21年3月まで） |
| 平成20年2月       | 東京都訪問介護員・障害者（児）居宅介護従事者養成研修（2級）講師（平成21年3月まで）  |
| 平成21年8月       | 日本精神神経学会他職種との協働委員会 委員（現在に至る）   |
| 賞 罰           |  |
| 年 月           | 事 項  |
|               | なし   |

教育研究業績書

教育上の能力に関する事項

| 事 項                                    | 年 月 日           | 概 要  |
|--|-----------------|--|
| 1 教育方法の実践例<br>(1)100人規模の学生に対する双方向授業の実践 | 平成13年～現在<br>に至る | 看護学部4年生を対象。看護師は患者が発するさまざまな情報・要求・痛みをキャッチし、適時、必要な専門職につなぐ役割がある。社会的な痛み、生活障害についても、きちんと把握し、適時ソーシャルワーカーにつなぐ役割がある。この役割を果たすためには、生活障害を見る視点・ソーシャルワーカーの機能・ソーシャルサポートの概観をつかむ必要がある。講義ではソーシャルサポートネットワークの理論を概説したのち、面接技法をロールプレイによって体験し、受けとめた内容をアセスメントし、サポート計画を立てるケアマネジメントを講義を通して体験する方法をとっている。<br>「50歳代の統合失調症の男性患者」「20歳代のHIV男性患者」など簡単な事例を提供し、グループによって、事例を作り、疾患の特徴・患者が抱える生活障害・利用できるソーシャルサポートの項目でまとめ、プレゼンテーションをおこなう。グループで討議しながら事例を作ることによって、生活障害を考えるきっかけとなり、患者や家族の生活によりそう気持ちを体感することができ、グループ発表を通して、疾患や家族構成、年齢などによって生活障害の違いやサポートの違いを学生は学ぶことが出来ている。<br>一人一人の違いを大切にする社会福祉の視点を身につけ、よい連携が取れるようになることを目標としている。現在は、社会福祉学科の学生を対象に実践している。 |
| 2 作成した教科書、教材                           |                 |  |
| 3 教育上の能力に関する大学等の評価                     |                 |  |
| 4 実務の経験を有する者についての特記事項                  |                 |  |
| 5 その他                                  |                 |  |
| 職務上の能力に関する事項                           |                 |  |
| 事 項                                    | 年 月 日           | 概 要  |
| 1 資格、免許                                |                 |  |

| 事 項  | 年 月 日                            | 概 要  |   |
|--|----------------------------------|--|---|
| 2 特許等  |                                  |  |   |
| 3 実務の経験を有する者についての特記事項<br>(1)東京女子医科大学病院ソーシャルワーカー<br><br>(2)ボランティア支援 | 昭和53年～現在に至る<br><br>昭和53年1月～現在に至る | 入職当初よりソーシャルワーカーとして勤務している。各科を担当しソーシャルワーカーとして業務を行ってきたが、主に女性関連の母子総合医療センター・小児科・メンタルケアとHIV・眼科を担当した。ソーシャルワーカーとして直接支援を行なう一方で、ソーシャルワーカー部門の管理職として、リスクマネジメント、患者にやさしい病院作りなど、病院運営実務者会議メンバーとして病院組織に働きかけて、医療社会福祉的環境整備を行なったり、ソーシャルワーカーのスーパーバイザーとして業務を行った。現在は女性のためのメンタルヘルスクリニックでソーシャルワーカーとして実践するとともにソーシャルワーカーのスーパービジョンを担当している。<br><br>ソーシャルワーカーによる医療社会福祉的環境作りの一環として25年間ボランティア支援を行っている。病院内に病院職員とボランティアで構成したボランティア委員会を組織し、受け入れ体制を整え、毎年開催するボランティア講習会ではその企画と講師を受け持っている。また、平成15年度東京都健康局医療社会事業従事者研修においては、「社会的支援一つの方法ボランティアについて」の講師として、病院にボランティアがいる意味や病院としてボランティア活動への支援をどのように行なう必要があるかなど講義を行なった。現在は、ボランティア講習会において、講師をつとめ、間接的支援を行っている。 |   |
| 4 その他<br>(1)相談援助実習 実習指導者講習会修了                                      | 平成20年12月                         |  |   |
| 研 究 業 績 等 に 関 する 事 項   |                                  |  |   |
| 著書、学術論文等の名称  | 単著<br>共著<br>の別                   | 発行又は発表<br>の年月  | 発行所、発表雑誌等又は<br>発表学会等の名称                                   |
| (著書)<br>1. 社会資源・連携情報活用ガイド  | 共                                | 平成20年3月  | 日総研出版 地域連携network<br>創刊号別冊<br>(P2-7, P18-25, P63-64, P66) |
| 2. 社会資源・連携情報活用ガイド  | 共                                | 平成20年3月  | 日総研出版 地域連携network<br>4月号別冊<br>(P2-8, P41-50, P70-71)      |

| 著書、学術論文等の名称   | 単著<br>共著<br>の別 | 発行又は発表<br>の年月 | 発行所、発表雑誌等又は<br>発表学会等の名称                           |
|---|----------------|---------------|---|
| 3. 新医療ソーシャルワーク実習-社会福祉士などの養成教育のために-                            | 共              | 平成20年5月       | 川島書店 (P29-32. P35-37. P44-49. P157-163. P163-167) |
| 4. がん専門相談員のための学習の手引き-実践に役立つエッセンス-                             | 共              | 平成20年9月       | 国立がんセンターがん対策情報センター                                |
| (学術論文)  |                |               |   |
| 1. 病院ボランティア支援におけるソーシャルワーカーの役割と機能                              | 単              | 平成20年3月       | 武蔵野大学現代社会学部紀要第9号 (P61~P74)                        |
| 2. 医療の質とソーシャルワーク機能-大学病院の医療社会福祉部門におけるリスクマネジメントを中心に             | 単              | 平成21年3月       | 武蔵野大学人間関係学部紀要第6号 (P73~86)                         |
| 3. 社会資源情報提供を通じた精神科医療チームづくりへ穂試み-ソーシャルワークにおけるアドミニストレーション機能を中心に- | 単              | 平成22年3月       | 武蔵野大学人間関係学部紀要第7号 (P71-84)                         |
| (その他)   |                |               |   |
| <シンポジスト>  |                |               |   |
| 1. 第105回「日本精神神経学会 多職種協働シンポジウム：精神科医と協働してよかったこと、困ったこと 講師        | 単              | 平成21年8月       | 日本精神神経学会  |
| <講演・講師>   |                |               |   |
| 1. 医療と社会福祉-なぜ病院にソーシャルワーカーがいるの？                                | 単              | 平成19年6月       | 都立鷺宮高校  |
| 2. 子どもの権利と社会資源「小児保健医療制度と手続き」                                  | 単              | 平成19年7月       | 日本看護協会小児救急看護学科認定看護師教育課程                           |
| 3. 実習指導者研修会ファシリテーター   | 共              | 平成20年1月       | 日本医療社会事業協会研修部                                     |
| 4. 第14回学会医療ソーシャルワークの実践・研究報告 コメンテーター                           | 単              | 平成20年4月       | 社団法人埼玉県医療社会事業協会                                   |
| 5. 第56回日本医療社会事業協会全国大会・第28回日本医療社会事業学会 第6分科会(小児)座長              | 単              | 平成20年5月       | 社団法人日本医療社会事業協会・沖縄県医療ソーシャルワーカー協会                   |
| 6. 認定看護師教育専門課程 小児救急看護学科 子どもの権利と社会資源                           | 単              | 平成20年7月       | 日本看護協会看護研修学校                                      |
| 7. 病院ボランティア3周年記念研修会「ボランティアにもとめられるもの」～ボランティアとは～                | 単              | 平成20年11月      | 済生会栗橋病院   |
| 8. ソーシャルワーク研修会Ⅲ(中堅者研修「記録について」 講師                              | 単              | 平成20年12月      | 茨城県ソーシャルワーカー協会                                    |
| 9. 夜間講座「あるべきソーシャルワークの実践!!」～先輩ソーシャルワーカーからの助言・SW理論と実践について～ 講師   | 単              | 平成20年12月      | 社団法人東京都医療社会事業協会                                   |
| 10. 第10回実習指導者養成認定研修会 ファシリテーター                                 | 共              | 平成21年1月       | 社団法人日本医療社会事業協会                                    |

| 著書、学術論文等の名称   | 単著<br>共著<br>の別 | 発行又は発表<br>の年月 | 発行所、発表雑誌等又は<br>発表学会等の名称 |
|---|----------------|---------------|-------------------------|
| 11. 第20回日本在宅医療学会学術集会 特別企画<br>「転院・退院支援～ソーシャルワーカーここに<br>あり！」 座長   | 単              | 平成21年6月       | 日本在宅医療学会                |
| 12. 認定看護師教育専門課程 小児救急看護学科<br>子どもの権利と社会資源                         | 単              | 平成21年7月       | 日本看護協会看護研修学校            |
| 13. 院内研修 第1回ボランティア講習会「病院<br>ボランティアとは？ - 病院にボランティアが<br>いる意味 -」講師 | 単              | 平成21年7月       | 東京女子医大八千代医療セン<br>ター     |
| 14. 第1ブロック会研修会「研究を通して現場の<br>ソーシャルワーカーに伝えたいこと」講師                 | 単              | 平成21年10月      | 東京都医療社会事業協会             |
| 15. 第1回ソーシャルワーク専門研修「スーパー<br>ビジョン研修ーソーシャルワーカー部門管理の<br>視点からー」研修講師 | 単              | 平成21年12月      | 石川県医療ソーシャルワーカー<br>協会    |

- ・氏名（フリガナ）                    **北條 英勝** (ホウジョウ ヒデカツ)
- ・所属／職名                         人間関係学部（社会福祉学科）／准教授
- ・学位（分野）／研究分野        社会学士、修士（社会学）／社会学
- ・キーワード                         社会学理論、社会調査論、文化社会学

| 職 歴                     |  |     |
|-------------------------|--|-----|
| 年 月                     | 事 項  |     |
| 平成12年4月                 | 東洋大学社会学部非常勤講師（社会学基礎論、社会学等担当）（現在に至る）            |     |
| 学会及び社会における活動等           |  |     |
| 現在所属している学会              | 日本社会学会、関東社会学会                                  |     |
| 年 月                     | 事 項  |     |
| 平成10年1月                 | （学会活動）<br>日本社会学会会員（現在に至る）<br>関東社会学会会員（現在に至る）   |     |
| 平成11年5月                 |  |     |
|                         | （社会における活動）                                     |     |
| 平成20年3月                 | 日本介護福祉士養成施設協会主催 介護教員講習会 講師（研究方法担当、3月20日）       |     |
| 平成20年8月                 | 日本介護福祉士養成施設協会主催 介護教員講習会 講師（研究方法担当）             |     |
| 平成21年7月                 | 東洋大学白山社会学会 第36回大会 研究報告第1部（メディアの部）司会            |     |
| 平成22年3月                 | 三幸学園主催 介護教員講習会 講師（研究方法担当、3月14日～3月15日）          |     |
| 平成22年3月                 | 日本介護福祉士養成施設協会主催 介護教員講習会 講師（研究方法担当、3月24日～3月25日） |     |
| 賞 罰                     |  |     |
| 年 月                     | 事 項  |     |
|                         | なし   |     |
| 教 育 研 究 業 績 書           |  |     |
| 教 育 上 の 能 力 に 関 す る 事 項 |  |     |
| 事 項                     | 年 月 日  | 概 要 |
| 1 教育方法の実践例              |  |     |
| 2 作成した教科書、教材            |  |     |

| 事 項   | 年 月 日          | 概 要   |
|---|----------------|---|
| <p>3 教育上の能力に関する大学等の評価</p> <p>(1)平成19年度前期授業評価（武蔵野大学）</p> | <p>平成19年9月</p> | <p>(1) 平成19年度前期「学生による授業評価（武蔵野大学）」において、「社会学概論」（社会福祉学科：有効回答者数105名）の「総合評価：この授業を受けて学習意欲や興味が増した」4. 5（全学平均4. 0）、授業評価項目全7項目の平均4. 52（全学平均4. 06）と高い評価を受けた。</p> <p>(2) 平成19年度前期「学生による授業評価（武蔵野大学）」において、「社会学理論1」（現代社会学科：有効回答者数129名）の「総合評価：この授業を受けて学習意欲や興味が増した」4. 4（全学平均4. 0）、授業評価項目全7項目の平均4. 55（全学平均4. 06）と高い評価を受けた。</p> <p>(3) 平成19年度前期「学生による授業評価（武蔵野大学）」において、「社会学概論1」（現代社会学科：有効回答者数128名）の「総合評価：この授業を受けて学習意欲や興味が増した」4. 4（全学平均4. 0）、授業評価項目全7項目の平均4. 34（全学平均4. 06）と高い評価を受けた。</p> |

| 事 項                                  | 年 月 日    | 概 要   |
|--------------------------------------|----------|---|
| (2)平成19年度夏期スクーリング授業アンケート（武蔵野大学通信教育部） | 平成19年8月  | <p>(1)平成19年度夏期スクーリング授業アンケート（武蔵野大学通信教育部）において、「人と社会の共生（現代社会論）」1/4クラスを履修した社会人学生（有効回答者数38名）から、「授業の説明は分かりやすかったですか」4.74（全授業平均4.38）、「担当教員は授業の準備を十分に行っていましたか」4.87（全授業平均4.58）、「授業に興味は持てましたか」4.55（全授業平均4.55）との評価を受けた。</p> <p>(2)平成19年度夏期スクーリング授業アンケート（武蔵野大学通信教育部）において、「人と社会の共生（現代社会論）」2/4クラスを履修した社会人学生（有効回答者数17名）から、「授業の説明は分かりやすかったですか」4.65（全授業平均4.38）、「担当教員は授業の準備を十分に行っていましたか」4.71（全授業平均4.58）、「授業に興味は持てましたか」4.71（全授業平均4.55）と高い評価を受けた。</p> <p>(3)平成19年度夏期スクーリング授業アンケート（武蔵野大学通信教育部）において、「人と社会の共生（現代社会論）」3/4クラスを履修した社会人学生（有効回答者数19名）から、「授業の説明は分かりやすかったですか」4.79（全授業平均4.38）、「担当教員は授業の準備を十分に行っていましたか」4.84（全授業平均4.58）、「授業に興味は持てましたか」4.63（全授業平均4.55）と高い評価を受けた。</p> |
| (3)平成19年度冬期スクーリング授業アンケート（武蔵野大学通信教育部） | 平成19年12月 | <p>平成19年度冬期スクーリング授業アンケート（武蔵野大学通信教育部）において、「人と社会の共生（現代社会論）」4/4クラスを履修した社会人学生（有効回答者数14名）から、「授業の説明は分かりやすかったですか」4.64、「担当教員は授業の準備を十分に行っていましたか」4.79、「授業に興味は持てましたか」4.71と高い評価を受けた（各項目5点満点）。</p>   |

| 事 項                    | 年 月 日   | 概 要  |
|------------------------|---------|--|
| (4)平成19年度後期授業評価（武蔵野大学） | 平成20年2月 | <p>(1) 平成19年度後期「学生による授業評価（武蔵野大学）」において、「社会調査法」（社会福祉学科：有効回答者数93名）の「総合評価：この授業を受けて学習意欲や興味が増した」4.2（全学平均4.0）、授業評価項目全7項目の平均4.44（全学平均4.05）との評価を受けた。</p> <p>(2) 平成19年度後期「学生による授業評価（武蔵野大学）」において、「社会学理論2」（現代社会学科：有効回答者数101名）の「総合評価：この授業を受けて学習意欲や興味が増した」4.1（全学平均4.0）、授業評価項目全7項目の平均4.36（全学平均4.05）との評価を受けた。</p> <p>(3) 平成19年度後期「学生による授業評価（武蔵野大学）」において、「社会学概論2」（現代社会学科：有効回答者数88名）の「総合評価：この授業を受けて学習意欲や興味が増した」4.3（全学平均4.0）、授業評価項目全7項目の平均4.32（全学平均4.05）との評価を受けた。</p> |
| (5)平成21年度前期授業評価（武蔵野大学） | 平成21年   | <p>(1) 平成21年度前期「学生による授業評価（武蔵野大学）」において、「社会学」（社会福祉学科：有効回答者数129名）の「総合評価：この授業を受けて学習意欲や興味が増した」4.4（全学平均4.0）、授業評価項目全7項目の平均4.44（全学平均4.07）との評価を受けた。</p> <p>(2) 平成21年度前期「学生による授業評価（武蔵野大学）」において、「社会学理論1」（現代社会学科：受講者数10名）の「総合評価：この授業を受けて学習意欲や興味が増した」5.0（全学平均4.0）、授業評価項目全7項目の平均4.90（全学平均4.07）との高い評価を受けた。</p>  |
| (6)平成21年度後期授業評価（武蔵野大学） | 平成22年   | <p>(1) 平成21年度後期「学生による授業評価（武蔵野大学）」において、「社会調査の基礎」（社会福祉学科：有効回答者数91名）の「総合評価：この授業を受けて学習意欲や興味が増した」4.2（全学平均4.0）、授業評価項目全7項目の平均4.46（全学平均4.13）との評価を受けた。</p>  |
| 4 実務の経験を有する者についての特記事項  |         |  |

| 事 項                              | 年 月 日          | 概 要  |  |
|----------------------------------|----------------|--|--|
| 5 その他                            |                |  |  |
| (1)MGライフ（武蔵野女子学院報）編集に従事          | 平成17年12月～現在    | 学校法人・武蔵野女子学院が年4回発行するコミュニケーション情報紙MGライフ（武蔵野女子学院報）の編集担当として、第130号以降の編集、及び学生記者による記事執筆指導に従事。                               |  |
| (2)武蔵野大学社会福祉学会（学内学会）庶務担当役員       | 平成18～19年度      | 武蔵野大学社会福祉学会(学内学会)庶務担当役員として、同学内学会の会員管理と会計など組織運営に従事。   |  |
| (3)キャリアデザインノート研究会学内研究員           | 平成19～21年度      | 武蔵野大学キャリアデザインノート研究会学内研究員として、「キャリアデザイン」科目の教科書・指導要領作成に携わるとともに、キャリア開発科目・セルフディベロップメント科目の授業評価アンケートの分析、評価システムの構築に関する研究に従事。 |  |
| (4)武蔵野大学社会福祉学会（学内学会）監事           | 平成20年～現在       | 武蔵野大学社会福祉学会（学内学会）監事として、同会の会計監査に従事。   |  |
| 職 務 上 の 能 力 に 関 す る 事 項          |                |  |  |
| 事 項                              | 年 月 日          | 概 要  |  |
| 1 資格、免許                          |                |  |  |
| 2 特許等                            |                |  |  |
| 3 実務の経験を有する者についての特記事項            |                |  |  |
| 4 その他                            |                |  |  |
| 研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項            |                |  |  |
| 著書、学術論文等の名称                      | 単著<br>共著<br>の別 | 発行又は発表<br>の年月  | 発行所、発表雑誌等又は<br>発表学会等の名称  |
| (著書)                             |                |  |  |
| 1. 呪術意識と現代社会－東京都二十三区民調査の社会的分析    | 共              | 平成22年2月  | 青弓社、竹内郁郎・宇都宮京子編<br>(総頁数296頁中、P. 35-46、<br>P. 75-93、P. 177-202、P.<br>249-267の76頁分を担当) |
| (学術論文)                           |                |  |  |
| 1. 社会福祉学科卒業生の卒業後経歴－武蔵野大学の事例をもとに－ | 共              | 平成21年3月  | 武蔵野大学人間関係学部紀要<br>第6号<br>(総頁数55頁中、P59～P69を担<br>当)                                     |

| 著書、学術論文等の名称   | 単著<br>共著<br>の別 | 発行又は発表<br>の年月          | 発行所、発表雑誌等又は<br>発表学会等の名称   |
|---|----------------|------------------------|---|
| 2. P. ブルデューにおける認識論的切断と「社会-分析」の基層的形成—『結婚戦略』に見る社会学理論の形成過程—                          | 単              | 平成22年3月                | 武蔵野大学人間関係学部紀要<br>第7号<br>(P. 85-P. 97)   |
| (その他)<br>1. 平成20年度「キャリアデザイン」成果報告<br><br>2. 「専任教員によるキャリア教育の実践」における授業評価アンケート分析結果の報告 | 単<br><br>単     | 平成21年3月<br><br>平成22年2月 | 武蔵野大学「キャリアデザイン」模擬授業および成果報告会<br>(於・武蔵野大学)<br><br>武蔵野大学現代GPフォーラム<br>「専任教員によるキャリア教育の実践」(事例研究部会)<br>(於・武蔵野大学) |

- ・氏名（フリガナ）                    小俣 智子(オマタ トモコ)
- ・所属／職名                         人間関係学部（社会福祉学科）／講師
- ・学位（分野）／研究分野         社会学士、修士（社会福祉学）／社会学、境界医学
- ・キーワード                         社会福祉学、医療社会学、セルフヘルプ、グループ、小児がん、ソーシャルワーク

| 職 歴   |   |   |
|---|---|---|
| 年 月   | 事 項   |   |
| 平成19年4月   | 白梅学園大学こども学部こども学科非常勤講師（平成22年3月まで）                              |   |
| 平成19年4月   | 医療法人社団 済安堂 井上眼科病院非常勤ソーシャルワーカー（現在に至る）                          |   |
| 学会及び社会における活動等   |   |   |
| 現在所属している学会  | 日本医療社会事業学会、日本社会福祉士会学会、東京社会福祉士会学会、日本社会福祉学会、日本医療社会福祉学会、日本小児がん学会 |   |
| 年 月   | 事 項   |   |
| 平成5年4月  | (学会活動)<br>日本医療社会事業学会会員（現在に至る）                                 |   |
| 平成20年4月   | 日本社会福祉士会学会会員（現在に至る）   |   |
| 平成20年4月   | 東京社会福祉士会学会会員（現在に至る）   |   |
| 平成20年10月  | 日本社会福祉学会会員（現在に至る）   |   |
| 平成20年11月  | 日本医療社会福祉学会会員（現在に至る）   |   |
| 平成21年6月   | 日本小児がん学会会員（現在に至る）   |   |
| 平成3年6月  | (社会における活動等)<br>財団法人 がんの子供を守る会会員（現在に至る）                        |   |
| 平成17年5月   | （任意団体）小児がんネットワークMNプロジェクト代表（現在に至る）                             |   |
| 平成19年4月   | 財団法人 がんの子供を守る会常任理事（現在に至る）                                     |   |
| 賞 罰   |   |   |
| 年 月   | 事 項   |   |
|   | なし  |   |
| 教 育 研 究 業 績 書   |   |   |
| 教 育 上 の 能 力 に 関 す る 事 項   |   |   |
| 事 項   | 年 月 日   | 概 要   |
| 1 教育方法の実践例  |   |   |
| 2 作成した教科書, 教材   |   |   |
| 3 教育上の能力に関する大学等の評価  |   |   |
| 4 実務の経験を有する者についての特記事項<br>(1)神奈川県立こども医療センター看護職員研修会 「社会支援をこども・家族の立場から考える」 | 平成16年12月～<br>現在に至る（年<br>1回）                                   | こどものQOL向上のために、社会支援について<br>何が必要かまたそのあり方について講義を<br>行った。 |

| 事 項  | 年 月 日               | 概 要  |
|--|---------------------|--|
| (2)鎌倉市役所<br>「子どもが病気になったとき」<br>職員研修講師                         | 平成19年7月             | 鎌倉市役所総務部財政科他の職員へ、小児がんの現状や課題などに加え、周囲の関わりや医療職・福祉職などの専門職の支援などについて講演を行った。          |
| (3)同志社大学社会学部社会福祉学科 講師<br>「病気の子どもの生活を考える<br>～小児がんを通して」        | 平成19年10月            | 学部3年生に対し、ソーシャルワーク演習Ⅱ公開授業にて、疾患を持つ子どもの心理・社会的問題について講義を行い、その支援策についてグループワークを行った。    |
| (4)田園調布学園大学 実践福祉入門 講師<br>「セルフヘルプ・グループについて」                   | 平成20年1月             | 社会福祉士を目指す1年生に対し、福祉実践の一つの方法としてセルフヘルプ・グループの概要、専門職の関わりについて講義を行った。                 |
| (5)エーザイ株式会社筑波研究所 研修会講師<br>「病気になるということ<br>～小児がんの経験から」         | 平成20年1月             | 薬剤を研究する職員を対象に、小児がんに関する知識、課題、支援の内容などについて講義を行った。                                 |
| (6)東京都町田市立三輪小学校公開授業 講師<br>「病気になるということ」                       | 平成20年2月、<br>平成22年2月 | 総合学習いのちの授業にて、小学3年生の児童及び保護者を対象に、小児がんという病気を通し、健康・いのちの大切さ、さらに家族・友達の大切さについて講義を行った。 |
| (7)北里大学病院小児科病棟 家族会「小児がんのこどもへの支援」勉強会講師                        | 平成20年3月             | 小児科病棟家族に対し、小児がんの子どもに起こる心理・社会的な事柄、そのサポートについて講義を行った。                             |
| (8)日本女子大学生涯学習センター 教養講座<br>講師「毎日の暮らしとボランティアからみた社会～家族ががんになった時」 | 平成20年7月             | 4回講座の第3回・4回を担当し、がんに関する家族の心理・社会資源などについてワークショップを行った。                             |
| (9)NPO法人傾聴ボランティア相模原 フォロアーアップ研修講師                             | 平成20年7月             | 平成19年3月に行った研修のフォローアップとして、ボランティア内容の振り返り、対人援助技術の再確認について、講義及び演習を行った。              |
| (10)独立行政法人労働者健康福祉機構「みんななかま 支援するということ」言語聴覚士・MSW研修 講師          | 平成21年11月            | 言語聴覚士、医療ソーシャルワーカーを対象に、小児がんの一般的知識、抱えている課題に加え、支援する為の当事者の視点について講義を行った。            |
| 5 その他  |                     |  |
| 職 務 上 の 能 力 に 関 す る 事 項                                      |                     |  |
| 事 項  | 年 月 日               | 概 要  |
| 1 資格、免許  |                     |  |
| 2 特許等  |                     |  |
| 3 実務の経験を有する者についての特記事項  |                     |  |
| 4 その他  |                     |  |

| 研究業績等に関する事項  |                |               |                             |
|--|----------------|---------------|-----------------------------|
| 著書、学術論文等の名称  | 単著<br>共著<br>の別 | 発行又は発表<br>の年月 | 発行所、発表雑誌等又は<br>発表学会等の名称     |
| (著書)   |                |               |                             |
| 1. 社会資源・連携情報活用ガイド(地域連携network創刊号別冊)                              | 共              | 平成20年3月       | 日総研出版(総頁66頁)                |
| 2. 社会資源・連携情報活用ガイド2009(地域連携network特別編集号)                          | 共              | 平成21年5月       | 日総研出版(総頁71頁)                |
| 3. ソーシャルワーカーの仕事と生活<br>—福祉の現場で働くということ                             | 共              | 平成21年10月      | 学陽書房                        |
| (学術論文)   |                |               |                             |
| 1. セルフヘルプ・グループの展開過程における<br>—考察～小児がん経験者のセルフヘルプ・グループ活動の効果          | 単              | 平成20年3月       | 武蔵野大学人間関係学部紀要第6号(P109～P125) |
| 2. 小児がん経験者における日常生活の実際と踵骨骨梁面積率に関連する要因の検討                          | 共              | 平成21年11月      | 国立看護大学校研究紀要第9巻第1号2010年P1～P8 |
| (その他)  |                |               |                             |
| (学会発表等)  |                |               |                             |
| 1. 「小児がんの子どものQOL」シンポジウムシンポジスト                                    | 単              | 平成19年8月       | 日本小児がん看護研究会<br>第4回関東地方研究会   |
| 2. サテライトシンポジウム「未来への架け橋：先進国・途上国の治療現状と小児がん経験者たちの声」コーディネーター         | 単              | 平成20年5月       | 小児神経芽腫国際学会(ANRA)            |
| 3. パネルディスカッションパネリスト「小児がんにおけるサイコオンコロジー：患者のこころをみつめて」               | 単              | 平成20年10月      | 第21回サイコオンコロジー学会             |
| 4. 「小児がん治療患者の長期フォローアップとその体制整備に関する研究」                             | 単              | 平成20年12月      | 厚生労働省科学研究<br>藤本班研究会講師       |
| 5. 「小児がん克服者のQOLと予後の把握およびその追跡システムの確立に関する研究」<br>研究会発表              | 単              | 平成21年2月       | 厚生労働省がん助成金研究                |
| 6. 「小児がん・思春期がんの現状と支援活動」<br>勉強研究会講師                               | 単              | 平成21年2月       | 血液腫瘍関係者研究会PAL               |
| 7. 「子どもの在宅医療と地域支援」シンポジウムシンポジスト                                   | 単              | 平成21年7月       | 白梅学園大学・短期大学教育福祉センター         |
| 8. 「小児科医とプライマリケア医のよりよい連携を目指して～成人した小児がん経験者が必要とするプライマリケア」ワークショップ講師 | 単              | 平成21年8月       | 2009年プライマリケア関連学会            |

| 著書、学術論文等の名称  | 単著<br>共著<br>の別 | 発行又は発表<br>の年月 | 発行所、発表雑誌等又は<br>発表学会等の名称                      |
|--|----------------|---------------|--|
| 9. 「小児がん経験者が抱える心理・社会的不安に関する検討」口演発表                                 | 単              | 平成21年11月      | 第25回日本小児がん学会                                 |
| 10. 「成人移行期の小児慢性疾患患者の心理社会適応を高める他職種協働患者中心型看護モデル」講師                   | 単              | 平成22年2月       | 平成21年度科研費補助金<br>成人移行期支援看護師養成講座               |
| 11. 「慢性疾患の子どもたちの自立を目指した支援プログラムの開発に向けて」パネルディスカッションパネリスト<br>(冊子執筆など) | 単              | 平成22年2月       | 平成21年度成育医療研究<br>「成育医療研究のグランドデザインに関する研究」      |
| 1. 2008介護福祉士国家試験模擬問題集  | 共              | 平成19年7月       | 中法法規（総頁261頁中50～68頁）                          |
| 2. ボランティア情報 No. 365  | 単              | 平成19年10月      | 全国社会福祉協議会（総頁8頁中2頁）                           |
| 3. 私たちはなぜセルフヘルプ・グループを続けているのか                                       | 共              | 平成20年3月       | 神奈川県社会福祉協議会かながわボランティアセンター（総頁68頁中33～38頁）      |
| 4. 朝日新聞（3月14日夕刊）ニッポン人脈記  | 単              | 平成20年3月       | 朝日新聞社（総頁20頁中1頁）                              |
| 5. 健康情報雑誌「からころ」<br>うららかPeople                                      | 単              | 平成20年12月      | 株式会社ユートシャルム（総頁38頁中26～27頁）                    |
| 6. 患者会活動レポート「仲間が存在が孤独を解消し、自信を与えてくれる」                               | 単              | 平成21年9月       | 創英社／三省堂書店 月間がんサポート2009年10月号（総頁122ページ中86～87頁） |

## 児童学科

- ・氏名（フリガナ）                    伊藤 繁(イトウ シゲル)
- ・所属／職名                        人間関係学部（児童学科）／教授
- ・学位（分野）／研究分野        文学士／音楽
- ・キーワード                        幼児教育、仏教音楽、パイプオルガン

| 職 歴                            |   |   |
|--------------------------------|---|---|
| 年 月                            | 事 項   |   |
| 学会及び社会における活動等                  |   |   |
| 現在所属している学会                     | 全国大学音楽教育学会、日本オルガニスト協会                               |   |
| 年 月                            | 事 項   |   |
|                                | (学会活動)  |   |
| 昭和48年4月                        | 日本オルガニスト協会会員（現在に至る）                                 |   |
| 昭和55年1月                        | 全日本音楽教育研究会会員（現在に至る）                                 |   |
| 昭和55年1月                        | International Society for Music Education 会員（現在に至る） |   |
| 平成12年4月                        | 全国大学音楽教育学会会員（現在に至る）                                 |   |
| 賞 罰                            |   |   |
| 年 月                            | 事 項   |   |
|                                | なし  |   |
| 教 育 研 究 業 績 書                  |   |   |
| 教 育 上 の 能 力 に 関 す る 事 項        |   |   |
| 事 項                            | 年 月 日   | 概 要   |
| 1 教育方法の実践例<br>(1)パイプオルガンの演奏と解説 | 毎年4月に実施   | 文学部のセルフディベロップメント科目の「芸術のすすめ①音楽」では、本学雪頂講堂のパイプオルガンを使って、オルガン曲の演奏を通し、オルガンの歴史、鍵盤の使い方、音色の違い・組み合わせ等を講義する。演奏・講義の後には、学生自身にオルガンに触れてもらい、鍵盤のタッチ、演奏台から離れた場所で発音する実際を知り、オルガン音楽を身近に感じ、今後オルガン音楽を鑑賞するうえでの理解の一助とする。 |
| 2 作成した教科書、教材                   |   |   |
| 3 教育上の能力に関する大学等の評価             |   |   |
| 4 実務の経験を有する者についての特記事項          |   |   |
| 5 その他<br>(1)真宗保育学会助成金採択        | 平成20年度  | 仏教保育における音楽活動の実態と課題（共同：高橋一行、高橋晃、米山岳廣、高輪真澄、高牧恵里）300,000円  |

| 職務上の能力に関する事項  |                |               |  |
|---|----------------|---------------|--|
| 事項  | 年月日            | 概要            |  |
| 1 資格、免許   |                |               |  |
| 2 特許等   |                |               |  |
| 3 実務の経験を有する者についての特記事項   |                |               |  |
| 4 その他   |                |               |  |
| 研究業績等に関する事項   |                |               |  |
| 著書、学術論文等の名称   | 単著<br>共著<br>の別 | 発行又は発表<br>の年月 | 発行所、発表雑誌等又は<br>発表学会等の名称                            |
| (著書)  |                |               |  |
| (学術論文)  |                |               |  |
| (その他)   |                |               |  |
| 1. 作品のおはなし12 ドビュッシー「月の光」  | 単              | 平成19年5月       | 音のゆうびん Vol.80 カワイ音楽教室(P17)                         |
| 2. モーツァルト「アヴェ ヴェルム コルプス」、中村秋香作詞 滝廉太郎作曲「組歌 四季 より 雪」、長田恒雄作詞伊藤完夫作曲「尼蓮禅河の朝」 | 共              | 平成19年6月       | さわやかジョイントコンサート TSJCさわやかジョイントコンサート実行委員会 於：武蔵野大学雪頂講堂 |
| 3. 作品のおはなし13 ヘンリー・マンシーニ「こぞうの行進」   | 単              | 平成19年8月       | 音のゆうびん Vol.81 カワイ音楽教室(P16)                         |
| 4. 作品のおはなし14 宮城道雄「春の海」  | 単              | 平成19年11月      | 音のゆうびん Vol.82 カワイ音楽教室(P17)                         |
| 5. 九條武子作詞伊藤完夫作曲「アソカの花」、タゴール原詩渡辺照宏訳詩伊藤完夫作曲「面頸わさぬ姫」                       | 共              | 平成19年11月      | 武蔵野大学音楽部ルンビニー合唱団 第41回定期演奏会 於：武蔵野大学雪頂講堂             |
| 6. 作品のおはなし15 テクラ・バダジェフスカ「乙女の祈り」   | 単              | 平成20年2月       | 音のゆうびん Vol.83 カワイ音楽教室(P17)                         |
| 7. 作品のおはなし16 ブラームス「子守歌」   | 単              | 平成20年5月       | 音のゆうびん Vol.84 カワイ音楽教室(P17)                         |
| 8. 伊藤完夫作曲「オルガンソナタ讃仏」他   | 共              | 平成20年6月       | 築地本願寺ランチタイムコンサート                                   |
| 9. 作品のおはなし17 作曲者不祥「ねこふんじゃった」  | 単              | 平成20年8月       | 音のゆうびん Vol.85 カワイ音楽教室(P17)                         |
| 10. おはなしできく「名曲えほん」  | 共              | 平成20年10月      | カワイ出版  |
| 11. 作品のおはなし18 ベートーヴェン作曲「エリーゼのために」                                       | 単              | 平成20年11月      | 音のゆうびん Vol.86 カワイ音楽教室(P17)                         |

| 著書、学術論文等の名称                                  | 単著<br>共著<br>の別 | 発行又は発表<br>の年月 | 発行所、発表雑誌等又は<br>発表学会等の名称              |
|--|----------------|---------------|--------------------------------------|
| 12. 長田恒雄作詞伊藤完夫作曲「花」タゴール原詩渡辺照宏訳詩伊藤完夫作曲「われは旅人」 | 共              | 平成20年11月      | 武蔵野大学音楽部ルンビニー合唱団第42回定期演奏会於：武蔵野大学雪頂講堂 |
| 13. J. S. バッハ「前奏曲とフーガ ハ短調」他                  | 単              | 平成21年1月       | 築地本願寺ランチタイムコンサート                     |
| 14. 作品のおはなし19 エリック・サティ作曲「家具の音楽」              | 単              | 平成21年2月       | 音のゆうびん Vol.87 カワイ音楽教室 (P17)          |
| 15. 作品のおはなし20 貴志康一作曲「竹取物語」                   | 単              | 平成21年5月       | 音のゆうびん Vol.88 カワイ音楽教室 (P17)          |
| 16. 作品のおはなし21 「メリーさんの羊」                      | 単              | 平成21年8月       | 音のゆうびん Vol.89 カワイ音楽教室 (P17)          |
| 17. 作品のおはなし22 ヴィヴァルディ「調和の靈感」                 | 単              | 平成21年11月      | 音のゆうびん Vol.90 カワイ音楽教室 (P17)          |
| 18. 学会発表「真宗保育における音楽の活動」                      | 共              | 平成21年11月      | 第16回真宗保育学会大会於：武蔵野大学                  |
| 19. 宮地廓慧作詩 伊藤完夫作曲 「弥勒礼讃」－広隆寺の弥勒菩薩にささぐー       | 共              | 平成21年11月      | 武蔵野大学音楽部ルンビニー合唱団第43回定期演奏会於雪頂講堂       |
| 20. 作品のおはなし23 ヴィヴァルディ「調和の靈感」                 | 単              | 平成22年2月       | 音のゆうびん Vol.91 カワイ音楽教室 (P17)          |
| 21. J. S. バッハ「トッカータとフーガ ニ短調」他                | 共              | 平成22年2月       | 築地本願寺ランチタイムコンサート                     |

- ・氏名（フリガナ）                    奥隅 路子 (オクズミ ミチコ)
- ・所属／職名                        人間関係学部（児童学科）／教授
- ・学位（分野）／研究分野        準学士／被服環境
- ・キーワード                        染色環境

| 職 歴                     |  |     |
|-------------------------|--|-----|
| 年 月                     | 事 項  |     |
| 平成19年4月                 | 武蔵野大学人間関係学部児童学科教授（平成22年3月迄）                            |     |
| 平成22年4月                 | 武蔵野大学名誉教授  |     |
| 学会及び社会における活動等           |  |     |
| 現在所属している学会              | 日本家政学会、日本化学学会、繊維学会、日本繊維製品消費科学学会、日本油化学会、日本色彩学会、日本環境教育学会 |     |
| 年 月                     | 事 項  |     |
| 昭和41年10月                | 日本家政学会会員   |     |
| 昭和44年11月                | 日本化学学会会員   |     |
| 昭和45年12月                | 繊維学会会員   |     |
| 昭和52年6月                 | 日本繊維製品消費科学学会会員   |     |
| 昭和63年9月                 | 日本繊維機械学会会員   |     |
| 平成2年4月                  | 日本油化学会会員   |     |
| 平成15年4月                 | 日本色彩学会会員   |     |
| 平成15年4月                 | 日本環境教育学会会員   |     |
| 平成15年9月                 | 西東京市立学校給食運営審議会委員                                       |     |
| 賞 罰                     |  |     |
| 年 月                     | 事 項  |     |
|                         | なし   |     |
| 教 育 研 究 業 績 書           |  |     |
| 教 育 上 の 能 力 に 関 す る 事 項 |  |     |
| 事 項                     | 年 月 日  | 概 要 |
| 1 教育方法の実践例              |  |     |
| 2 作成した教科書、教材            |  |     |
| 3 教育上の能力に関する大学等の評価      |  |     |
| 4 実務の経験を有する者についての特記事項   |  |     |
| 5 その他                   |  |     |
| 職 務 上 の 能 力 に 関 す る 事 項 |  |     |
| 事 項                     | 年 月 日  | 概 要 |
| 1 資格、免許                 |  |     |

| 事 項                   | 年 月 日          | 概 要           |                         |
|-----------------------|----------------|---------------|-------------------------|
| 2 特許等                 |                |               |                         |
| 3 実務の経験を有する者についての特記事項 |                |               |                         |
| 4 その他                 |                |               |                         |
| 研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項 |                |               |                         |
| 著書、学術論文等の名称           | 単著<br>共著<br>の別 | 発行又は発表<br>の年月 | 発行所、発表雑誌等又は<br>発表学会等の名称 |
| (著書)                  |                |               |                         |
| (学術論文)                |                |               |                         |
| (その他)                 |                |               |                         |

- ・氏名（フリガナ） 高橋 晃(タカハシ アキラ)
- ・所属／職名 人間関係学部（児童学科）／教授
- ・学位（分野）／研究分野 文学士、文学修士／心理学
- ・キーワード 社会心理学、教育心理学、生涯発達

| 職 歴   |  |  |
|---|--|--|
| 年 月   | 事 項  |  |
| 平成17年4月   | 武蔵野大学人間関係学部長（平成21年3月迄）   |  |
| 学会及び社会における活動等   |  |  |
| 現在所属している学会  | 日本心理学会、日本教育心理学会、日本発達心理学会、International Association for Cross-Cultural Psychology |  |
| 年 月   | 事 項  |  |
| 昭和52年4月   | (学会活動)<br>日本心理学会会員（現在に至る）  |  |
| 昭和54年4月   | 日本教育心理学会会員（現在に至る）  |  |
| 平成3年4月  | 日本発達心理学会会員（現在に至る）  |  |
| 平成6年4月  | International Association for Cross-Cultural Psychology 会員（現在に至る）                |  |
| 平成15年4月   | (社会活動)<br>社団法人日本幼年教育会 教育顧問（現在に至る）  |  |
| 賞 罰   |  |  |
| 年 月   | 事 項  |  |
|   | なし   |  |
| 教 育 研 究 業 績 書   |  |  |
| 教 育 上 の 能 力 に 関 す る 事 項   |  |  |
| 事 項   | 年 月 日  | 概 要  |
| 1 教育方法の実践例  |  |  |
| 2 作成した教科書、教材<br>(1)武蔵野大学大学院通信教育部人間学研究科<br>「発達心理学特講」資料集  | 平成22年2月  | レポートを提出して単位を取得する学生のための資料集を編纂した。内容は、進化心理学と発達心理学の関連、子どもの映像理解と認知発達との関連、子ども向け映画の日米比較を扱っている。A4判109ページ。                          |
| 3 教育上の能力に関する大学等の評価  |  |  |
| 4 実務の経験を有する者についての特記事項<br>(1) (社)日本幼年教育会 夏期幼年教育研修会<br>関東大会 講師<br>(2) (社)日本幼年教育会 夏期幼年教育研修会<br>関東大会 講師<br>(3) (社)日本幼年教育会 春季幼年教育研修会<br>講師 | 平成19年7月<br>平成20年7月<br>平成21年3月  | 「どうすれば解消できる？若い先生達のストレス～養成校の就職指導の立場から～」対象：幼稚園園長・主任 30名<br>「あなたは先生（プロ）だよ！」 対象：幼稚園教諭120名<br>「童話はハッピーエンドが好ましい？」 対象：幼稚園園長・主任30名 |

| 事 項   | 年 月 日          | 概 要                                 |                                       |
|---|----------------|-------------------------------------|---------------------------------------|
| (4) (社)日本幼年教育会 春季幼年教育研修会<br>講師                              | 平成22年3月        | 「女性は母親になるとどう変わる？」 対<br>象：幼稚園教諭 120名 |                                       |
| 5 その他   |                |                                     |                                       |
| 職 務 上 の 能 力 に 関 す る 事 項                                     |                |                                     |                                       |
| 事 項   | 年 月 日          | 概 要                                 |                                       |
| 1 資格、免許   |                |                                     |                                       |
| 2 特許等   |                |                                     |                                       |
| 3 実務の経験を有する者についての特記事項                                       |                |                                     |                                       |
| 4 その他   |                |                                     |                                       |
| 研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項                                       |                |                                     |                                       |
| 著書、学術論文等の名称   | 単著<br>共著<br>の別 | 発行又は発表<br>の年月                       | 発行所、発表雑誌等又は<br>発表学会等の名称               |
| (著書)  |                |                                     |                                       |
| (学術論文)  |                |                                     |                                       |
| (その他)<br>1. Patrasche, a Dog of Flanders - Maid in<br>Japan | 共              | 平成19年12月                            | Belgium: Elektrischer<br>Schnellseher |

- ・氏名（フリガナ）                    高橋 一行(タカハシ カズユキ)
- ・所属／職名                        人間関係学部（児童学科）／教授
- ・学位（分野）／研究分野        芸術学士／教育学 民俗学
- ・キーワード                        幼児の音楽教育、創造性、民俗音楽、表現法

| 職 歴                                      |   |   |
|--|---|---|
| 年 月                                      | 事 項   |   |
| 学会及び社会における活動等                            |   |   |
| 現在所属している学会                               | 全国大学音楽教育学会、日本保育学会、全日本音楽教育研究会、International Society for Music Education ドラムサークルファシリテーター協会 教育音楽学会 |   |
| 年 月                                      | 事 項   |   |
|  | (学会活動)  |   |
| 昭和61年 4月                                 | 全国大学音楽教育学会会員、理事（現在に至る）  |   |
| 昭和61年 4月                                 | 全国大学音楽教育学会関東地区学会会員（現在に至る）   |   |
| 昭和61年 4月                                 | 全日本音楽教育研究会会員（現在に至る）   |   |
| 昭和61年 4月                                 | International Society for Music Education 会員（現在に至る）   |   |
| 平成 4年 4月                                 | 日本保育学会会員（現在に至る）   |   |
| 平成16年 6月                                 | 全国大学音楽教育学会関東地区学会会長（平成22年 6月まで）  |   |
| 平成17年 5月                                 | ドラムサークルファシリテーター協会会員（現在に至る）  |   |
| 平成20年 4月                                 | 教育音楽学会理事（現在に至る）   |   |
| 平成20年 4月                                 | 全国大学音楽教育学会 副理事長（現在に至る）  |   |
|  | (社会活動)  |   |
| 平成18年 9月                                 | 武蔵野市教育委員会（土曜学校）講師（現在に至る）  |   |
| 賞 罰                                      |   |   |
| 年 月                                      | 事 項   |   |
|  | なし  |   |
| 教 育 研 究 業 績 書                            |   |   |
| 教 育 上 の 能 力 に 関 す る 事 項                  |   |   |
| 事 項                                      | 年 月 日   | 概 要   |
| 1 教育方法の実践例                               |   |   |
| 2 作成した教科書、教材<br>(1)保育者のためのリズム遊び（再掲）音楽之友社 | 平成19年 4月  | 子どものリズム遊びをさまざまな角度（①リズムで遊ぼう②楽器でリズムを楽しもう③世界のリズムを楽しもう④リズム・アンサンブルを楽しもう）から捉えている保育者のための指導書。 |
| 3 教育上の能力に関する大学等の評価                       |   |   |

| 事 項  | 年 月 日               | 概 要                                      |   |
|--|---------------------|--|---|
| 4 実務の経験を有する者についての特記事項<br>(1)国際交流海外調査   | 平成21年2月24日～3月1日     | ガムラン音楽 ケチャ音楽の実態と体験（バリ島）                  |   |
| 5 その他  |                     |  |   |
| 職 務 上 の 能 力 に 関 する 事 項   |                     |  |   |
| 事 項  | 年 月 日               | 概 要                                      |   |
| 1 資格、免許  |                     |  |   |
| 2 特許等  |                     |  |   |
| 3 実務の経験を有する者についての特記事項  |                     |  |   |
| 4 その他  |                     |  |   |
| 研 究 業 績 等 に 関 する 事 項   |                     |  |   |
| 著書、学術論文等の名称  | 単著<br>共著<br>の別      | 発行又は発表<br>の年月                            | 発行所、発表雑誌等又は<br>発表学会等の名称   |
| (著書)<br>1. 保育者のためのリズム遊び  | 共                   | 平成19年4月                                  | 音楽之友社（P22～P32）  |
| (学術論文)<br>1. 養育力をエンパワーメントする環境づくりと活動の展開—子育て支援室における取り組みと保護者、学生の学び  | 共                   | 平成20年3月                                  | 武蔵野大学人間関係学部紀要第6号（P230～P232）   |
| (その他)<br>1. 1. 酒井格「たなばた」、2. ピエトロ・マスカーニ 歌劇「カバレリア・ルスティカーナ」より間奏曲、3. フィリップ・スパーク「カレイドスコープ」他<br><br>2. W. A. モーツァルト「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」1楽章、J. S. バッハ「2つのヴァイオリンのための協奏曲」、W. A. モーツァルト「交響曲40番」他<br><br>3. 1. 美女と野獣（アランマッケン／ハワードアッシュマン）2. 吹奏楽のための民話（ジムアンディ コウディル）3. ヨークシャーバラード（ジェームス バーネス）4. ひとつの声に導かれるとき（ジェームス L ホーセイ）他 | 共<br><br>単<br><br>共 | 平成19年12月<br><br>平成19年12月<br><br>平成20年12月 | 武蔵野大学ウインドアンサンブル第14回定期演奏会<br><br>武蔵野大学管弦楽団第1回定期演奏会<br><br>武蔵野大学ウインドアンサンブル第15回定期演奏会（ルネこだいら中ホール） |

| 著書、学術論文等の名称  | 単著<br>共著<br>の別 | 発行又は発表<br>の年月 | 発行所、発表雑誌等又は<br>発表学会等の名称              |
|--|----------------|---------------|--------------------------------------|
| 4. 1. アイネ・クライネ・ナハトムジーク（モーツァルト）2. ホルベルク組曲（グリーグ）3. パイレーツ・オブ・カリビアンメドレー（クラウス バデルト）4. 交響曲第1番（ベートーヴェン）他          | 単              | 平成20年12月      | 武蔵野大学管弦楽団第2回定期演奏会（武蔵野大学雪頂講堂）         |
| 5. 幼児・児童の器楽教育の考察—楽器遊びからの取り組みから—（口頭発表）  | 単              | 平成20年8月       | 全国大学音楽教育学会第24回全国大会（横浜大会）             |
| 6. ドラムサークル（ワークショップ）  | 単              | 平成20年11月      | 日本ダルクローズ 音楽教育学会                      |
| 7. オルフの木琴を使っの音楽の仕組み理解と遊び（研究授業）   | 単              | 平成21年11月      | 全国大学音楽教育学会関東地区学会                     |
| 8. 1. 歌劇「ローエングリン」よりエルザの大聖堂への行列」リヒャルト ワグナー<br>2. 吹奏楽のための第1組曲変ホ長調グスタフホルスト 3. 「もののけ姫」メドレー 他                   | 共              | 平成21年12月      | 武蔵野大学ウインドアンサンブル第16回定期演奏会（ルネこだいら中ホール） |
| 9. 1. ブランデンブルグ協奏曲第1楽章（バッハ） 2. リュートのための古風な舞曲とアリア第3組曲第3楽章（レスピーギ） 3. ルーマニア民族舞曲（バルトーク） 4. 交響曲5番「運命」（ベートーヴェン） 他 | 共              | 平成21年12月      | 武蔵野大学管弦楽団第3回定期演奏会（武蔵野大学雪頂講堂）         |

- ・氏名（フリガナ）                   **武山 隆子** (タケヤマ リュウコ)
- ・所属／職名                        人間関係学部（児童学科）／教授
- ・学位（分野）／研究分野        体育学士／身体教育学、体育社会学
- ・キーワード                        健康教育、食育、身体表現、舞踊教育

| 職 歴   |                               |  |
|---|-------------------------------|--|
| 年 月   | 事 項                           |  |
| 学会及び社会における活動等   |                               |  |
| 現在所属している学会  | 日本体育学会、日本保育学会、大学教育学会、日本発達心理学会 |  |
| 年 月   | 事 項                           |  |
| 昭和41年 4月  | 日本体育学会会員（現在に至る）               |  |
| 昭和54年 4月  | 日本保育学会会員（現在に至る）               |  |
| 昭和60年 4月  | 大学教育学会会員（現在に至る）               |  |
| 平成21年 4月  | 日本発達心理学会会員（現在に至る）             |  |
| 賞 罰   |                               |  |
| 年 月   | 事 項                           |  |
|   | なし                            |  |
| 教 育 研 究 業 績 書   |                               |  |
| 教 育 上 の 能 力 に 関 す る 事 項   |                               |  |
| 事 項   | 年 月 日                         | 概 要  |
| 1 教育方法の実践例  |                               |  |
| 2 作成した教科書、教材<br>(1)保育・教育ネオシリーズ [16]<br>保育内容・健康—保育のための健康教育—<br>第一版2刷（同文書院）   | 平成20年 4月                      |  |
| 3 教育上の能力に関する大学等の評価  |                               |  |
| 4 実務の経験を有する者についての特記事項<br>(1)子育て支援（エンパワーメント）事業<br>①食育系ワークショップ<br>②運動系ワークショップ | 平成19年11月29日、平成20年2月19日        | 鍋パーティー旬の根菜(食材)を食すことの有意性について話題提供しながら、山形の芋煮鍋を半年前に作り上げた手作り味噌を使って実習した。<br>「うごかそ か・ら・だ」第3回目、未就園児とその保護者を対象にコーディネーション・エクササイズを指導 |
| 5 その他<br>(1)武蔵野女子学院学院特別研究費採択  | 平成17・18・19年度                  | 学校間の連携教育について—保護者を支援する活動における幼稚園と大学の連携—(共同：代表者)17年度100万円、18年度90万円  |

| 職務上の能力に関する事項   |                |               |                                  |
|--|----------------|---------------|----------------------------------|
| 事項   | 年月日            | 概要            |                                  |
| 1 資格、免許  |                |               |                                  |
| 2 特許等  |                |               |                                  |
| 3 実務の経験を有する者についての特記事項  |                |               |                                  |
| 4 その他  |                |               |                                  |
| 研究業績等に関する事項  |                |               |                                  |
| 著書、学術論文等の名称  | 単著<br>共著<br>の別 | 発行又は発表<br>の年月 | 発行所、発表雑誌等又は<br>発表学会等の名称          |
| (著書)<br>1. 保育の安全と管理  | 共              | 平成20年4月       | 同文書院 (P159～P177)                 |
| (学術論文)<br>1. 養育力をエンパワーメントする環境づくりと活動の展開—子育て支援室における取り組みと保護者、学生の学び— | 共              | 平成21年3月       | 武蔵野大学人間関係学部紀要<br>第6号 (P229～P243) |
| (その他)  |                |               |                                  |

- ・氏名（フリガナ）                    米山 岳廣 (ヨネヤマ タカヒロ)
- ・所属／職名                         人間関係学部（児童学科）／教授
- ・学位（分野）／研究分野         文学士／社会福祉学
- ・キーワード                         社会福祉、児童福祉、障害者福祉、ソーシャルワーク

| 職 歴                     |  |  |
|-------------------------|--|--|
| 年 月                     | 事 項  |  |
| 平成18年4月                 | 大妻女子大学非常勤講師（平成21年3月迄）                              |  |
| 学会及び社会における活動等           |  |  |
| 現在所属している学会              | 日本社会福祉学会、日本社会福祉実践理論学会、日本福祉教育・ボランティア学習学会、日本仏教社会福祉学会 |  |
| 年 月                     | 事 項  |  |
| 昭和52年10月                | (学会活動)<br>日本社会福祉学会会員（現在に至る）                        |  |
| 平成5年4月                  | 日本社会福祉実践理論学会会員（現在に至る）                              |  |
| 平成7年4月                  | 日本福祉教育・ボランティア学習学会会員（現在に至る）                         |  |
| 平成7年4月                  | 日本仏教社会福祉学会会員（現在に至る）                                |  |
|                         | (社会活動)   |  |
| 平成8年4月                  | 社会福祉法人相思会（児童福祉施設埼玉中央学園）監事（平成20年3月迄）                |  |
| 平成15年4月                 | 社会福祉法人もくば会（身体障害者療護施設 八王子療護園）理事（平成21年2月迄）           |  |
| 平成16年10月                | 社会福祉法人一乗会（知的障害者更生施設リベルテ）理事（現在に至る）                  |  |
| 平成19年11月                | 社会福祉法人あすはの会（知的障害者更生施設福生学園）理事長（現在に至る）               |  |
| 平成21年2月                 | 社会福祉法人もくば会（身体障害者療護施設 八王子療護園）理事長（現在に至る）             |  |
| 賞 罰                     |  |  |
| 年 月                     | 事 項  |  |
|                         | なし   |  |
| 教 育 研 究 業 績 書           |  |  |
| 教 育 上 の 能 力 に 関 す る 事 項 |  |  |
| 事 項                     | 年 月 日  | 概 要  |
| 1 教育方法の実践例              |  |  |
| 2 作成した教科書, 教材           |  |  |
| 3 教育上の能力に関する大学等の評価      |  |  |
| 4 実務の経験を有する者についての特記事項   |  |  |
| 5 その他                   |  |  |
| (1) 全国保育士養成協議会助成金       | 平成19年度   | 保育・養護・臨床における家族援助の研究(共同:阿部和子、長島和代) 150,000円 |

| 事 項   | 年 月 日    | 概 要  |
|---|----------|--|
| (2)実習報告書の作成<br>・保育（施設）実習報告書の作成<br>武蔵野大学人間関係学部児童学科 | 平成19年6月～ | 保育士資格のための施設実習は、2週間（11日以上）ではあるが、施設実習の体験が、学生の偏見を取り除き、自己覚知を大きく促す結果となったので、その結果を各学生が共有するためにも出版し、より確かなものとした。 |
| ・社会福祉調査の実践  | 昭和47年2月～ | 昭和47年より大規模な社会福祉調査に参加し多数の調査報告書を刊行している。また、「社会福祉演習」の中でゼミ学生に対して「学内バリアフリー調査」「新聞にみる児童虐待の変化」等の調査方法の指導を展開している。 |

職 務 上 の 能 力 に 関 す る 事 項

| 事 項  | 年 月 日   | 概 要 |
|--|---|-----|
| 1 資格、免許  |   |     |
| 2 特許等  |   |     |
| 3 実務の経験を有する者についての特記事項<br>(1)社会福祉法人相思会(児童福祉施設・埼玉中央学園)理事・監事<br>(2)社会福祉法人もくば会(身体障害者療護施設・八王子療護園)理事<br>(3)社会福祉法人一乗会(知的障害者更生施設・リベルテ)理事<br>(4)社会福祉法人あすはの会(知的障害者更生施設福生学園)理事長<br>(5)社会福祉法人もくば会(身体障害者療護施設 八王子療護園)理事長 | 平成8年4月～平成20年3月<br>平成15年4月～平成21年2月<br>平成16年10月～現在<br>平成19年11月～現在<br>平成21年2月～現在 |     |
| 4 その他  |   |     |

研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項

| 著書、学術論文等の名称           | 単著<br>共著<br>の別 | 発行又は発表<br>の年月 | 発行所、発表雑誌等又は<br>発表学会等の名称         |
|-----------------------|----------------|---------------|---------------------------------|
| (著書)<br>1. 家族援助の基礎と実際 | 共              | 平成19年4月       | 文化書房博文社<br>(総頁数189頁中、P7～P16を担当) |
| 2. 養護内容の基礎と実際         | 共              | 平成19年4月       | 文化書房博文社<br>(総頁数206頁中、P9～P24を担当) |

| 著書、学術論文等の名称              | 単著<br>共著<br>の別 | 発行又は発表<br>の年月 | 発行所、発表雑誌等又は<br>発表学会等の名称                                |
|--------------------------|----------------|---------------|--|
| 3. 社会福祉援助技術の基礎と実際        | 共              | 平成20年3月       | 文化書房博文社<br>(総頁数201頁中、P7～P12、<br>P109～P125を担当)          |
| 4. 病児と障害児の保育ー基礎と実際       | 共              | 平成20年12月      | 文化書房博文社<br>(総頁数215頁中、P9～P21を担<br>当)                    |
| 5. 改訂版 精神保健入門            | 共              | 平成20年12月      | 文化書房博文社<br>(総頁数173頁中、P128～P158<br>を担当)                 |
| 6. 施設における文化活動の展開         | 共              | 平成21年10月      | 文化書房博文社<br>(総頁数114頁中 P 98～ P 114を<br>担当)               |
| (学術論文)                   |                |               |  |
| 1. 保育士養成における「家族援助論」の研究Ⅲ  | 共              | 平成20年3月       | 小田原女子短期大学研究紀要<br>第38号 (P52～P60、共同研究に<br>つき本人担当部分抽出不可能) |
| 2. 保育所における家族援助の実態に関する研究  | 共              | 平成21年3月       | 湖北短期大学研究紀要 第30号  |
| (その他)                    |                |               |  |
| 1. 保育士養成における「家族援助論」の研究Ⅲ  | 共              | 平成19年9月       | 全国保育士養成協議会<br>第46回研究大会                                 |
| 2. 保育・養護臨床における家族援助に関する研究 | 共              | 平成20年9月       | 全国保育士養成協議会<br>第47回研究大会                                 |

- ・氏名（フリガナ） 上岡 学(ウエオカ マナブ)
- ・所属／職名 人間関係学部（児童学科）／准教授
- ・学位（分野）／研究分野 教育学修士／1. 初等教育における教科教育法（算数、総合的な学習、生活科を中心として）の研究 2. 初等教育における特別活動の実践を支えるための理論的研究 3. 初等教育における教育方法的な教職研究
- ・キーワード 1. 初等教育、教科教育、算数教育、総合的な学習、生活科 2. 特別活動 3. 教育方法学、教職研究、教育実習

| 職 歴                            |  |  |
|--------------------------------|--|--|
| 年 月                            | 事 項  |  |
| 昭和62年4月                        | 私立桐朋学園小学校教諭（平成20年3月迄）（算数科主任計6年、算数科研修2年）                                  |  |
| 平成14年4月                        | 立教大学文学部教育学科兼任講師（教職研究（2単位））（平成19年迄）、（教科外教育（2単位））（現在に至る）                   |  |
| 平成19年4月                        | 小学校教務主任を担当（平成20年3月迄）   |  |
| 平成20年4月                        | 武蔵野大学人間関係学部児童学科准教授（現在に至る）（基礎ゼミ・児童学演習・総合演習・教育職の研究・算数・初等算数指導法・特別活動・教育実習研究） |  |
| 平成20年6月                        | 東京都公立小学校時間講師（国立市立第4小学校）（平成20年10月迄）                                       |  |
| 平成21年1月                        | 東京都公立小学校時間講師（国分寺市立第6小学校）（平成21年3月迄）                                       |  |
| 平成21年4月                        | 立教大学文学部教育学科兼任講師（生活指導・進路指導（2単位））（平成22年まで）                                 |  |
| 学会及び社会における活動等                  |  |  |
| 現在所属している学会                     | 日本数学教育学会・日本教育心理学会・日本教育方法学会・学校心理士学会・真宗保育学会・日本特別活動学会                       |  |
| 年 月                            | 事 項  |  |
|                                | (学会活動)   |  |
| 昭和62年4月                        | 日本数学教育学会会員（現在に至る）  |  |
| 平成4年8月                         | 日本教育心理学会会員（現在に至る）  |  |
| 平成4年8月                         | 日本教育方法学会会員（現在に至る）  |  |
| 平成10年10月                       | 学校心理士会会員（現在に至る）  |  |
| 平成21年4月                        | 真宗保育学会会員（現在に至る）  |  |
| 平成21年4月                        | 日本特別活動学会会員（現在に至る）  |  |
| 平成21年9月                        | 日本特別活動学会研究開発委員   |  |
| 平成21年9月                        | 日本特別活動学会広報委員   |  |
| 賞 罰                            |  |  |
| 年 月                            | 事 項  |  |
|                                | なし   |  |
| 教 育 研 究 業 績 書                  |  |  |
| 教 育 上 の 能 力 に 関 す る 事 項        |  |  |
| 事 項                            | 年 月 日  | 概 要  |
| 1 教育方法の実践例                     |  |  |
| 2 作成した教科書、教材<br>(1)Z会幼児コース教材作成 | 平成20年4月～   | Z会出版社において幼児用コース教材の作成を行う。かず・かたち領域に関して教材並びに保護者用の解説を作成した。 |

| 事 項  | 年 月 日                             | 概 要   |
|--|-----------------------------------|---|
| 3 教育上の能力に関する大学等の評価   |                                   |   |
| 4 実務の経験を有する者についての特記事項<br>(1)算数科主任・研修委員長<br><br>(2)武蔵野大学小学校教員対策指導 | 昭和63年4月～平成20年3月<br><br>平成21年4月～現在 | 桐朋学園小学校において算数科主任ならびに研修委員長として、桐朋学園小学校独自の算数科カリキュラム開発と作成の中心となり、作り上げてきた。<br><br>武蔵野大学において週1回小学校教員を目指す学生に対して指導を行う。 |
| 5 その他  |                                   |   |

職 務 上 の 能 力 に 関 す る 事 項

| 事 項  | 年 月 日                                       | 概 要   |
|--|---|---|
| 1 資格、免許  |   |   |
| 2 特許等  |   |   |
| 3 実務の経験を有する者についての特記事項<br>(1)管理職<br>(2)東京都西東京市保谷第2小学校研修会講師<br>(3)東京都八王子市(私立)省我(せいが)保育園研修会講師<br>(4)東京都西東京市谷戸第2小学校研修会講師 | 平成19年4月<br>平成20年10月<br>平成20年10月<br>平成21年11月 | 桐朋学園小学校教務主任となる。<br>校内研修会において講師として教科指導に関する事前指導ならびに講評を行う。<br>幼児教育における保育者の役割ならびに基礎教養に関する提言を行う。<br>校内研修会において講師として教科指導に関する事前指導ならびに講評を行う。 |
| 4 その他<br>(1)Z会出版社幼児教育教材総合監修  | 平成20年4月～現在に至る                               | Z会出版社より幼児教育教材開発にあたり、総合監修ならびに教材提案、執筆にあたる。  |

研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項

| 著書、学術論文等の名称                                   | 単著<br>共著<br>の別 | 発行又は発表<br>の年月 | 発行所、発表雑誌等又は<br>発表学会等の名称 |
|---|----------------|---------------|-------------------------|
| (著書)  |                |               |                         |
| 1. 小学算数なっとくワーク 5年生                            | 共              | 平成20年9月       | 旺文社<br>P. 64～73         |
| 2. 小学算数なっとくワーク 6年生                            | 共              | 平成20年9月       | 旺文社<br>P. 64～73         |
| 3. 授業時数増に対応する時間割編成                            | 共              | 平成20年12月      | 教育開発研究所<br>P. 52～55     |
| 4. 教育の最新事情がよくわかる本                             | 共              | 平成21年7月       | 教育開発研究所<br>P. 195～197   |
| 5. 「体験をたくさんさせるための学校安全」児童心理2009 8月号臨時増刊NO. 900 | 共              | 平成21年8月       | 金子書房<br>P. 71～76        |

| 著書、学術論文等の名称  | 単著<br>共著<br>の別      | 発行又は発表<br>の年月                          | 発行所、発表雑誌等又は<br>発表学会等の名称  |
|--|---------------------|--|--|
| (学術論文)<br>1. 平成20年改訂小学校学習指導要領における特別活動の改訂点に関する考察<br>2. 中学校の特別活動におけるクラブ活動と部活動の変遷と指導者について               | 単<br><br>単          | 平成21年3月<br><br>平成22年3月                 | 武蔵野大学人間関係学部紀要<br>第6号<br><br>武蔵野大学人間関係学部紀要<br>第7号   |
| (その他)<br>1. 算数教育における幾何(図形)的認識に関する基礎的研究<br>2. 「考える力」を育てる算数応用課題に関する基礎的研究<br>3. 理科教育における昆虫のからだの認識に関する研究 | 単<br><br>単<br><br>単 | 平成19年9月<br><br>平成20年10月<br><br>平成21年9月 | 日本教育心理学会第49回総会<br>発表(文教大学)<br><br>日本教育心理学会第50回総会<br>発表(東京学芸大学)<br><br>日本教育心理学会第51回総会<br>発表(静岡大学) |

- ・氏名（フリガナ）                    榎田 二三子(エノキタ フミコ)
- ・所属／職名                         人間関係学部（児童学科）／准教授
- ・学位（分野）／研究分野         修士（教育学）／生活科学、教育学
- ・キーワード                         生活科学一般、教育学

| 職 歴                                 |   |   |
|-------------------------------------|---|---|
| 年 月                                 | 事 項                                       |   |
| 平成13年2月                             | 婦人之友社乳幼児グループ育児相談員（現在に至る）                  |   |
| 平成14年4月                             | 自由学園最高学部非常勤講師（現在に至る）（担当科目 生涯発達論のうち乳幼児保育学） |   |
| 学会及び社会における活動等                       |   |   |
| 現在所属している学会                          | 日本保育学会、日本発達心理学会、日本教育学会                    |   |
| 年 月                                 | 事 項                                       |   |
| 平成5年2月                              | （学会活動）<br>日本保育学会会員（現在に至る）                 |   |
| 平成7年8月                              | 世界幼児保育教育機構日本委員会会員（現在に至る）                  |   |
| 平成9年3月                              | 日本発達心理学会会員（現在に至る）                         |   |
| 平成14年12月                            | 日本教育学会会員（現在に至る）                           |   |
|                                     | （社会的活動）<br>埼玉県教育局生涯学習課埼玉県子育てアドバイザー（現在に至る） |   |
| 平成11年3月                             | 埼玉県教育局生涯学習課埼玉県子育てアドバイザー（現在に至る）            |   |
| 平成13年2月                             | 婦人之友社乳幼児グループ育児相談員（現在に至る）                  |   |
| 平成20年1月                             | 武蔵野大学生涯学習センターオムニバス講座 講師                   |   |
| 平成21年4月                             | 武蔵野市開かれた学校づくり協議会委員（平成22年3月迄）              |   |
| 平成22年2～3月                           | 武蔵野大学社会連携センター 生涯学習講座 講師                   |   |
| 賞 罰                                 |   |   |
| 年 月                                 | 事 項                                       |   |
|                                     | なし  |   |
| 教 育 研 究 業 績 書                       |   |   |
| 教 育 上 の 能 力 に 関 す る 事 項             |   |   |
| 事 項                                 | 年 月 日                                     | 概 要   |
| 1 教育方法の実践例<br>(1)シャトルカードを利用した保育者観形成 | 平成21年4～7月                                 | 幼稚園教諭の資格科目である「教育職の研究」において、学生にシャトルカードに授業時の課題への回答を記述してもらい、それへの返答を教員から次回に返す方法を使った。学生の考えの良い点、もっと深めるべき点についてコメントし、それに対して再び学生がコメントするようにした。連続8回の講義を経て、保育者についての考えが深まるようにサポートを行ったが、記述の仕方や視点などへの細かな指導が行えるため、効果的であった。 |

| 事 項  | 年 月 日   | 概 要   |
|--|---|---|
| <p>2 作成した教科書, 教材</p> <p>(1) 保育所実習 (再掲)</p> <p>(2) 家族援助の基礎と実際 (再掲)</p> <p>(3) 病児と障害児の保育-基礎と実際- (再掲)</p> | <p>平成19年4月</p> <p>平成19年4月</p> <p>平成20年12月</p> | <p>保育士養成課程における保育所実習の事前事後指導のために書かれたものである。実習への意欲や期待が高まるよう、また実習中にも活用できるよう配慮し、実践的な内容も含み、保育所実習の意義、保育所の保育内容、準備や保育所実習での学びなどについて書かれている。担当部分：「第5章 保育所実習に向けての準備」保育所実習を行うにあたり必要な、実習園についての学習、充実した実習にするための学習準備について、段階を追って進められるように記述した。</p> <p>保育士養成課程における家族援助に関する学習のために作成された。家族の実態、子育て支援の社会的役割と制度、家族援助の実際と技術などについての基礎が学べるように構成されている。担当部分：第2章「家族援助—子育て支援の意義と必要性—」家族援助の目指すべき方向性と対象、子育て家族の直面する課題、家族援助の方法と過程について、家族援助の基礎的事項について述べた。</p> <p>時代とともに保育への需要はその内容が拡大し、乳児保育や延長保育だけでなく、障害児保育や病児・病後児保育を多くの保育園で行なわれるようになってきた。また病院における病児の保育を担当する保育士も少しずつ増えて来ている。そのような病児や障害児の保育の基礎的知識と担当保育士の専門性について述べられている。担当部分：医療機関や児童福祉施設において行なわれる病児・病後児保育の意義と対象や実施基準などに概要について述べた。また担当保育士として求められる専門性と今後の課題について保育士の立場から述べたものである。</p> |

| 事 項  | 年 月 日   | 概 要  |
|--|---------|--|
| (4)幼稚園実習ガイドブック 実習の中で磨かれる“技と心” (再掲)                 | 平成21年1月 | 幼稚園の現状をよく把握したうえで、幼稚園実習に臨み、有効な実習ができる様に意図して編集されている。幼稚園実習に出る前に理解しておきたい基礎知識、幼稚園という実習現場に出るために必要な準備、幼稚園免許状を取得し、幼稚園教師になるまでの道筋など、実習についてのガイドブックであるだけでなく、幼稚園教諭になるためのガイドともなっている。担当部分：認定こども園が誕生し、幼稚園と保育所の機能が接近している今日の状況において、幼稚園教諭免許状と保育士資格の併有が求められていること、また免許状に有効期限が設けられる様になり、更新へむけての受講や免許状の上進が求められていること、そのような状況において保育者に求められる専門性がより豊かで高度なものになっていることを解説した。 |
| (5)保育者論 (再掲)                                       | 平成21年4月 | 新しい時代に求められる多様な保育者の役割について、学生が実際に働く保育者をイメージしやすいように書かれている。保育者としてこのような能力が必要であるということは述べずに、学生が自ら課題を見出すことをねらいとしている。本書で学ぶことにより、実践しつつ学び保育者として成長する基本的な姿勢を獲得できることが意図されている。担当部分：少子化、地域の教育力の低下、特別支援教育、多文化に生きる子どもなど、近年子育てを取り巻く環境の変化が著しい。そのような変化に焦点をあて、なぜそのような変化が生じてきたのかについて、説明しながら、保育者に求められる役割はどのように変わってきたのか述べた。   |
| 3 教育上の能力に関する大学等の評価                                 |         |  |
| 4 実務の経験を有する者についての特記事項<br>(1)東京都三鷹市あきやま保育室 保育士研修会講師 | 平成19年8月 | 3歳未満の子どもを保育する場合に、集団保育ならではの問題点（個別対応と集団や自立の問題）がある。保育士という専門職でも、場合によっては、子どもの行動に怒りを覚え不適切な関わりをしてしまう可能性もある。3歳未満児の発達的特徴を踏まえ、この時期に育てたいことをしっかり認識し、保育環境や保育士の関わり方を再考する必要がある。   |

| 事 項                               | 年 月 日    | 概 要  |
|-----------------------------------|----------|--|
| (2)多摩市ファミリー・サポート・センター<br>会員講習会 講師 | 平成19年10月 | 多摩市ファミリー・サポート・センターにおいて子育て支援を行う援助会員に対して、「子ども達の今と子育て支援の必要性」について講演した。子育て環境の変化と子育ての様子の現状、家族援助の方向性、子育て支援の社会システムにおけるファミリー・サポート・センターの役割や意義について講義した。   |
| (3)武蔵野大学生涯学習センターオムニバス講座 講師        | 平成20年1月  | 「伝えたい”ころ”と”知恵”」というテーマで行なわれたオムニバス講座で「悩むことは親育ちーいたずらの意味を考えるー」というテーマについて述べた。かわいい赤ちゃんと思っていたわが子が歩くようになると、探索行動や自己主張に悩まされ、一日中叱っているような気分になるが、視点を変えると子どもの行動の意味がわかる。この時期の子どもは、人が生きることに必要な経験を体制化することや他者の立場に立って考える力などを獲得していると言える。 |
| (4)西東京市田無公民館 子育て講座 講師             | 平成20年5月  | 乳幼児期の子どもを育てている母親を対象に、「心の種を育てましょう」「笑って泣いて育つ 親と子」と題してグループワークを取り入れた講義を行なった。豊かな心を育てるために乳幼児期に安定性のある生活経験をしたこと、子どもは能動性を発揮し相互性を獲得して成長していくこと、子どもの行為を肯定的に理解し、大人のサポートが必要であることなどについて、実際の子育て事例から気づけるよう促した。                        |
| (5)西東京市 柳橋保育園 保育士研修会講師            | 平成20年6月  | 「子どもと保育に生きる記録」というテーマで、保育士として日々の保育記録や児童表への記録が、開示にたえうるものとなるようにはどのように記入したらよいか、そのためには子どもや保育の様子をどのような視点で捉えたらよいかなどについて、具体的な事例を元に解説し、保育や保育士の質の向上を図った。   |
| (6)武蔵野市関前南小学校 学校公開講演会 講師          | 平成20年10月 | 「悩むことは親育ち」というテーマで、小学校教員および保護者を対象に、自律がキーワードになる小学校時期まで子どもがどのような様子で育っていくのか講義した。子どもが自分の人生を切り開いていけるように、親は悩みつつも子どもの伴走者であり、子どもの味方となること、親自身も自己実現と子育てとのバランスをとる必要があることなど、そのポイントを伝えた。   |

| 事 項                                | 年 月 日               | 概 要   |
|------------------------------------|---------------------|---|
| (7)多摩市ファミリー・サポート・センター<br>会員講習会 講師  | 平成20年10月            | 「子ども達の今と子育て支援の必要性」現代の子育て環境の変化と子育ての様子-特に保育所に通う子ども達の様子-を紹介し、子育て支援の意義と対象、そこでのファミリー・サポート・センターの位置と意義を解説した。また子どもを預かる時に大切に考えたいポイントも紹介し、ファミリー・サポート・センター 会員の資質向上を図った。                              |
| (8)栃木県社会福祉協議会 乳児保育担当保育士研修会 講師      | 平成20年11月            | 栃木県の保育所、乳児院、認可外保育所などの乳児保育を担当する保育士を対象に、乳児期から幼児期前期におけるいたずらの意味やその行動を理解する方法、環境設定やかかわり方などについて、具体的事例の視覚教材を用いて講義した。  |
| (9)西東京市柳橋保育園新任保育士研修会 講師            | 平成21年3月             | 「保育の実践と記録」というテーマで研究を行った。保育士としてどのような記録を書くことが求められ、どのように子どもと保育を見つめて記録したらよいか、そのポイントを解説した。   |
| (10)西東京市柳橋保育園保育士研修会 講師             | 平成21年4月～<br>平成22年3月 | 保育士の仕事の一つとして、保育記録や児童記録をとることがあげられる。そのためには、子どもをどのように観察し、その気持ちを感じ取り、育つ姿を見極められるかが重要となる。1年間の研修を通じ、保育のビデオや保育士自身の観察記録から、子どもの気持ちを読み取り、保育士の援助や保育内容、環境などについて、保育士が討議することで、自分自身の保育について気づき、考える研修を実施した。 |
| (11)所沢市小手指公民館赤ちゃん広場講師              | 平成21年10月            | 「ことばの芽を育てましょう」というテーマで、0歳児を育てる母親に対して、子どもの気持ちを読み取ること、子どもへの関心や相互交流といった母性的養育が必要であることを説く。  |
| (12)多摩市ファミリー・サポート・センター<br>会員講習会 講師 | 平成22年1月             | 「子ども達の今と子育て支援の必要性」現代の子育て環境の変化と子育ての様子-特に保育所に通う子ども達の様子-を紹介し、子育て支援の意義と対象、そこでのファミリー・サポート・センターの位置と意義を解説した。また子どもを預かる時に大切に考えたいポイントも紹介し、ファミリー・サポート・センター 会員の資質向上を図った。                              |

| 事 項                           | 年 月 日          | 概 要  |  |
|-------------------------------|----------------|--|--|
| (13) 武蔵野大学 社会連携センター 生涯学習講座講師  | 平成22年2～3月      | 「育て急がないで一親の役割とはー」というテーマで3回の講座を行った。諸能力の獲得過程にある1～2歳児は親にとって育てにくい年齢であり、ともするとしつけが優先される。この年齢は、市民としての教育より人間としての教育が優先されるべき時期である。子どもの行為から気持ちを読み取ること、この時期に子どもに育てたいこと、禁止や指示でなく子どもに伝える方法、子どもの育つ力を育てることなどについて、演習を交えながら学習を進めた。 |  |
| 5 その他                         |                |  |  |
| (1) 武蔵野女子学院学院特別研究費採択          | 平成19年度         | 学校間の連携教育について一保護者を支援する活動における幼稚園と大学の連携ー(代表者：武山隆子、共同研究者：高橋一行、義永睦子、滝川隆子) 700,000円  |  |
| (2) 子ども未来財団 児童関連サービス調査研究等事業採択 | 平成19年度         | 親参加型子育て支援活動の実態調査と担当者の専門性に関する研究(代表：大戸美也子、江波諄子、榎田二三子、義永睦子、大西道子) 3,000,000円   |  |
| 職 務 上 の 能 力 に 関 す る 事 項       |                |  |  |
| 事 項                           | 年 月 日          | 概 要  |  |
| 1 資格、免許                       |                |  |  |
| 2 特許等                         |                |  |  |
| 3 実務の経験を有する者についての特記事項         |                |  |  |
| 4 その他                         |                |  |  |
| 研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項         |                |  |  |
| 著書、学術論文等の名称                   | 単著<br>共著<br>の別 | 発行又は発表<br>の年月  | 発行所、発表雑誌等又は<br>発表学会等の名称                    |
| (著書)                          |                |  |  |
| 1. 家族援助の基礎と実際                 | 共              | 平成19年4月  | 文化書房博文社<br>(総頁数189頁中、P17～P35を担当)           |
| 2. 保育所実習                      | 共              | 平成19年4月  | ななみ書房<br>(総頁数141頁中P77～P93を担当)              |
| 3. 病児と障害児の保育-基礎と実際-           | 共              | 平成20年12月   | 文化書房博文社<br>(総頁数215頁中、P96～P99、P113～P116を担当) |

| 著書、学術論文等の名称  | 単著<br>共著<br>の別 | 発行又は発表<br>の年月 | 発行所、発表雑誌等又は<br>発表学会等の名称            |
|--|----------------|---------------|------------------------------------|
| 4. 幼稚園実習ガイドブック 実習の中で磨かれる“技と心”                          | 共              | 平成21年1月       | 新読書社<br>(総頁数186頁中、P124～P131を担当)    |
| 5. 保育者論  | 共              | 平成21年4月       | 建帛社<br>(総頁数195頁中、P179～P192を担当)     |
| (学術論文)   |                |               |                                    |
| 1. 親参加型子育て支援活動の実態調査と担当者の専門性に関する研究                      | 共              | 平成20年2月       | 財団法人こども未来財団<br>(P81～P91、P117～P124) |
| 2. 養育力をエンパワーメントする環境づくりと活動の展開—子育て支援室における取り組みと保護者、学生の学び— | 共              | 平成21年3月       | 武蔵野大学人間関係学部紀要<br>第6号 (P229～P243)   |
| (その他)  |                |               |                                    |
| 1. 卒乳への迷いとアドバイス  | 共              | 平成19年8月       | 婦人之友 8月号<br>(P117～P123)            |
| 2. 物の取り合いが多い頃に   | 単              | 平成19年4月       | 婦人之友 乳幼児だより2<br>007年4月号 (2頁)       |
| 3. 留守がちな父親と家族とのかかわり方                                   | 単              | 平成19年6月       | 婦人之友 乳幼児だより<br>2007年6月号 (3頁)       |
| 4. 1歳代の子ども一心の成長—                                       | 単              | 平成19年8月       | 婦人之友 乳幼児だより<br>2007年8月号 (7頁)       |
| 5. 悩むことは親育ち  | 単              | 平成19年9月       | 婦人之友 乳幼児だより<br>2007年9月号 (3頁)       |
| 6. 2歳代の子ども一心の成長—                                       | 単              | 平成19年10月      | 婦人之友 乳幼児だより<br>2007年10月号 (7頁)      |
| 7. 3歳代の子ども一心の成長—                                       | 単              | 平成19年12月      | 婦人之友 乳幼児だより<br>2007年12月号 (2頁)      |
| 8. 生きる力をはぐくむ経験とは                                       | 単              | 平成20年2月       | 婦人之友 乳幼児だより<br>2008年2月号 (2頁)       |
| 9. 日常の経験を通して子どもに伝わるもの                                  | 単              | 平成20年4月       | 婦人之友 乳幼児だより<br>2008年4月号 (2頁)       |
| 10. 保育実習の実際に関する一考察 (1) —保育実習と保育実習Ⅱの比較から—               | 共              | 平成20年5月       | 日本保育学会 第61回大会<br>(745頁)            |
| 11. 保育実習の実際に関する一考察 (2) —子どもと関わる体験と実習効果—                | 共              | 平成20年5月       | 日本保育学会 第61回大会<br>(746頁)            |
| 12. 子どもと生きる力を育む関係づくり                                   | 共              | 平成20年5月       | 日本保育学会 第61回大会<br>(120頁)            |
| 13. 子どもの希望を支える生活                                       | 単              | 平成20年6月       | 婦人之友 乳幼児だより<br>2008年6月号 (3頁)       |
| 14. なんとかしたい育児ストレス                                      | 単              | 平成20年6月       | 月刊子どもを学ぶ 6月号<br>(P19～P22)          |
| 15. 失敗する権利   | 単              | 平成20年8月       | 婦人之友 乳幼児だより2<br>008年8月号 (2頁)       |

| 著書、学術論文等の名称                     | 単著<br>共著<br>の別 | 発行又は発表<br>の年月 | 発行所、発表雑誌等又は<br>発表学会等の名称      |
|---------------------------------|----------------|---------------|------------------------------|
| 16. 本の楽しさを伝えたい                  | 単              | 平成20年10月      | 婦人之友 乳幼児だより<br>2008年10月号（3頁） |
| 17. 感じる心 感じる生活                  | 単              | 平成20年12月      | 婦人之友 乳幼児だより<br>2008年12月号（3頁） |
| 18. 子どもの「いたづら」を考える              | 単              | 平成21年3月       | 婦人之友 乳幼児だより<br>2009年3月号（2頁）  |
| 19. 育て急いでいませんか（1）－「友達と仲良く」を考える－ | 単              | 平成21年5月       | 婦人之友 乳幼児だより<br>2009年5月号（2頁）  |
| 20. 育て急いでいませんか（2）－習い事を考える－      | 単              | 平成21年7月       | 婦人之友 乳幼児だより<br>2009年7月号（3頁）  |
| 21. 愛される実感                      | 単              | 平成21年9月       | 婦人之友 乳幼児だより<br>2009年9月号（2頁）  |
| 22. きょうだいの誕生                    | 単              | 平成21年11月      | 婦人之友 乳幼児だより<br>2009年11月号（3頁） |
| 23. 選ばれし家族                      | 単              | 平成22年2月       | 婦人之友 乳幼児だより<br>2010年2月号（2頁）  |

- ・氏名（フリガナ）                    宮下 治(ミヤシタ オサム) 平成20年3月退職
- ・所属／職名                         人間関係学部（児童学科）／准教授
- ・学位（分野）／研究分野         教育学修士／教育学
- ・キーワード                         理科教育学、教育行政学、学校経営学

| 職 歴                                      |   |  |
|--|---|--|
| 年 月                                      | 事 項   |  |
| 平成19年4月                                  | 武蔵野大学人間関係学部児童学科准教授  |  |
| 学会及び社会における活動等                            |   |  |
| 現在所属している学会                               | 日本地学教育学会、日本理科教育学会   |  |
| 年 月                                      | 事 項   |  |
| 昭和56年4月                                  | (学会活動)<br>日本地学教育学会会員（平成9年4月より現在まで 評議員、常務委員、平成19年4月より学会賞審査委員長） |  |
| 平成9年4月                                   | 日本理科教育学会会員  |  |
| 平成18年4月                                  | (社会における活動等)<br>全日本科学教育振興委員会委員、日本学生科学賞中央審査委員                   |  |
| 賞 罰                                      |   |  |
| 年 月                                      | 事 項   |  |
|  | なし  |  |
| 教 育 研 究 業 績 書                            |   |  |
| 教 育 上 の 能 力 に 関 す る 事 項                  |   |  |
| 事 項                                      | 年 月 日   | 概 要  |
| 1 教育方法の実践例<br>(1) 野外での直接体験を重視した理科学習指導の実践 | 昭和56年4月～  | 東京都の多摩川河床、秋川流域、神奈川県城ヶ島、千葉県印旛沼周辺、埼玉県入間川流域など、並びに東京都心部の港区や練馬区などの自然事象を活用した地層観察や化石採取などの地学野外学習を実施してきている。その結果、生徒は実物に触れることにより、理科への興味と関心が大きく向上した。 |
| 2 作成した教科書、教材                             |   |  |
| 3 教育上の能力に関する大学等の評価                       |   |  |
| 4 実務の経験を有する者についての特記事項                    |   |  |
| 5 その他                                    |   |  |
| 職 務 上 の 能 力 に 関 す る 事 項                  |   |  |
| 事 項                                      | 年 月 日   | 概 要  |
| 1 資格、免許                                  |   |  |

| 事 項   | 年 月 日          | 概 要  |                         |
|---|----------------|--|-------------------------|
| 2 特許等   |                |  |                         |
| 3 実務の経験を有する者についての特記事項<br>(1)東京都東部学校経営支援センター副参事<校長級・課長級> | 平成18年4月～       | 都立学校版の所謂、教育事務所に相当する「学校経営支援センター」を平成18年度から新設した。その1年目として、直轄する22校の都立学校を支援するチームのリーダーとして、教育課程、教職員の人事管理、管理職の業績評価、学校予算等、学校に関するあらゆることを行った。また、各校長に寄り添い、校長の学校経営に関する相談とその対応に努めた。 |                         |
| 4 その他   |                |  |                         |
| 研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項                                   |                |  |                         |
| 著書、学術論文等の名称   | 単著<br>共著<br>の別 | 発行又は発表<br>の年月  | 発行所、発表雑誌等又は<br>発表学会等の名称 |
| (著書)  |                |  |                         |
| (学術論文)<br>1. 理科教育における教員研修の実態と課題－東<br>京都を例にして－           | 単              | 平成20年3月  | 武蔵野大学人間関係学部紀要<br>第5号    |
| (その他)   |                |  |                         |

- ・氏名（フリガナ）                    赤木 恭子(アカキ キョウコ)
- ・所属／職名                         人間関係学部（児童学科）／講師
- ・学位（分野）／研究分野         学士（教育学）、修士（教育学）、博士（教育学）／美術科教育法
- ・キーワード                         図画工作科教育法、メディア教育論

| 職 歴                     |                                 |     |
|-------------------------|---------------------------------|-----|
| 年 月                     | 事 項                             |     |
| 平成19年4月                 | 武蔵野大学人間関係学部児童学科専任講師（平成22年3月迄）   |     |
| 学会及び社会における活動等           |                                 |     |
| 現在所属している学会              | 大学美術教育学会、美術科教育学会、日本映像学会、日本子ども学会 |     |
| 年 月                     | 事 項                             |     |
| 平成12年4月                 | 大学美術教育学会 正会員                    |     |
| 平成13年6月                 | 日本美術教育連合 正会員                    |     |
| 平成13年6月                 | 美術科教育学会 正会員                     |     |
| 平成14年10月                | 日本映像学会 正会員                      |     |
| 平成18年9月                 | 日本子ども学会 正会員                     |     |
| 賞 罰                     |                                 |     |
| 年 月                     | 事 項                             |     |
|                         | なし                              |     |
| 教 育 研 究 業 績 書           |                                 |     |
| 教 育 上 の 能 力 に 関 す る 事 項 |                                 |     |
| 事 項                     | 年 月 日                           | 概 要 |
| 1 教育方法の実践例              |                                 |     |
| 2 作成した教科書, 教材           |                                 |     |
| 3 教育上の能力に関する大学等の評価      |                                 |     |
| 4 実務の経験を有する者についての特記事項   |                                 |     |
| 5 その他                   |                                 |     |
| 職 務 上 の 能 力 に 関 す る 事 項 |                                 |     |
| 事 項                     | 年 月 日                           | 概 要 |
| 1 資格、免許                 |                                 |     |
| 2 特許等                   |                                 |     |
| 3 実務の経験を有する者についての特記事項   |                                 |     |
| 4 その他                   |                                 |     |

| 研究業績等に関する事項 |                |               |                         |
|-------------|----------------|---------------|-------------------------|
| 著書、学術論文等の名称 | 単著<br>共著<br>の別 | 発行又は発表<br>の年月 | 発行所、発表雑誌等又は<br>発表学会等の名称 |
| (著書)        |                |               |                         |
| (学術論文)      |                |               |                         |
| (その他)       |                |               |                         |

- ・氏名（フリガナ） 義永 睦子(ヨシナガ ムツコ)
- ・所属／職名 人間関係学部（児童学科）／講師
- ・学位（分野）／研究分野 家政学士、家政学修士／保育所および児童福祉施設の保育、養護(特別な配慮を要する子どもへのかかわりを含む)、保護者への支援と保育者養成
- ・キーワード 保育臨床、保育者養成、子育て支援、保育相談

| 職 歴           |   |
|---------------|---|
| 年 月           | 事 項   |
| 平成5年4月        | 東京家政学院大学家政学部家政学科非常勤助手（児童学実習担当）（現在に至る）   |
| 平成21年4月       | 武蔵野大学人間関係学部児童学科准教授（昇任）（現在に至る）   |
| 学会及び社会における活動等 |   |
| 現在所属している学会    | 日本関係学会、日本応用心理学会、日本保育学会、日本集団精神療法学会、日本人間関係学会、日本心理劇学会、日本心理臨床学会、日本発達心理学会          |
| 年 月           | 事 項   |
|               | (学会活動)  |
| 昭和60年6月       | 日本関係学会会員（現在に至る）<br>(運営委員、研修委員平成22年3月まで、編集委員平成22年4月から)                         |
| 昭和60年6月       | 日本応用心理学会会員（現在に至る）   |
| 昭和61年4月       | 日本保育学会会員（現在に至る）   |
| 昭和61年4月       | 日本集団精神療法学会会員（現在に至る）   |
| 平成5年11月       | 日本人間関係学会会員（現在に至る）   |
| 平成9年9月        | 日本心理劇学会会員（現在に至る）  |
| 平成11年9月       | 日本心理臨床学会会員（現在に至る）   |
| 平成21年12月      | 日本発達心理学会会員（現在に至る）   |
|               | (社会活動)  |
| 平成5年4月        | 目黒保健所・目黒保健センター（親と子の健康教室）講師、心理相談員（現在に至る）                                       |
| 平成7年4月        | OME P世界幼児教育機構会員（現在に至る）  |
| 平成10年5月       | 新座市子ども家庭児童相談室(乳幼児、小学生、中学生対象)心理相談員（現在に至る）                                      |
| 平成14年5月       | 新座市児童福祉課 保育所巡回発達・心理相談員（平成20年7月迄）  |
| 平成15年4月       | 入間市健康福祉センター 乳幼児健診心理相談員（現在に至る）   |
| 平成15年4月       | 川越市総合保健センター 1歳6ヶ月児・3歳児健診心理相談員（現在に至る）  |
| 平成16年4月       | 新座市虐待防止ネットワーク会議 構成員（現在に至る）  |
| 平成16年6月       | 所沢市立小手指公民館分館（赤ちゃん広場）講師（年2回、現在に至る）   |
| 平成18年4月       | 入間市健康福祉センター（すくすく教室）（発達経過観察・指導）心理相談員<br>（現在に至る）                                |
| 平成18年4月       | 入間市健康福祉センター（かるがもルーム）（児童虐待予防・指導）心理相談員<br>（現在に至る）                               |
| 平成18年4月       | 入間市健康福祉センター（子ども相談室）（個別相談・指導）心理相談員<br>（平成20年3月迄）                               |
| 平成19年4月       | 財団法人こども未来財団平成19年度児童関連サービス調査研究等事業（親参加型子育て支援活動の実態と担当者の専門性に関する研究）分担研究者(平成20年3月迄) |
| 平成20年5月       | 入間市健康福祉センター 平成20年度（こんにちは赤ちゃん事業）<br>母子保健推進員全体研修会 講師                            |

| 賞                                   |   | 罰        |   |
|-------------------------------------|---|----------|---|
| 年                                   | 月 | 事項       |   |
|                                     |   | なし       |   |
| 教育研究業績書                             |   |          |   |
| 教育上の能力に関する事項                        |   |          |   |
| 事項                                  |   | 年月日      | 概要  |
| 1 教育方法の実践例                          |   |          |   |
| 2 作成した教科書、教材                        |   |          |   |
| (1)「保育所実習」(ななみ書房)(再掲)               |   | 平成19年4月  | 保育士を目指し保育所で実習を行う学生を対象に、「第2章 保育所とは・保育所保育士とは」において、保育所についての基礎知識、現在の保育行政の動向と保育所の現状について解説した。内容は、保育所保育士に求められている社会的使命、保育所の目的と機能、保育所保育士の役割、保育所・幼稚園・認定こども園の各々の特色、少子化・次世代育成支援対策と多様な保育サービス、保育士の国家資格化、国家資格である保育士の責任について、等。<br>山岸道子編著、井戸ゆかり、榎田二三子、倉田新、三滝千景、高橋貴志、義永睦子(P31～47) |
| (2)「保育所実習報告書第1号」武蔵野大学人間関係学部児童学科(再掲) |   | 平成20年2月  | 保育士資格のための仕上げの実習に当たる2回目の保育所実習を終えた学生が、自らの学びを確認し、また学生同士も共有し学びあうために、実習報告書を編集、発行した。<br>義永睦子編。  |
| (3)「はじめの一步—武蔵野大学児童学科子育て支援室の活動」(再掲)  |   | 平成20年2月  | 本学児童学科子育て支援室における、保護者の養育力エンパワーメント活動の内容と、保護者、子ども、学生・教員の相互交流による育ちあいの様子を、学生、参加者および学内外の方々と共有するために、活動報告書を作成した。<br>武山隆子、滝川孝子、高橋一行、榎田二三子、義永睦子   |
| (4)「病児と障害児の保育—基礎と実際—」文化書房博文社(再掲)    |   | 平成20年12月 | 保育士を目指し病児や障害児の保育に関心のある学生を対象に、「第10章 障害児保育の障害児保育の実際2—療育センター—」において、障害児療育の目的、療育の対象、療育の方法と形態、集団療育活動による展開例と実地上の留意点、個別活動および集団活動による療育の効果と課題について、解説した。<br>米山岳唐、宮川三平、鳥海順子編著、有賀望、金森三枝、和気江利子、今井淑恵、榎田二三子、秋山千枝子、里美達也、榊原剛、古屋義博、義永睦子著(P200～P215)                                |

| 事 項                                       | 年 月 日             | 概 要  |
|---|-------------------|--|
| (5)「保育所実習報告書 第2号」武蔵野大学<br>人間関係学部児童学科 (再掲) | 平成21年2月           | 保育士資格のための仕上げの実習に当たる2回<br>目の保育所実習を終えた学生が、自らの学び<br>を確認し、また学生同士も共有し学びあうた<br>めに、実習報告書を編集、発行した。<br>義永睦子編。   |
| (6)「保育所実習報告書 第3号」武蔵野大学<br>人間関係学部児童学科 (再掲) | 平成22年2月           | 保育士資格のための仕上げの実習に当たる2<br>回目の保育所実習を終えた学生が、自らの学<br>びを確認し、また学生同士も共有し学びあう<br>ために、実習報告書を編集、発行した。<br>義永睦子編。   |
| (7)「精神保健の基礎と実際」文化書房博文社<br>(再掲)            | 平成22年2月           | 「第6章ライフサイクルと精神保健」個人お<br>よび家族のライフサイクルの考え方と精神的<br>健康の問題の捉え方について解説した。ま<br>た、乳幼児期、幼児期、児童期、青年期の各<br>時期における発達課題と精神的健康の問題に<br>ついて解説した。さらに、保育、教育および<br>相談機関における、発達課題や精神的健康の<br>問題への対応と援助の仕方について解説し<br>た。<br>米山岳廣、辻恵介編著、大塚秀高、義永睦<br>子、小原伸子、横倉聡 (P131-153) |
| 3 教育上の能力に関する大学等の評価                        |                   |  |
| 4 実務の経験を有する者についての特記事項                     |                   |  |
| 5 その他                                     |                   |  |
| (1)武蔵野女子学院学院特別研究費採択                       | 平成19年度            | 学校間の連携教育について一保護者を支援す<br>る活動における幼稚園と大学の連携(共同:<br>武山隆子、滝川孝子、榎田二三子、義永睦子)<br>700,000円  |
| (2)財団法人こども未来財団児童関連サービス<br>調査研究費採択         | 平成19年度            | 平成19年度児童関連サービス調査研究等事<br>業、親参加型子育て支援活動の実態調査と担<br>当者の専門性に関する研究(共同:大戸美也<br>子、大西道子、江波諄子、榎田二三子、義永<br>睦子)3,000,000円  |
| 職 務 上 の 能 力 に 関 する 事 項                    |                   |  |
| 事 項                                       | 年 月 日             | 概 要  |
| 1 資格、免許                                   |                   |  |
| 2 特許等                                     |                   |  |
| 3 実務の経験を有する者についての特記事項                     |                   |  |
| (1)新座市子ども家庭応援室家庭児童相談室心<br>理相談員            | 平成10年5月～<br>現在に至る | 子どもの発達及び子どもへの関わり方につい<br>ての個別相談および指導(乳幼児、小学生、中<br>学生対象)   |

| 事 項                                       | 年 月 日                     | 概 要  |
|---|---------------------------|--|
| (2)新座市児童福祉課保育所巡回 発達・心理相談員                 | 平成15年4月～<br>現在に至る         | 保育所における子どもの発達及び子どもへの関わり方についての個別相談および指導、保育者への保育スーパーバイズ                            |
| (3)入間市健康福祉センター乳幼児健診心理相談員                  | 平成15年4月～<br>現在に至る         | 乳幼児健診における子どもの発達及び子どもへの関わり方についての個別相談と指導   |
| (4)川越市総合保健センター 1歳6ヶ月児・3歳児健診心理相談員          | 平成15年4月～<br>現在に至る         | 乳幼児健診における子どもの発達及び子どもへの関わり方についての個別相談と指導   |
| (5)所沢市立小手指公民館分館「赤ちゃん広場」講師                 | 平成16年6月～<br>現在に至る 年<br>2回 | 乳児を持つ母親への、子どもの発達、言葉の発達についての講義  |
| (6)目黒区目黒保健センター 母子保健事業「パパの育児教室」講師          | 平成17年5月～<br>現在に至る 年<br>2回 | 妊娠中の妻と夫を対象とした子どもの発達と親子のかかわり、父親の役割についての講義   |
| (7)入間市健康福祉センター「すくすく教室」(発達経過観察・指導)心理相談員    | 平成18年4月～<br>現在に至る         | 親子グループ保育活動・親グループ活動を通しての、子どもの発達経過観察および発達支援指導                                      |
| (8)入間市健康福祉センター「かるがもルーム」(児童虐待予防・指導)心理相談員   | 平成18年4月～<br>現在に至る         | 親子グループ活動・親グループ活動を通しての、児童虐待の予防および指導   |
| (9)入間市健康福祉センター「子ども相談室」(個別相談・指導)心理相談員      | 平成18年4月～<br>現在に至る         | 親子のかかわり、子どもの発達に関する個別相談および指導  |
| (10)財団法人こども未来財団平成19年度児童関連サービス調査研究等事業分担研究者 | 平成19年4月～<br>平成20年3月迄      | 「親参加型子育て支援活動の実態と担当者の専門性に関する研究」分担研究   |
| (11)入間市健康福祉センター虐待予防活動「こんにちは赤ちゃん事業」全体研修会講師 | 平成20年5月                   | 平成20年度「こんにちは赤ちゃん事業」担当母子保健推進員を対象に乳児を育てる母親の心身の状況と訪問スタッフの基本的態度について、講義およびロールプレイによる指導 |
| 4 その他                                     |                           |  |

研究業績等に関する事項

| 著書、学術論文等の名称  | 単著<br>共著<br>の別 | 発行又は発表<br>の年月 | 発行所、発表雑誌等又は<br>発表学会等の名称      |
|--|----------------|---------------|------------------------------|
| (著書)   |                |               |                              |
| 1. 保育所実習   | 共              | 平成19年4月       | ななみ書房 (P31～P47)              |
| 2. 病児と障害児の保育－基礎と実際－                                    | 共              | 平成20年12月      | 文化書房博文社 (P200～P215)          |
| 3. 精神保健の基礎と実際  | 共              | 平成22年2月       | 文化書房博文社 (P131～153)           |
| (学術論文)   |                |               |                              |
| 1. 養育力をエンパワーメントする環境づくりと活動の展開－子育て支援室における取り組みと保護者、学生の学び－ | 共              | 平成21年3月       | 武蔵野大学人間関係学部紀要第6号 (P229～P271) |
| (その他)  |                |               |                              |
| 1. 保育所実習報告書 第1号  | 単              | 平成20年2月       | 武蔵野大学人間関係学部児童学科              |

| 著書、学術論文等の名称   | 単著<br>共著<br>の別 | 発行又は発表<br>の年月 | 発行所、発表雑誌等又は<br>発表学会等の名称 |
|---|----------------|---------------|-------------------------|
| 2. 平成19年度児童関連サービス調査等事業報告書<br>「親参加型子育て支援活動の実態調査と担当者の専門性に関する研究」 | 共              | 平成20年2月       | 財団法人こども未来財団 (P68～P91)   |
| 3. はじめの一步—武蔵野大学児童学科子育て支援室の活動                                  | 共              | 平成20年2月       | 武蔵野大学人間関係学部児童学科         |
| 4. 入間市乳幼児健診と子育てサポートサービスについてのアンケート報告書                          | 単              | 平成20年3月       | 乳幼児発達・子育て支援研究会          |
| 5. 「保育所実習報告書 第2号」   | 単              | 平成21年2月       | 武蔵野大学人間関係学部児童学科         |
| 6. 「保育所実習報告書 第3号」   | 単              | 平成22年2月       | 武蔵野大学人間関係学部児童学科         |

- ・氏名（フリガナ）            高牧 恵里（タカマキ エリ）
- ・所属／職名                人間関係学部（児童学科）／助教
- ・学位（分野）／研究分野   芸術学士／芸術系、音楽
- ・キーワード                いろいろな教育現場における音楽教育

| 職 歴  |                             |   |
|--|-----------------------------|---|
| 年 月  | 事 項                         |   |
| 平成19年4月  | 浦和大学こども学部こども学科 非常勤講師（現在に至る） |   |
| 学会及び社会における活動等  |                             |   |
| 現在所属している学会   | 全日本音楽教育研究会、教育音楽学会           |   |
| 年 月  | 事 項                         |   |
| 昭和60年4月  | 全日本音楽教育研究会 会員               |   |
| 平成19年3月  | 教育音楽学会 理事                   |   |
| 賞 罰  |                             |   |
| 年 月  | 事 項                         |   |
|  | なし                          |   |
| 教 育 研 究 業 績 書  |                             |   |
| 教 育 上 の 能 力 に 関 す る 事 項                                    |                             |   |
| 事 項  | 年 月 日                       | 概 要                                     |
| 1 教育方法の実践例<br>(1)ピアノ初心者に対する音楽通論とコードネーム使用法。                 | 平成5年4月～                     | ピアノ学習経験の少ない学生に対して、必要な音楽通論指導とコードネーム奏法指導。 |
| 2 作成した教科書、教材   |                             |   |
| 3 教育上の能力に関する大学等の評価   |                             |   |
| 4 実務の経験を有する者についての特記事項<br>(1)幼稚園実習の訪問指導<br>(2)保育所、施設実習の訪問指導 | 平成8年～<br>平成13年～             | 実習の様子を伺い、指導する。<br>実習の様子を伺い、指導する。        |
| 5 その他  |                             |   |
| 職 務 上 の 能 力 に 関 す る 事 項                                    |                             |   |
| 事 項  | 年 月 日                       | 概 要                                     |
| 1 資格、免許  |                             |   |
| 2 特許等  |                             |   |
| 3 実務の経験を有する者についての特記事項                                      |                             |   |
| 4 その他  |                             |   |

| 研究業績等に関する事項                      |                |                   |   |
|----------------------------------|----------------|-------------------|---|
| 著書、学術論文等の名称                      | 単著<br>共著<br>の別 | 発行又は発表<br>の年月     | 発行所、発表雑誌等又は<br>発表学会等の名称                   |
| (著書)                             |                |                   |   |
| (学術論文)                           |                |                   |   |
| 1. 音楽教育目標の変遷と新たな題材「音育」への取り組みについて | 単              | 平成21年3月           | 武蔵野大学 人間関係学部紀要<br>第6号                     |
| (その他)                            |                |                   |   |
| <学会発表>                           |                |                   |   |
| 1. 仏教保育における音楽の役割                 | 共              | 平成21年11月          | 第16回真宗保育学会（武蔵野大学グリーンホール）                  |
| <演奏活動他>                          |                |                   |   |
| 1. 合唱伴奏                          | 共              | 平成19年6月           | さわやかジョイントコンサート<br>（武蔵野大学雪頂講堂）             |
| 2. ピアノ演奏                         | 共              | 平成19年8月           | よろこびの会研究会（カワイ<br>ショップ青山）                  |
| 3. ワークショップ開催、及び参加                | 共              | 平成19年9月           | 第2回教育音楽学会ワーク<br>ショップ（武蔵野大学グリーン<br>ホール）    |
| 4. 合唱伴奏                          | 共              | 平成19年11月          | 武蔵野大学ルンビニー合唱団第<br>41回定期演奏会（武蔵野大学<br>雪頂講堂） |
| 5. ワークショップ開催、及び参加                | 共              | 平成20年3月           | 第3回教育音楽学会ワーク<br>ショップ（武蔵野大学グリーン<br>ホール）    |
| 6. 合唱伴奏                          | 共              | 平成20年6月           | さわやかジョイントコンサート<br>（青梅市民会館）                |
| 7. 合唱伴奏                          | 共              | 平成20年11月          | 武蔵野大学ルンビニー合唱団第<br>42回定期演奏会（武蔵野大学雪<br>頂講堂） |
| 8. ワークショップ開催、及び参加                | 共              | 平成20年8月           | 第4回教育音楽学会ワーク<br>ショップ（武蔵野大学グリーン<br>ホール）    |
| 9. ワークショップ開催、及び参加                | 共              | 平成21年3月           | 第5回教育音楽学会ワーク<br>ショップ（武蔵野大学グリーン<br>ホール）    |
| 10. 合唱伴奏                         | 共              | 平成21年6月           | さわやかジョイントコンサート<br>（武蔵野大学雪頂講堂）             |
| 11. 合唱伴奏                         | 共              | 平成21年11月          | 武蔵野大学ルンビニー合唱団第<br>43回定期演奏会（武蔵野大学雪<br>頂講堂） |
| 12. ワークショップ開催、及び参加               | 共              | 平成21年8月29<br>～30日 | 第6回教育音楽学会ワーク<br>ショップ（武蔵野大学グリーン<br>ホール）    |

| 著書、学術論文等の名称        | 単著<br>共著<br>の別 | 発行又は発表<br>の年月 | 発行所、発表雑誌等又は<br>発表学会等の名称                    |
|--------------------|----------------|---------------|--|
| 13. ワークショップ開催、及び参加 | 共              | 平成22年3月       | 第7回教育音楽学会ワーク<br>ショップ（武蔵野大学グリーン<br>ホール）     |
| 14. 二台のピアノの演奏      | 共              | 平成21年7月       | よろこびの会「2台のピアノの<br>ためのコンサート」（佐倉市民<br>音楽ホール） |
| 15. ピアノの演奏         | 共              | 平成21年12月      | よろこびの会「バッハ研究会」<br>（恵比寿TED Art Studio）      |
| 16. 声楽伴奏           | 共              | 平成21年12月      | さわやかコンサート（まちだ中<br>央公民館）                    |